

Wi-Fi STATION HW-01L

ISSUE DATE:

'18.12

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書

はじめに

「HW-01L」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前やご使用中に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

本書の見かた

本書では、本端末を正しくお使いいただくために、操作のしかたをイラストやマークを交えて説明しています。

- 本書に記載している画面やイラストはイメージです。実際の製品とは、異なる場合があります。
- 本書では、「HW-01L」を「本端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

■「かんたんセットアップマニュアル」（本体付属品）

本端末とパソコン、ゲーム機やiPhoneなどの接続方法について説明しています。

■「ご利用にあたっての注意事項」（本体付属品）

本端末をご使用の際に、ご注意いただきたい事項などを説明しています。ご使用前に必ずお読みください。

■「取扱説明書」（PDFファイル）

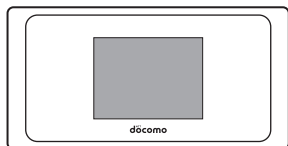
本端末とパソコンの接続方法、各種機能の設定、操作方法について詳しく説明しています。

- 本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
 - 「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/hw01l/index.html>
- 最新情報がダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

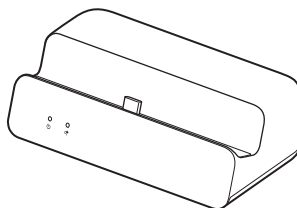


本体付属品

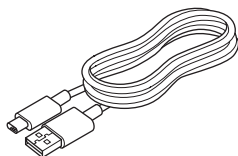
HW-01L (保証書付き)



クレードル HW02 (保証書付き)



USB接続ケーブル HW05*



※本ケーブルはデータ通信用です。充電の際には、別売のACアダプタをご使用ください。

- かんたんセットアップマニュアル
- ご利用にあたっての注意事項
- 無線LAN 初期設定シール

本端末に対応するオプション品（別売）は、ドコモのオンラインショップでも確認、購入いただけます。

<https://www.mydocomo.com/onlineshop/options/index.html>

目次

本体付属品	1
本端末のご利用について	3
HW-01Lの主な機能	4
安全上のご注意（必ずお守りください）	7
取り扱い上のご注意	14
防塵性能	17

ご使用前の確認 P.19	• 各部の名称と機能 • ドコモnanoUIMカードを使う • 充電する • 電源を入れる／切る • 画面の見かた • タッチパネルの使いかた • 英数字と記号の入力
セットアップ P.37	• セットアップについて • Wi-Fiお引越し機能を利用して接続する • Wi-Fiで接続／通信する • USB接続ケーブルで接続／通信する • クレードルを使用して接続／通信する
各種設定（Webブラウザ） P.89	• HW-01L設定ツールについて • HW-01Lの状態を確認する • 各種機能の詳細設定をする • ソフトウェアの更新をする
各種設定（本体メニュー） P.133	• 本端末の本体メニューについて • 各種機能の詳細設定をする
海外利用 P.153	• 国際ローミング（WORLD WING）の概要 • 海外で利用可能なサービス • 海外でご利用になる前に
付録／索引 P.157	• メニュー一覧 • 故障かな？と思ったら • 保証とアフターサービス • ソフトウェア更新 • 主な仕様 • データ通信端末の比吸収率（SAR）について • Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Terminals • FCC Regulatory Compliance • Disposal and Recycling Information • Reduction of Hazardous Substances • EU Regulatory Conformance • 輸出管理規制 • 知的財産権 • SIMロック解除 • 索引



本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない場所、屋外でも電波の弱い場所、LTEサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用にならない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通信が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末の誤動作、あるいは停電時などの外部要因によって、通信の機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失については、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、定期的にメモを取るなどして保管していただくをお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 画像を多く含むホームページの閲覧、大容量ダウンロードなど、データ量の多い通信を行うと、高額な通信料がかかりますのでご注意ください。
- ネットワークの混雑状況によって、通信が遅くなる、または接続しづらくなる場合があります。
- 紛失に備えパスコードを設定し、本端末のセキュリティを確保してください。→P.143
- インターネットサービスプロバイダのご利用料金について
パソコンなどでインターネットを利用する場合は、ドコモのLTE/FOMAサービス契約回線のご利用料金と、別途ドコモの対応プロバイダ「mopera U」などのインターネットサービスプロバイダのご利用料金が必要となります。「mopera U」のお申し込み方法、サービスの内容、設定方法については、「mopera U」のホームページ (<https://www.mopera.net>) をご確認ください。
なお、他社インターネットサービスプロバイダでもご利用いただけます。その場合、ご利用料金は他社プロバイダへ直接お支払いいただけます。他社プロバイダをご利用の場合、詳しくは各プロバイダにご確認ください。
- 接続先によっては、接続時にユーザー認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合はIDとパスワードを入力して接続してください。
IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容についてはそちらにお問い合わせください。
- ご利用の料金など詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。



HW-01Lの主な機能

本端末のLTE通信は、PREMIUM 4G[®]（LTE-Advanced）に対応しています。新たに進化したPREMIUM 4Gでは受信時最大1288Mbpsの高速通信が可能となります。

3.5GHz	4×4 MIMO	256 QAM	受信時最大 294Mbps	同時 利用	受信時最大 1288Mbps
3.5GHz	4×4 MIMO		受信時最大 294Mbps		
1.7GHz	4×4 MIMO		受信時最大 400Mbps		
2.0GHz	2×2 MIMO		受信時最大 150Mbps		
800MHz	2×2 MIMO		受信時最大 150Mbps		

本端末は、Wi-Fi機能により同時に複数のパソコンやゲーム機などのWi-Fi対応機器と接続できます。さらに、USB接続ケーブルでパソコンと接続してデータの送受信をしたり、クレードルを使用してルータやアクセスポイントとして使用したりできます。

- ・ 通信速度について詳しくは、「主な仕様」をご覧ください。→P.183

Wi-Fiで接続する

本端末とパソコンやゲーム機などのWi-Fi対応機器を接続し、データの送受信を行います。本端末はWi-Fi対応機器を同時に16台まで（マルチSSID利用時はSSID1に8台、SSID2に8台まで）接続できます。

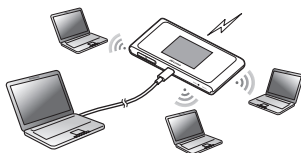


USB接続ケーブルで接続／通信する

本端末とパソコンをUSB接続ケーブルで接続し、データの送受信を行います。

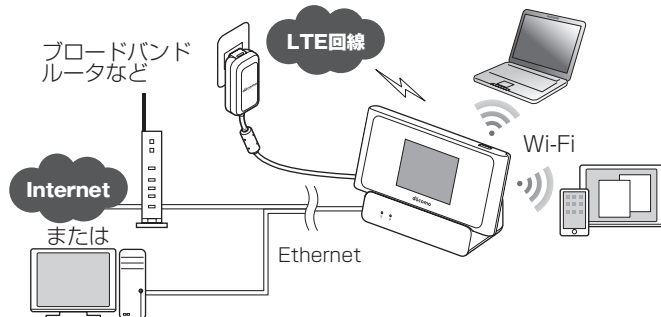
Wi-Fi接続とUSBテザリングを同時に利用することもできます。

USB接続ケーブルで接続して使用中でも、Wi-Fi対応機器を同時に16台まで（マルチSSID利用時はSSID1に8台、SSID2に8台まで）接続できます。



クレードルを使用して接続／通信する

付属のクレードルに市販のLANケーブルと別売のACアダプタを接続すると、充電しながらルータまたはアクセスポイントとして使用できます。



充電方法につきましては、「クレードルで充電する」(→P.28)をご覧ください。

接続／通信方法につきましては、「クレードルを使用して接続／通信する」(→P.84)をご覧ください。

■ 接続先の初期設定

本端末の接続先の初期設定は、「mopera U」になっております。mopera U以外のプロバイダをご利用になる場合は、通信を行う前に設定を変更していただく必要がございますのでご注意ください。

設定方法につきましては、「プロバイダ設定」(→P.98)をご覧ください。

■ DFS機能

本端末はWi-Fi 5GHz帯での電波干渉を避けるため、法令（電波法）により、DFS機能を搭載しています。本端末が利用するWi-Fi 5GHzの周波数帯は、気象レーダーなどでも利用されているため、本端末を使用する場所によっては気象レーダーなどとの電波干渉が起きる可能性があります。

そこで、本端末がWi-Fi 5GHz帯を利用中に気象レーダーなどの電波を検知したときは、DFS機能が作動し、電波干渉を起こさないWi-Fi 5GHz帯の別のチャンネルに自動的に切り替えます。

周囲に同じWi-Fi 5GHz帯を使っている無線LAN装置などが多数あると、干渉を避けられないこともあります。その場合、通信速度が極端に遅くなることがあります。

■ Wi-Fi 5GHz帯への切り替えについて

本端末をWi-Fi 2.4GHz帯からWi-Fi 5GHz帯に切り替えると、周囲に電波干渉を起こす気象レーダーなどがないかを最低でも1分間確認し、電波干渉を起こさないチャンネルを使ってネットワークに接続します。この動作を本書ではDFSチェックと呼びます。

Wi-Fi 5GHz帯の設定で本端末の電源を入れたときや、ネットワークスリープ機能などでWi-Fi接続が切断された状態から復帰するときなども、DFSチェックが作動します。DFSチェック中は、Wi-Fi接続が一時的に切断され、Wi-Fi接続が確立するまでに約1分間^{*}の時間がかかります。その間はネットワークに接続できません。

本端末に接続しているWi-Fi対応機器との接続も切断されますので、必要に応じてWi-Fi対応機器側で再接続の操作を行ってください。

5GHzから2.4GHzに切り替えるときは、DFSチェックは作動せず、ネットワーク接続は切断されません。

※ DFSチェックの結果によっては、さらに時間がかかることがあります。

国際ローミングに対応しています。

海外でもLTE／3Gネットワークを利用して、データの送受信ができます。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^(※1) を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^(※1) を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^(※2) を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^(※3) の発生が想定される」内容です。

- ※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
 - ※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
 - ※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。
- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

1.本端末、アダプタ、USB接続ケーブル、クレードル、ドコモnanoUIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠ 危険



禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防塵性能については以下をご参照ください。
→P.17「防塵性能」



禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。

また、風呂場などの水に触れる場所では、充電しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

本端末に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

※ご注意ください例

- ・ スポンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- ・ 上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ・ ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける



禁止

本端末の内蔵電池を取り外そうとしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。

指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほころぎが内部に入ったりしないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどなどの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。

- ・ 電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く。
- ・ USB接続ケーブルを本端末から抜く。
- ・ 本端末の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 注意



禁止

破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがなどの原因となります。



湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。防塵性能については以下をご参照ください。

→P.17「防塵性能」



子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。

けがなどの原因となります。



乳幼児の手の届く場所に置かないでください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。



本端末を継続して使用される場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまったりするなどして、意図せず継続して触れることがないようにご注意ください。

データ通信など、長時間の使用や充電中は、本端末やアダプタの温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。



本端末内のドコモnanoUIMカードスロットに水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片（カッターの刃やホチキスの針など）、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

また、ドコモnanoUIMカードの挿入場所や向きを間違えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切ってください。

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。

なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。

電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上でご使用ください。

電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

2.本端末の取り扱いについて

⚠ 危険



火の中に投入したり、熱を加えないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



本端末内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

本端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠ 警告



点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。

けいれんや意識喪失などの原因となります。



高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意ください電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者にて電波による影響についてご確認ください。



ディスプレイ部を破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ペットなどが本端末に噛みつかないようにご注意ください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠ 注意



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただき、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。各箇所の材質については以下をご参照ください。

→P.13「6.材質一覧」



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

3.アダプタ、USB接続ケーブル、クレードルの取り扱いについて

⚠ 警告



禁止

アダプタやUSB接続ケーブルのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、アダプタやUSB接続ケーブルには触れないでください。

感電などの原因となります。



禁止

コンセントやアクセサリソケット、本端末につないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

アダプタやUSB接続ケーブルのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントや本端末に、ACアダプタやUSB接続ケーブルを抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプタに海外旅行用の変圧器（トランスコンバーター）を使用しないでください。

発火、発熱、感電などの原因となります。



禁止

本端末やクレードルにアダプタやUSB接続ケーブルを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードやUSB接続ケーブル、充電端子、電源プラグ、クレードルに触れないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電源、電圧で使用するると火災、やけど、感電などの原因となります。

ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）



指示

DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。



指示

電源プラグや端子についたほこりは、拭き取ってください。

ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

アダプタや本端末をコンセントやアクセサリソケット、端子に差し込むときは、確実に差し込んでください。

確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

電源プラグやUSB接続ケーブルをコンセントやアクセサリソケット、本端末から抜く場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタやコネクタを持って抜いてください。

コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本端末やクレードルにアダプタやUSB接続ケーブルを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。

正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。

充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

使用しない場合は、電源プラグやUSB接続ケーブルをコンセントやアクセサリソケット、本端末から抜いてください。

電源プラグやUSB接続ケーブルを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が付着した場合は、直ちに電源プラグやUSB接続ケーブルをコンセントやアクセサリソケット、本端末から抜いてください。

付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグやUSB接続ケーブルをコンセントやアクセサリソケット、本端末から抜いて行ってください。

抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠ 注意



禁止

コンセントやアクセサリソケットにつかない状態でアダプタに継続して触れないでください。

やけどなどの原因となります。

4. ドコモnanoUIMカードの取り扱いについて

⚠ 注意



指示

ドコモnanoUIMカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。

切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。

5. 医用電気機器近くでの取り扱いについて

⚠ 警告



指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携帯および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（電源オフなど）。

付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

6.材質一覧

	使用箇所	材質／表面処理
本体	フロントパネル	ガラス／フィルム
	外装ケース（前面、側面、背面）	PC／塗装
	電源キー	PC+TPU／塗装
	RESETボタン	リン銅＋洋白銅＋ステンレススチール＋PPA／銀メッキ＋ニッケルメッキ＋銅メッキ
	ドコモnanoUIMカードスロットのカバー	PC+TPU／塗装＋シルク
	ヒンジ、内側の突起	TPU／なし
	ドコモnanoUIMカードスロット	ステンレススチール＋LCP／金メッキ＋ニッケルメッキ
	ドコモnanoUIMカードスロット（端子部）	ニッケル＋シリコン＋銅／金メッキ＋ニッケルメッキ
	ドコモnanoUIMカードスロットのカバー内側の銘板シール、IMEIシール	PET／なし
	分解防止ラベル	紙／なし
	USB Type-C接続端子	ステンレススチール／ニッケルメッキ
	USB Type-C接続端子（端子部）	銅合金／金メッキ
USB接続ケーブル	プラグ、ケーブル部	TPE／なし
	Type-Cプラグ	SPCC-SD／ニッケルメッキ
	Type-Cプラグ（端子部）	樹脂、銅合金／金メッキ
	USBプラグ	黄銅／ニッケルメッキ
	USBプラグ（端子部）	樹脂＋LCP、黄銅／金メッキ
クレードル	外装ケース	ABS／なし
	ランプカバー	PC／なし
	クッション部、ゴム足	シリコン／なし
	Ethernetポート	PBT／なし
	Ethernetポート（端子部）	リン青銅／ニッケルメッキ、金メッキ
	電源用USB Type-C接続端子	ステンレススチール／錫メッキ
	電源用USB Type-C接続端子（端子部）	銅／金メッキ
	充電用Type-Cプラグ	SPCC／ニッケルメッキ
	充電用Type-Cプラグ（端子部）	樹脂＋銅合金／金メッキ
	ラベル	PET／なし



取り扱い上のご注意

共通のお願い

- 水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）をかけないでください。
本端末、アダプタ、USB接続ケーブル、ドコモ nanoUIMカード、クレードルは防水性能を有していません。風呂場などの湿気の多い場所や雨などがかかる場所での使用はおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。修理につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
 - ・ 強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
 - ・ ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
 - ・ アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子などは時々清掃し、きれいな状態で使用してください。
端子などが汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。また、清掃する際には端子などの破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 本端末に無理な力がかからないように使用してください。
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、内蔵電池などの故障、破損の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、故障、破損の原因となります。
- オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
指定以外のものを使用すると、故障、破損の原因となります。
- 対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。
- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。

本端末についてのごお願い

- ディスプレイを強く押したり、先の尖ったもので操作したりしないでください。
傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。
温度は0℃～35℃、湿度は5%～95%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、別にメモを取るなどして保管してください。
万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。
- 使用中や充電中に本端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 通常はドコモ nanoUIMカードスロットのカバーを閉じた状態で使用ください。
水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。
- 磁気カードや磁気を帯びたものを本端末に近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
また、強い磁気を近づけると本端末の誤動作の原因となります。
- 内蔵電池は消耗品のため、保証対象外です。
内蔵電池の使用条件により、寿命が近づくにつれて内蔵電池が劣る場合があります。
十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや、内蔵電池が膨らんでいるときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- 充電は、適正な周囲温度（0℃～35℃）の場所で行ってください。
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。
- 本端末を保管される場合は、内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となるため、下記のような状態で保管しないでください。
 - ・ フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
 - ・ 電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程度消費している状態）での保管なお、保管に適した電池残量の目安は40パーセント程度です。

- 本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

アダプタ、USB接続ケーブル、クレードルについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（0℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - ・ 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - ・ 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中にアダプタやクレードルが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。故障の原因となります。

ドコモnanoUIMカードについてのお願い

- ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモnanoUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分は時々清掃し、きれいな状態で使用してください。IC部分が汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、ドコモnanoUIMカードに登録されたデータは、別にメモを取るなどして保管してください。万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境安全のため、不要になったドコモnanoUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失、故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。

- ドコモnanoUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けしないでください。故障の原因となります。

Bluetooth[®]機能を利用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
本端末のBluetooth機能／無線LAN機能が利用する周波数帯は、次のとおりです。

2.4XX4/DS4/OF4

2.4：2400MHz帯を利用する無線設備を表します。XX/DS/OF：変調方式がその他の方式、DS-SS、OFDMであることを示します。

4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。

■ ■ ■：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャネルは国により異なります。WLANを海外で利用する場合は、その国の利用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN (WLAN) について のお願い

- 無線LAN (WLAN) は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。

- 無線LAN機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。

- ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- ・近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。

●2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

●5GHz機器使用上の注意事項

- ・ご使用のWi-Fi対応機器がWi-Fi 5GHz帯に対応しているかご確認ください。ご使用のWi-Fi対応機器に5GHz帯に対応していないものがある場合は、本端末の設定を2.4GHz帯にしてご使用ください。またはSSID1を「2.4GHz」、SSID2を「5GHz」に設定し、クレードルを使用して接続／通信していただくことも可能です。
- ・本端末に内蔵の無線LANを5.2／5.3GHzでご利用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になりません（5.2GHz帯高出力データ通信システムのアクセスポイント／中継局と通信する場合を除く）。
- ・本端末が使用するチャンネルは次のとおりです。
 - W52 (5.2GHz帯／36、40、44、48ch)
 - W53 (5.3GHz帯／52、56、60、64ch)
 - W56 (5.6GHz帯／100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch)
- ・Wi-Fi 5GHz帯のW53/W56利用時は気象レーダーなどとの電波干渉を避けるためにチャンネルを自動的に変更する場合があります。その場合通信が一時的に切断されます。（DFS機能）

注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。

本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク[㊞]」が本端末の電子銘板に表示されており、電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。

ホーム画面で「端末情報」→「認証情報」

本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。

ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。



防塵性能

本端末は、ドコモnanoUIMカードスロットのカバーをしっかりと閉じた状態でIP5X^{*}の防塵性能を有しています。

※ IP5Xとは、保護度合いをさし、直径75 μ m以下の塵埃（じんあい）が入った装置に本端末を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに通信機器の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。



ご使用にあたって

- ご使用前にドコモnanoUIMカードスロットのカバーはしっかりと閉じてください。微細なゴミ（微細な繊維、髪の毛、砂など）がわずかでも挟まると、粉塵が入る原因となります。
- USB Type-C接続端子にほこりが入った場合は、取り除いてご使用ください。
- USB Type-C接続端子などを尖ったものでつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防塵性能の劣化を招くことがあります。
- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様のお取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。
- 付属品、オプション品は防塵性能を有していません。

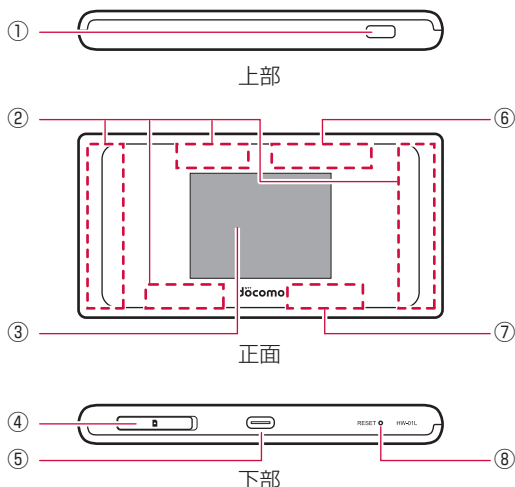
防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

ご使用前の確認

各部の名称と機能.....	20
ドコモnanoUIMカードを使う.....	22
充電する.....	27
電源を入れる／切る.....	31
画面の見かた.....	32
タッチパネルの使いかた.....	35
英数字と記号の入力.....	36

各部の名称と機能

■ 本体



① 電源キー

- 電源を入れる／切るときや、画面を点灯／消灯するときに使用します。電源キーを2秒以上押すとメニューが表示され、「電源を切る」「再起動」の操作ができます。→P.31

- 電源を入ると、Wi-Fi機能がオンになります。

② LTE／FOMAアンテナ※

③ タッチパネル（ディスプレイ）

- 本端末の状態を表示したり、各種操作を行ったりします。→P.32

④ ドコモnanoUIMカードスロットのカバー

- 内側に銘板シールが貼付されています。シールをはがすと故障修理をお断りする場合があります。→P.178

⑤ USB Type-C接続端子

- 充電時やパソコン接続時などに使用します。→P.28、P.29、P.30
- USB Power Deliveryに対応しています。

⑥ Wi-Fiアンテナ※

⑦ Wi-Fi／Bluetoothアンテナ※

⑧ RESETボタン

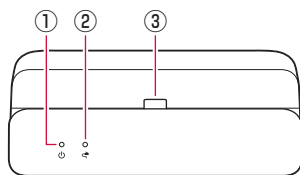
- 本端末の電源がオンの状態で、5秒以上押し続けると、本端末の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。
- HW-01L設定ツールからリセットできます。詳しくは「リセット」（→P.127）をご覧ください。

※ アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと、通信の品質に影響を及ぼす場合があります。

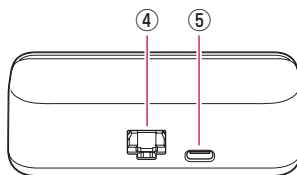
お知らせ

- 背面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。
- 本端末の電池は内蔵されており、お客様ご自身では交換できません。

■ クレードル HW02



正面



背面

① 電源ランプ [緑色]

点灯：電源接続中

消灯：電源未接続

② Ethernetランプ [緑色]

点灯：LANケーブル接続中

消灯：LANケーブル未接続、または
接続異常

点滅：接続途中、またはデータ通信中

③ 充電用Type-Cプラグ

④ Ethernetポート

⑤ 電源用USB Type-C接続端子

ドコモnanoUIMカードを使う

ドコモnanoUIMカードは電話番号などお客様の情報が記録されているICカードのことで、本端末に取り付けることで、データ通信を利用できます。ドコモnanoUIMカードについて詳しくは、ドコモnanoUIMカードの取扱説明書または、ドコモのホームページをご覧ください。

- ・本端末ではドコモnanoUIMカードのみご使用できます。ドコモUIMカード、ドコモminiUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。

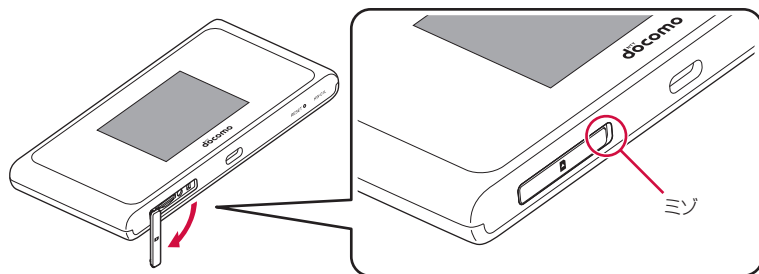
取り付けかた／取り外しかた

ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外しは、本端末の電源を切ってから行ってください。
→P.31

- ・本端末がクレードルにセットされている、またはUSB接続ケーブルなどに接続されているときは、先に取り外してください。

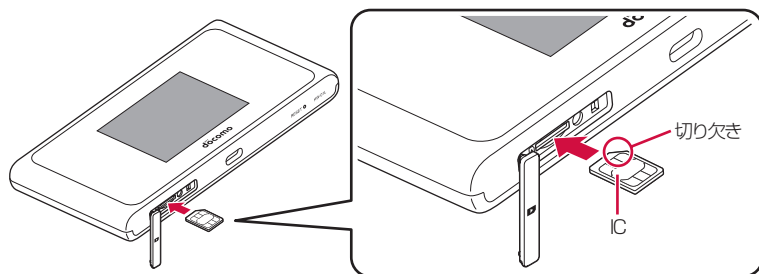
取り付けかた

1 ドコモnanoUIMカードスロットのカバーのミゾに指先をかけて開く



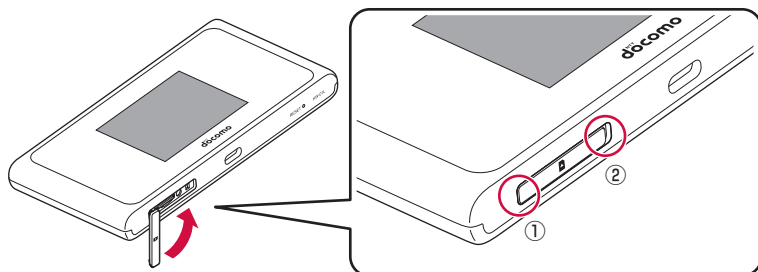
2 ドコモnanoUIMカードのIC面を上にして、ドコモnanoUIMカードスロットにカチッと音がするまでゆっくりと差し込む

- ・切り欠きの方向にご注意ください。
- ・ドコモnanoUIMカードが固定してから指を離してください。



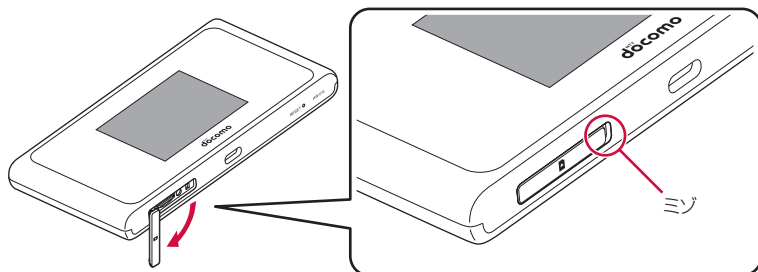
3 ドコモnanoUIMカードスロットのカバーを閉じて①、②の順に○部分をしっかりと押す

- ・ 本端末とカバーにすき間がないことを確認してください。



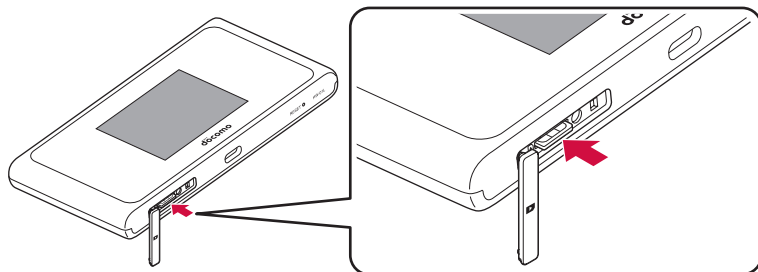
■ 取り外しかた

1 ドコモnanoUIMカードスロットのカバーのミゾに指先をかけて開く

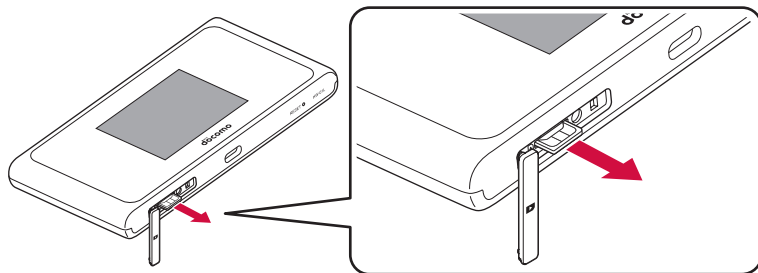


2 ドコモnanoUIMカードをカチッと音がするまで矢印の方向に軽く押し込む

- ・ ドコモnanoUIMカードの固定が解除されてから指を離してください。固定が解除されると、ドコモnanoUIMカードが少し飛び出します。

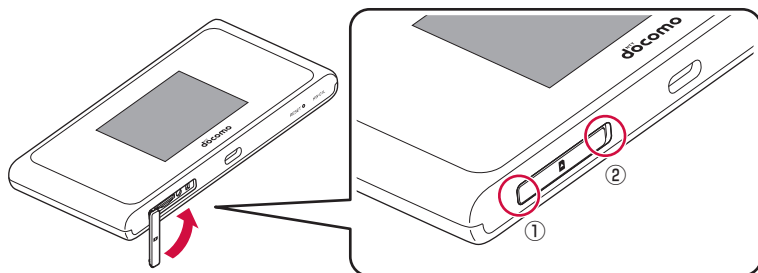


3 ドコモnanoUIMカードスロットからドコモnanoUIMカードを取り外す



4 ドコモnanoUIMカードスロットのカバーを閉じて①、②の順に○部分をしっかりと押す

- 本端末とカバーにすき間がないことを確認してください。



お知らせ

- 取り外したドコモnanoUIMカードはなくさないようにご注意ください。
- ドコモnanoUIMカードのICに触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。
- ドコモnanoUIMカードを無理に取り付けようとしたり、取り外そうとしたりすると、ドコモnanoUIMカードが破損することがあります。

暗証番号

ドコモnanoUIMカードにはPINコードという暗証番号があります。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。PINコードは、第三者によるドコモnanoUIMカードの無断使用を防ぐため、ドコモnanoUIMカードを本端末に取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号（コード）です。PINコードを入力することにより、端末操作が可能となります。

- PINコードの入力を3回連続して間違えると、ロックされて使えなくなります。この場合は「PINロック解除コード（PUK）」でロックを解除してください。
- 新しく本端末を購入されて、現在ご使用中のドコモnanoUIMカードを差し替えてお使いになるときは、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。

■ PINコードに関するご注意

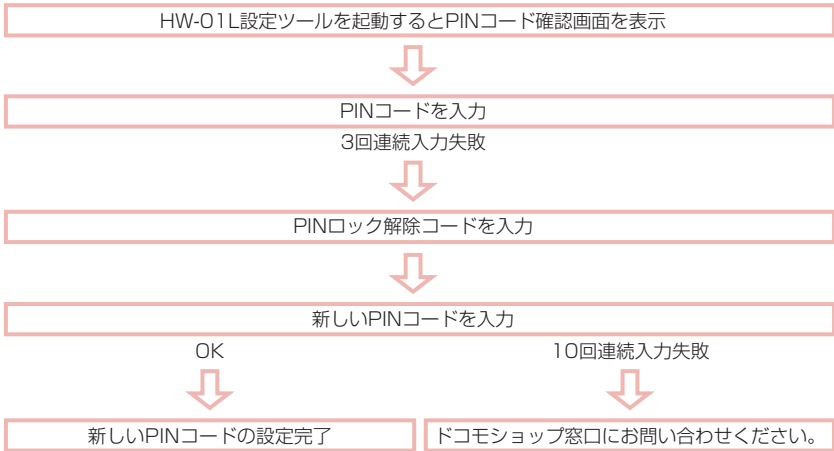
お客様ご自身で番号を自由に変更できます。第三者による無断使用を防ぐため、お客様独自の番号に変更してください。

- 設定するPINコードは「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定したPINコードはメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- PINコードは、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一PINコードが他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- PINコードを忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでのご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でのご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

■ PINロック解除コード (PUK)

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための数字8桁の番号です。
なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモnanoUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。



充電する

はじめてお使いになるときや、長時間お使いにならなかったときは、必ず充電してからお使いください。

- 本端末に対応する最新の充電機器は、ドコモのオンラインショップでご確認ください。
<https://www.mydocomo.com/onlineshop/options/index.html>
- 付属のUSB接続ケーブルHW05はデータ通信用です。充電の際には、別売のACアダプタをご使用ください。

■ 充電について

- ACアダプタのコードやUSBケーブル A to C 01（別売）は、無理な力がかからないように水平にゆっくり抜き差ししてください。

■ 充電時間／使用可能時間の目安

- 充電完了までの時間は、周囲の温度や内蔵電池の使用期間などによって異なります。
- 充電時間／使用可能時間の目安については、「主な仕様」（→P.183）をご覧ください。

■ 内蔵電池の寿命について

- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。内蔵電池の交換につきましては裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。



Li-ion00

■ ACアダプタについて

- 詳しくは、ご使用になるACアダプタの取扱説明書をご覧ください。
- ACアダプタ 07（別売）はAC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は、行わないでください。

■ 電池残量の確認のしかた

- ・ 内蔵電池の電池残量は、タッチパネル上部の電池残量表示で確認できます。→P.33

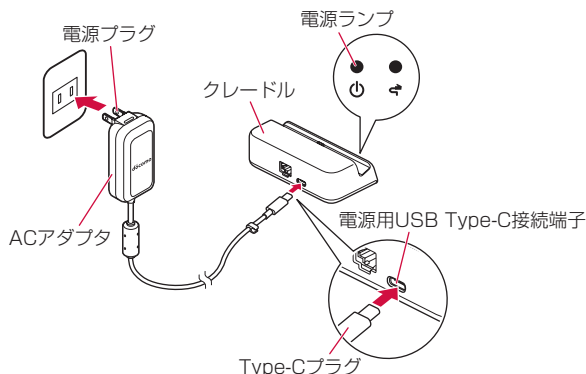
お知らせ

- ・ 電源を切っている間でも、ACアダプタやパソコン、およびクレードルに接続すると、充電中を示すアニメーションがタッチパネルに表示されます。充電が完了すると、アニメーションから充電完了を示す電池のアイコンに変わります。タッチパネルが消灯しているときは、電源キーを押すと表示を確認できます。

■ クレードルで充電する

付属のクレードル HW02とACアダプタ 07（別売）を使って充電する方法を説明します。

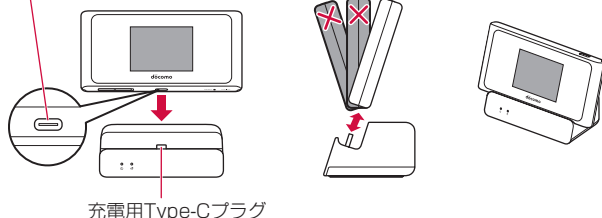
- 1 ACアダプタのType-Cプラグを、クレードルの電源用USB Type-C接続端子に水平に差し込む
- 2 ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む
クレードルの電源ランプが点灯します。



- 3 本端末のUSB Type-C接続端子を下にして、クレードルの充電用Type-Cプラグに対し真っ直ぐ接続する

- ・ 本端末とクレードルの向きが合っていることをご確認ください。誤った向きで抜き差しすると、破損の原因になります。

USB Type-C接続端子



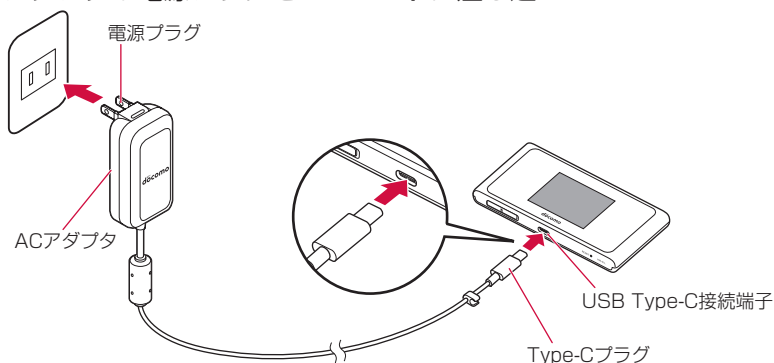
- 4 充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く
- 5 ACアダプタのType-Cプラグを、クレードルの電源用USB Type-C接続端子から抜く
- 6 本端末をクレードルの充電用Type-Cプラグに対し真っ直ぐ取り外す

ACアダプタで充電する

ACアダプタ 07（別売）を使用して充電する方法を説明します。

- 1 ACアダプタのType-Cプラグを、本端末のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む
 - ・ 無理に奥まで差し込まないでください。

- 2 ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む



- 3 充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く
- 4 ACアダプタのType-Cプラグを本端末から水平に抜く

■ DCアダプタで充電する

DCアダプタ 05（別売）は、自動車のアクセサリースOCKET（12V／24V）から充電するための電源を供給するアダプタです。DCアダプタ 05を使用する場合は、USBケーブル A to C 01（別売）が必要です。

取り扱いについて詳しくは、DCアダプタの取扱説明書をご覧ください。

■ パソコンに接続して充電する

USBケーブル A to C 01（別売）を使ってパソコンと接続すると、本端末をパソコンで充電できます。

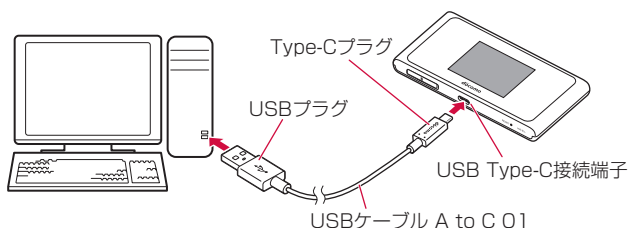
- ・ 本端末を初めてパソコンに接続したときは、HW-01L設定ツールのインストーラーが自動的に起動します。HW-01L設定ツールをインストールしなくても充電は可能です。→P.76、P.82
- ・ 本端末の初期設定では、USBテザリングが有効になっているため、パソコンに接続すると自動的にインターネットに接続されます。パケット通信（課金対象）が発生しますのでご注意ください。

1 USBケーブル A to C 01のType-Cプラグを、本端末のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む

- ・ 無理に奥まで差し込まないでください。

2 USBケーブル A to C 01のUSBプラグを、パソコンのUSBポートに接続する

- ・ USBプラグの向きをよく確かめ、水平に差し込んでください。



3 充電が完了したら、USBケーブル A to C 01のUSBプラグをパソコンのUSBポートから抜く

4 USBケーブル A to C 01のType-Cプラグを本端末のUSB Type-C接続端子から水平に抜く

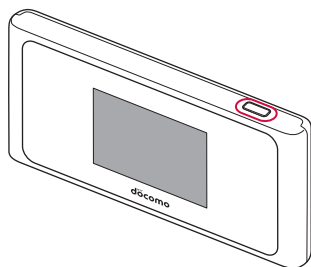
電源を入れる／切る

電源を入れる

1 電源キーを約2秒間押し続ける

Wi-Fi機能が自動的にオンになり、ロック画面が表示されます。

- ・ 初回起動時は、ソフトウェアの自動更新設定画面が表示されます。自動更新のオン／オフ、自動更新時刻を設定して、「終了」をタップしてください。



お知らせ

- ・ ドコモnanoUIMカードにSIM PIN認証が有効に設定されている場合には、本端末の電源を入れたときPINコードの入力が必要になります。
- ・ 画面ロック中は、本端末を約15秒操作しないと、タッチパネルの表示が消えます。電源キーを押すと、タッチパネルを表示します。
- ・ すでに接続の設定をしたあとは、本端末とWi-Fi対応機器のWi-Fi機能をオンにするだけで、自動的に接続が再開されます。

電源を切る

1 電源キーを約2秒間押し続ける

2 「電源を切る」をタップ

お知らせ

- ・ 本端末の電源を切ると、Wi-Fi対応機器との接続が自動的に切れます。

画面ロックを解除する

1 ロック画面をフリック

画面ロックが解除され、ホーム画面が表示されます。



■ パスコードが設定されている場合

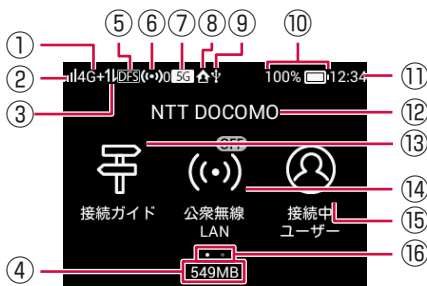
ロック画面をフリックし、パスコード入力画面でパスコードを入力します。



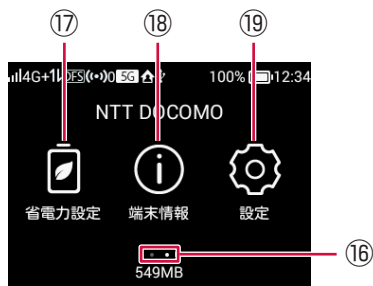
画面の見かた

■ ホーム画面

左右にフリックするとページを切り替えられます。



ホーム画面（1ページ目）



ホーム画面（2ページ目）

① 接続中のネットワークの種類

接続中のネットワークの種類（「4G+」＊／「3G」／公衆無線LAN）が表示されます。

＊ 本端末は、LTE接続時は常に「4G+」が表示されます。

ローミング中は、のように受信レベル表示の左上に「R」が表示されます。

公衆無線LANに接続中は以下のアイコンが表示されます。

-  ⇄  : 受信レベル「強」⇄「弱」

② 受信レベルアイコン／クレードルを使用してアクセスポイントとして接続中アイコン

-  ⇄  : 受信レベル「強」⇄「弱」
-  : 圏外／ドコモnanoUIMカード未挿入／無効なドコモnanoUIMカード
-  : クレードルを使用してアクセスポイントとして接続中に表示されます。

③ インターネット接続アイコン

インターネットに接続されデータ通信が可能になったことを示します。
インターネットに接続できない場合には表示されません。→P.171

-  : インターネット接続中（送信中）
-  : インターネット接続中（受信中）
-  : インターネット接続中（送受信中）
-  : インターネット接続中で通信が行われていない場合
-  : 本端末が高温になり温度を下げる必要があるので、通信速度を抑えるときに表示されます。→P.176
-  : 本端末が高温になり温度を下げる必要があるので、インターネット接続が切断されているときに表示されます。→P.176

④ データ通信量表示

利用したデータ通信量が表示されます。目標データ通信量を表示させることもできます。
→P.104、P.142

⑤ DFSチェックアイコン

DFSチェック中はが点滅します。→P.5

⑥ Wi-Fi機能アイコン／接続台数表示

-  : Wi-Fi機能がオンになっているときに表示されます。
右側の数字は、本端末に接続中のWi-Fi対応機器の台数です。

⑦ 周波数帯アイコン

利用している周波数帯が表示されます。

-  : Wi-Fi 2.4GHz帯を利用中
-  : Wi-Fi 5GHz帯を利用中
-  : Wi-Fi 2.4GHz帯と5GHz帯を同時に利用中

⑧ 屋内使用アイコン

-  : Wi-Fi 5GHz帯のW52またはW53チャンネルで接続中に表示されます。
このアイコンが表示されているときは、屋内でご使用ください。

⑨ USB接続中アイコン／クレードルを使用してルータとして接続中アイコン

-  : パソコンとUSB接続ケーブルで接続中に表示されます。
-  : クレードルを使用してルータとして接続中に表示されます。

⑩ 電池残量表示

電池残量が数字とアイコンで表示されます。

-  ⇄  : 電池残量「多い」⇄「少ない」
-  : 電池残量が少なくなっています。充電してください。→P.27
-  ⇄  ⇄  ⇄  : 充電中

⑪ 時刻表示

時刻が表示されます。

⑫ 接続中のネットワーク名表示

接続中のネットワーク名が表示されます。

⑬ 接続ガイド

画面の指示に従って操作すると、本端末とWi-Fi対応機器を接続できます。

⑭ 公衆無線LANのオン／オフ

タップすると公衆無線LANをオン／オフできます。

⑮ 接続中ユーザー

Wi-Fi接続中のユーザーの確認やブロックの設定ができます。→P.150

⑯ インジケータ

ホーム画面のページ枚数と現在表示している位置を示します。

⑰ 省電力設定

タップするとWi-Fi機能の自動オフ（ネットワークスリープ）や画面の明るさなどを設定できます。→P.150

⑱ 端末情報

本端末に関する情報を確認できます。→P.152

⑲ 設定

タップすると本端末の各種設定を変更できます。→P.133

お知らせ

- 画面ロックが解除された状態で本端末を約60秒操作しないと、タッチパネルの表示が消え、省電力状態になります。再度タッチパネルを点灯させるには、電源キーを押してください。画面点灯時間は、設定によって変更できます。→P.151
-



タッチパネルの使いかた

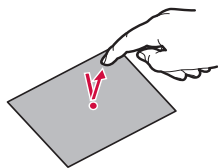
本端末は指で直接触れて操作するタッチパネルとなっています。タッチパネルは、触れかたによってさまざまな操作ができます。



タッチパネルをご使用になる前に

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますので、ご注意ください。
 - 手袋をしたままでの操作
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼っての操作

■タップ



項目やアイコンに軽く触れて指を離します。

■フリック



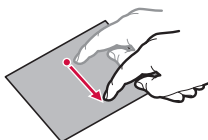
タッチパネルを指ですばやくはらうように操作します。

■スライド（スワイプ）



タッチパネルに軽く触れたまま、目的の方向になぞります。

■ドラッグ



アイコンなどに軽く触れたまま、目的の位置までなぞります。

英数字と記号の入力

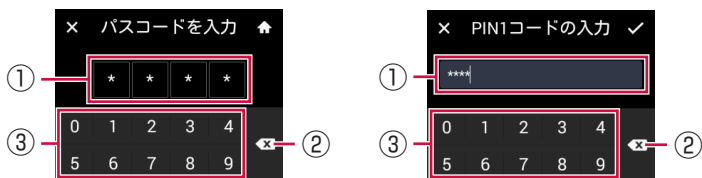
■ 英数記号キーボード



- ① 入力欄です。カーソルの位置に文字が入力されます。カーソルはタップまたはドラッグして移動できます。パスワードなどの場合は、入力した文字が「*」で表示されることがあります。
- ② カーソルの左側にある文字を削除します。
- ③ 文字を入力するキーボードです。左右にドラッグすると表示されていない文字を表示できます。
- ④ スペース（空白）を入力します。
- ⑤ 入力する文字種を切り替えます。

- **123** : 数字入力
- **a/A** : 英字入力（タップするたびに大文字／小文字が切り替わります）
- **!#\$** : 記号入力

■ 数字キーボード



- ① 入力欄です。タップした文字が左側から順番に、またはカーソルの位置に入力されます。パスワードなどの場合は、入力した文字が「*」で表示されることがあります。
- ② 右側の文字から順番に、またはカーソルの左側にある文字を削除します。
- ③ 文字を入力するキーボードです。

セットアップ

セッ ト ア ッ プについて	38
Wi-Fiお引越し機能を利用して接続する.....	41
Wi-Fiで接続／通信する	43
USB接続ケーブルで接続／通信する	74
クレードルを使用して接続／通信する	84

■ セットアップについて

本端末と通信を行う機器との接続は、Wi-Fiお引越し機能を利用する方法、Wi-Fi機能を使う方法、USB接続ケーブルを使う方法、およびクレードルを使う方法があります。接続方法ごとの説明をご覧ください、セットアップを進めてください。

いったん設定したあとは、本端末とWi-Fi対応機器のWi-Fi機能をオンにするだけで、自動的に接続されます。

■ Wi-Fiお引越し機能を利用する場合

これまで利用していたWi-Fiルータに代わって本端末をご使用になる場合は、そのSSIDとパスワードを本端末に引き継ぐことができます。Wi-Fi対応機器側の設定を変える必要がないので、かんたんに接続することができます。

■ Wi-Fi接続でデータの送受信を行う場合

本端末はWi-Fi対応機器を同時に16台まで（マルチSSID利用時はSSID1に8台、SSID2に8台まで）接続できます。

ネットワークやセキュリティの設定などを変更する場合は、HW-01L設定ツールをご利用ください。→P.90

■ USB接続ケーブルで接続してデータの送受信を行う場合

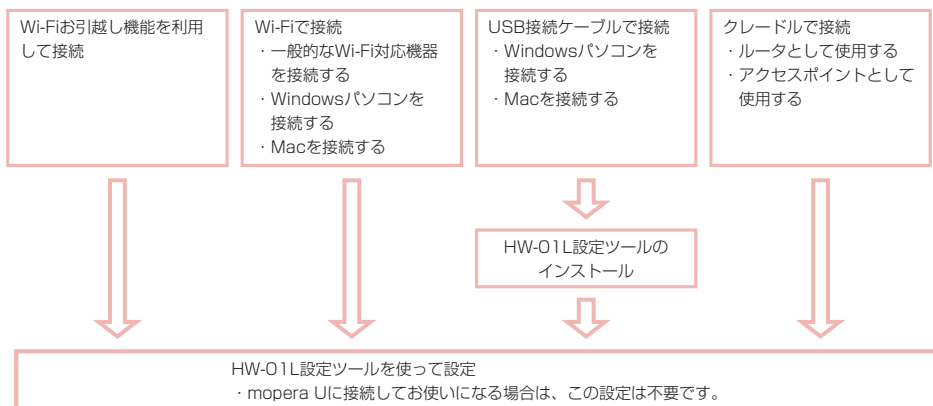
パソコンと本端末をUSB接続ケーブルで接続して、データの送受信ができます。この場合、本端末をパソコンに認識させるため、HW-01L設定ツールのインストールが必要です。→P.76、P.82

USB接続ケーブルで接続して使用中でも、Wi-Fi対応機器を同時に16台まで（マルチSSID利用時はSSID1に8台、SSID2に8台まで）接続できます。

■ クレードルを使用してデータの送受信を行う場合

付属のクレードルに市販のLANケーブルと別売のACアダプタを接続すると、充電しながらルータまたはアクセスポイントとして使用できます。

■ セットアップの流れ



セットアップに必要な情報について

本端末にWi-Fi対応機器を接続するとき、以下の情報が必要になります。付属の無線LAN初期設定シールに、本端末の初期設定値が記載されておりますので、必要に応じてご確認ください。また、本端末のタッチパネルに情報を表示することもできます。→P.152

- SSID

ネットワーク上での本端末の名前です。

SSID : HWO1L-XXXXXX (MACアドレス下6桁)

- パスワード (セキュリティキー)

本端末のタッチパネルには「パスワード」と表示されます。

Wi-Fi対応機器によっては、「パスワード」は「Wi-Fiパスワード」、「セキュリティキー」のように表記されている場合もありますが同じことを意味します。

- ・ 付属の無線LAN初期設定シールは、大切に保管してください。
- ・ セキュリティを確保するため、お買い上げ時に設定されているSSID、およびパスワード (セキュリティキー) を変更してお使いになるようおすすめします。

対応機器を確認する

本端末が対応する機器について説明します。対応機器の最新情報については、ドコモのホームページをご確認ください。

お知らせ

- ・ パソコンは最新状態にして、お使いください。
- ・ USBハブ (モニターやキーボードなどにあるUSBポート含む) を経由しての動作は保証いたしかねます。
- ・ お客様の環境・機器によっては、ご使用になれない場合があります。また対応の動作環境以外でのご使用によるお問い合わせ、および、動作保証は、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

Wi-Fi接続できる機器について

無線LAN規格IEEE802.11a/n/ac (5GHz帯)、IEEE802.11b/g/n (2.4GHz帯) に対応しているWi-Fi対応機器と接続できます。

お知らせ

- ・ SSIDごとに無線LAN規格IEEE802.11a/n/ac (5GHz)、IEEE802.11b/g/n (2.4GHz) のどちらを使用するか設定できます。ただし、Wi-Fi 2.4GHz帯と5GHz帯を同時に利用するときは、SSID1を「2.4GHz」、SSID2を「5GHz」に設定し、クレードルを使用して接続／通信してください。→P.107
- ・ Wi-Fi対応機器の動作や操作方法などについては、提供元メーカーにお問い合わせください。

■ USBテザリングできる機器について

対応しているOSは以下のとおりとなります。

- Windows 10 (32ビット／64ビット)
- Windows 8.1[※] (32ビット／64ビット)
- Windows 7 SP1 (32ビット／64ビット)
- macOS Mojave 10.14 (64ビット)
- macOS High Sierra 10.13.6 (64ビット)
- macOS Sierra 10.12.6 (64ビット)
- OS X 10.11.6 (64ビット)

※ Windows RTは非対応となります。

お知らせ

- USBテザリング中に本端末は充電されます。
-

■ 本端末の設定を変更できる機器について

対応しているOS^{※1}は以下のとおりとなります。

- Windows 10 (32ビット／64ビット)
- Windows 8.1^{※2} (32ビット／64ビット)
- Windows 7 SP1 (32ビット／64ビット)
- macOS Mojave 10.14 (64ビット)
- macOS High Sierra 10.13.6 (64ビット)
- macOS Sierra 10.12.6 (64ビット)
- OS X 10.11.6 (64ビット)
- Android^{※3}
- iOS^{※3}

※1 対応OSは日本語版となります。OSのアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。

※2 Windows RTは非対応となります。

※3 バックアップとリストアは非対応となります。

Wi-Fiお引越し機能を利用して接続する

これまで利用していたWi-Fiルータに代わって本端末をご使用になる場合は、そのSSIDとパスワードを本端末に引き継ぐことができます（Wi-Fiお引越し機能）。Wi-Fi対応機器側の設定を変える必要がないので、かんたんに接続することができます。

- これまで利用していたWi-FiルータにWPS機能が搭載されている場合のみ、利用できます。また、Wi-Fiルータの設定によっては、引き継がないことがあります。
- 本端末のWi-Fiモードを「5GHz」に設定している場合は、Wi-Fiお引越し機能は利用できません。

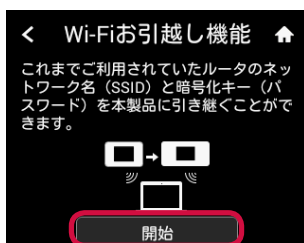
1 本端末の電源キーを約2秒間押し続けて電源を入れる

Wi-Fi機能がオンになり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

2 本端末のホーム画面で「接続ガイド」→「次へ」→「Wi-Fiお引越し機能」をタップ



3 「開始」をタップ



4 約2分以内に、これまで利用していたWi-FiルータでWPSボタンを押す

検索に成功すると、本端末のタッチパネルに「SSID（2.4GHz）が見つかりました。」または「SSID（5GHz）が見つかりました。」と表示されます。

- お使いのWi-Fiルータによって操作は異なります。

5 「はい」 をタップする

SSIDとパスワードが本端末にコピーされ、引継ぎ完了のメッセージが表示されます。

- ・ 失敗した場合は、画面の指示に従ってください。

メッセージ	対処方法
Wi-Fi設定お引越し失敗： 別ルータとWPS処理中です。時間をおいて再度、Wi-Fi設定お引越しをお試しください。	時間をおいて再度試してください。
引継ぎ失敗： SSIDが見つかりませんでした。再度、Wi-Fi設定お引越しをお試しください。	再度試してください。
Wi-Fi設定お引越し失敗： 非対応の暗号化方式のため引き継げません。 手動にて設定してください。	Wi-Fiお引越し機能は利用できません。
Wi-Fi設定お引越し失敗： SSIDに非対応文字が含まれているため引き継げません。手動にて設定してください。	
Wi-Fi設定お引越し失敗： パスワードに非対応文字が含まれているため引き継げません。手動にて設定してください。	
Wi-Fi設定お引越し失敗： SSID名称はSSID 2名称と重複のため引き継げません。手動にて設定してください。	

6 「OK」 をタップする

7 これまで利用していたWi-Fiルータの電源を切る

Wi-Fi対応機器が、本端末に接続するようになります。

お知らせ

- ・ Wi-Fiお引越し機能では、引き継がない暗号化モードや、SSIDやパスワードで引き継がない文字があります。本端末で利用できる暗号化モードや、SSIDとパスワードの文字列については、「基本設定」(→P.107)をご覧ください。
- ・ 本端末をリセットすると引き継いだ内容もすべて削除されます。
- ・ これまで利用していたWi-Fiルータの周波数(2.4GHz/5GHz)に関わらず、SSIDとパスワードの引き継ぎが可能です。
- ・ 引き継ぎ後も本端末の周波数(2.4GHz/5GHz)設定は変わりません。ご利用になりたい周波数を選択してください。→P.107

Wi-Fiで接続／通信する

本端末は、Wi-Fi機能により同時に複数のパソコンやゲーム機などのWi-Fi対応機器と接続し、データの送受信ができます。

一般的なWi-Fi対応機器を接続する

ここでは、各種ゲーム機や携帯端末などの一般的なWi-Fi対応機器を例にして説明します。

■ WPS機能を利用して接続する場合（自動接続）

WPS機能のプッシュボタン方式に対応しているWi-Fi対応機器であれば、接続するために必要なSSIDやセキュリティ方式などを、簡単な操作で設定できます。お使いのWi-Fi対応機器がWPS機能のプッシュボタン方式に対応しているかどうかは、お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書をご覧ください。

- WPS機能を利用するには、本端末のセキュリティ方式（暗号化方式）を「WPA2-PSK(AES)」または「WPA/WPA2-PSK(AES+TKIP)」に設定する必要があります。また、SSIDブロードキャストが「有効」になっている必要があります。→P.107

1 本端末の電源キーを約2秒間押し続けて電源を入れる

Wi-Fi機能がオンになり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

2 Wi-Fi対応機器の接続設定画面を表示し、必要に応じてWPS接続の準備操作を行う

- Wi-Fi対応機器によって操作方法が異なります。お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書をご覧ください。

3 本端末のホーム画面で「接続ガイド」→「次へ」→「WPS」をタップ



4 本端末の「WPS接続開始」をタップ



5 Wi-Fi対応機器のWPSボタンを押す

- Wi-Fi対応機器によって操作方法が異なります。お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書をご覧ください。
 - セットアップの完了まで約2分かかることがあります。
- 本端末のタッチパネルに「成功しました」と表示されたら設定完了です。

お知らせ

- WPS設定を利用した機器の接続中は、他のWi-Fi対応機器の通信が切断される場合があります。
- MACアドレスフィルタリングが設定されたWi-Fi対応機器は、WPS設定に失敗する場合があります。

■ アクセスポイントを検索して接続する場合（手動接続）

お使いのWi-Fi対応機器がWPS機能に対応していない場合や、WPS接続ができない場合などに手動で接続します。

1 本端末の電源キーを約2秒間押し続けて電源を入れる

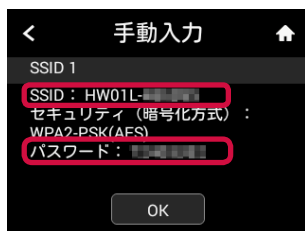
Wi-Fi機能がオンになり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

2 本端末のホーム画面で「接続ガイド」をタップ



3 「次へ」→「手動入力」をタップ

本端末のSSIDとパスワード（セキュリティキー）が表示されます。



4 Wi-Fi対応機器の接続設定画面を表示する

- Wi-Fi対応機器によって操作方法が異なります。お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書をご覧ください。

5 アクセスポイントを検索する

- Wi-Fi対応機器でWi-Fi機能をオンにしたり、「アクセスポイントに接続」や「検索する」などのメニューを選択したりすると、近くにあるアクセスポイントが一覧表示されます。
- Wi-Fi対応機器によって操作方法が異なります。お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書をご覧ください。

6 アクセスポイントの一覧から、本端末のSSIDが表示されている項目を選択する

7 パスワード（セキュリティキー）を入力し、設定を保存する

- Wi-Fi対応機器によっては、暗号化方式の選択画面が表示されることがあります。本端末に設定しているセキュリティ方式（暗号化方式）を選択してください。→P.107

Windowsパソコンを接続する

ここでは、Windows 10とWindows 8.1、Windows 7の場合を例にして説明します。
詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書などをご覧ください。

Windows 10

マウスで操作した場合を例にして説明します。タッチパネルなどで操作する場合は、お使いのパソコンの取扱説明書などをご覧ください。

■ WPS機能を利用して接続する場合（自動接続）

WPS機能を利用して、接続するために必要なSSIDやセキュリティ方式などを、簡単な操作で設定します。

- WPS機能を利用するには、本端末のセキュリティ方式（暗号化方式）を「WPA2-PSK(AES)」または「WPA/WPA2-PSK(AES+TKIP)」に設定する必要があります。また、SSIDブロードキャストが「有効」になっている必要があります。→P.107

1 本端末の電源キーを約2秒間押し続けて電源を入れる

Wi-Fi機能がオンになり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

2 本端末のホーム画面で「接続ガイド」→「次へ」→「WPS」をタップ



3 本端末の「WPS接続開始」をタップ

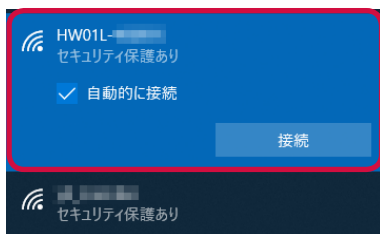


4 パソコンのWi-Fi機能をオンにする

5 タスクトレイの をクリック

6 本端末のSSIDを選択し、「自動的に接続」にチェックマークを付けて「接続」をクリック

- SSIDは、付属の無線LAN初期設定シールに記載されています。



- パソコンの共有についてのメッセージが表示される場合があります。パソコンの共有については、Windowsのヘルプを参照してください。
 - セットアップの完了まで約2分かかることがあります。
- 本端末のタッチパネルに「成功しました」と表示されたら設定完了です。

お知らせ

- WPS設定を利用した機器の接続中は、他のWi-Fi対応機器の通信が切断される場合があります。
- MACアドレスフィルタリングが設定されたWi-Fi対応機器は、WPS設定に失敗する場合があります。

■ アクセスポイントを検索して接続する場合（手動接続）

WPS接続ができない場合などに手動で接続します。

1 本端末の電源キーを約2秒間押し続けて電源を入れる

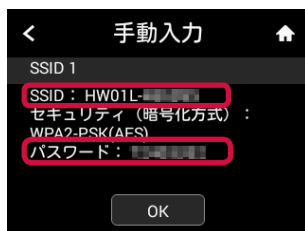
Wi-Fi機能がオンになり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

2 本端末のホーム画面で「接続ガイド」をタップ



3 「次へ」→「手動入力」をタップ

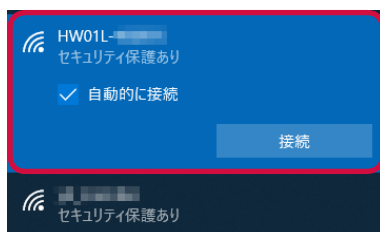
本端末のSSIDとパスワード（セキュリティキー）が表示されます。



4 パソコンのWi-Fi機能をオンにする

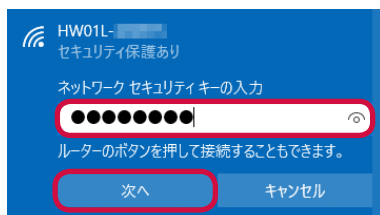
5 タスクトレイの （利用可能）をクリック

6 本端末のSSIDを選択し、「自動的に接続」にチェックマークを付けて「接続」をクリック



7 パスワード（セキュリティキー）を入力し、「次へ」をクリック

- パソコンの共有についてのメッセージが表示される場合があります。パソコンの共有については、Windowsのヘルプを参照してください。



■ Windows 8.1

マウスで操作した場合を例にして説明します。タッチパネルなどで操作する場合は、お使いのパソコンの取扱説明書などをご覧ください。

■ WPS機能を利用して接続する場合（自動接続）

WPS機能を利用して、接続するために必要なSSIDやセキュリティ方式などを、簡単な操作で設定します。

- WPS機能を利用するには、本端末のセキュリティ方式（暗号化方式）を「WPA2-PSK(AES)」または「WPA/WPA2-PSK(AES+TKIP)」に設定する必要があります。また、SSIDブロードキャストが「有効」になっている必要があります。→P.107

1 本端末の電源キーを約2秒間押し続けて電源を入れる

Wi-Fi機能がオンになり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

2 本端末のホーム画面で「接続ガイド」→「次へ」→「WPS」をタップ



3 本端末の「WPS接続開始」をタップ



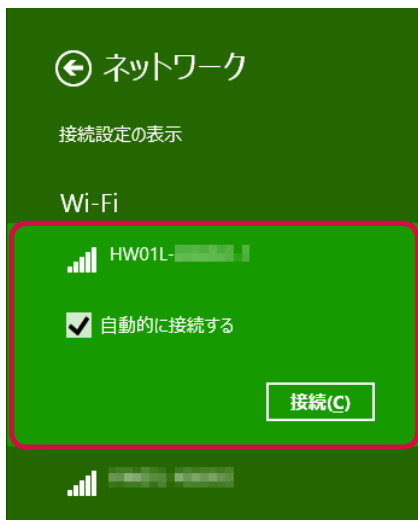
4 パソコンのWi-Fi機能をオンにする

5 デスクトップ画面右上をマウスでポイントし、チャームで（設定）をクリック

6 （利用可能）をクリック

7 本端末のSSIDを選択し、「自動的に接続する」にチェックマークを付けて「接続」をクリック

- SSIDは、付属の無線LAN初期設定シールに記載されています。



- パソコンの共有についてのメッセージが表示される場合があります。パソコンの共有については、Windowsのヘルプを参照してください。
 - セットアップの完了まで約2分かかることがあります。
- 本端末のタッチパネルに「成功しました」と表示されたら設定完了です。

お知らせ

- WPS設定を利用した機器の接続中は、他のWi-Fi対応機器の通信が切断される場合があります。
- MACアドレスフィルタリングが設定されたWi-Fi対応機器は、WPS設定に失敗する場合があります。

■ アクセスポイントを検索して接続する場合（手動接続）

WPS接続ができない場合などに手動で接続します。

1 本端末の電源キーを約2秒間押し続けて電源を入れる

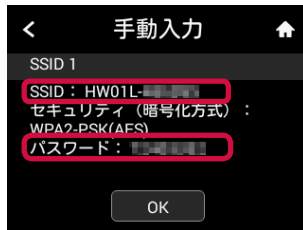
Wi-Fi機能がオンになり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

2 本端末のホーム画面で「接続ガイド」をタップ



3 「次へ」 → 「手動入力」をタップ

本端末のSSIDとパスワード（セキュリティキー）が表示されます。

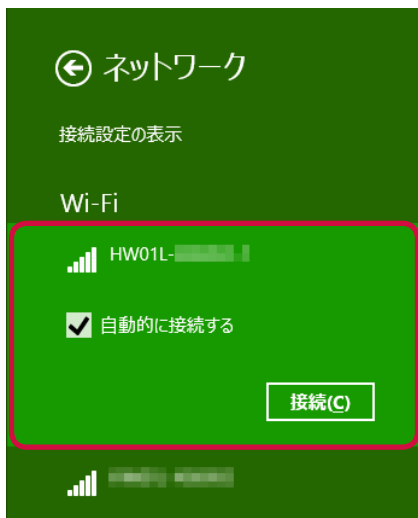


4 パソコンのWi-Fi機能をオンにする

5 デスクトップ画面右上をマウスでポイントし、チャームで（設定）をクリック

6 （利用可能）をクリック

- 7 本端末のSSIDを選択し、「自動的に接続する」にチェックマークを付けて「接続」をクリック



- 8 パスワード（セキュリティキー）を入力し、「次へ」をクリック

- ・ パソコンの共有についてのメッセージが表示される場合があります。パソコンの共有については、Windowsのヘルプを参照してください。



■ Windows 7

■ WPS機能を利用して接続する場合（自動接続）

WPS機能を利用して、接続するために必要なSSIDやセキュリティ方式などを、簡単な操作で設定します。

- WPS機能を利用するには、本端末のセキュリティ方式（暗号化方式）を「WPA2-PSK(AES)」または「WPA/WPA2-PSK(AES+TKIP)」に設定する必要があります。また、SSIDブロードキャストが「有効」になっている必要があります。→P.107

1 本端末の電源キーを約2秒間押し続けて電源を入れる

Wi-Fi機能がオンになり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

2 本端末のホーム画面で「接続ガイド」→「次へ」→「WPS」をタップ



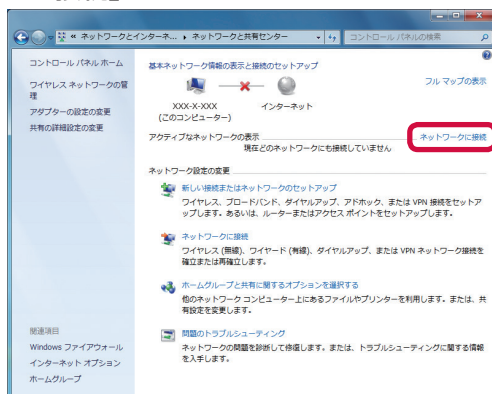
3 本端末の「WPS接続開始」をタップ



4 パソコンのWi-Fi機能をオンにする

5 「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックし、「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」をクリック

6 「ネットワークに接続」をクリック



7 本端末のSSIDを選択し、「自動的に接続する」にチェックマークを付けて「接続」をクリック

- SSIDは、付属の無線LAN初期設定シールに記載されています。



- セットアップの完了まで約2分かかることがあります。
- 本端末のタッチパネルに「成功しました」と表示されたら設定完了です。

お知らせ

- WPS設定を利用した機器の接続中は、他のWi-Fi対応機器の通信が切断される場合があります。
- MACアドレスフィルタリングが設定されたWi-Fi対応機器は、WPS設定に失敗する場合があります。

■ アクセスポイントを検索して接続する場合（手動接続）

WPS接続ができない場合などに手動で接続します。

1 本端末の電源キーを約2秒間押し続けて電源を入れる

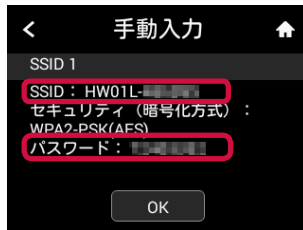
Wi-Fi機能がオンになり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

2 本端末のホーム画面で「接続ガイド」をタップ



3 「次へ」→「手動入力」をタップ

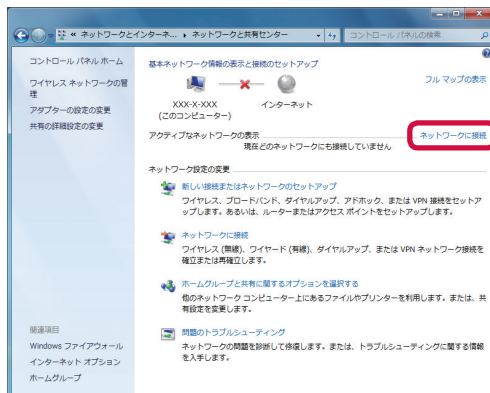
本端末のSSIDとパスワード（セキュリティキー）が表示されます。



4 パソコンのWi-Fi機能をオンにする

5 「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックし、「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」をクリック

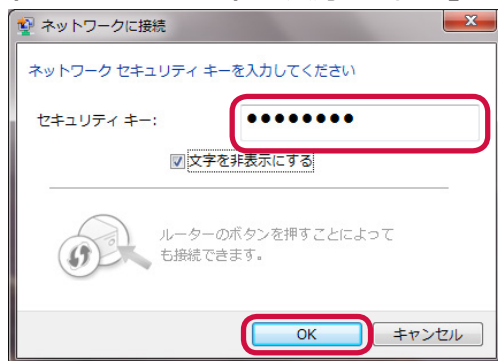
6 「ネットワークに接続」をクリック



- 7 本端末のSSIDを選択し、「自動的に接続する」にチェックマークを付けて「接続」をクリック



- 8 パスワード（セキュリティキー）を入力し、「OK」をクリック



Macを接続する

ここでは、macOS Mojave 10.14の場合を例にして説明します。お使いのバージョンによって画面が異なる場合があります。

1 本端末の電源キーを約2秒間押し続けて電源を入れる

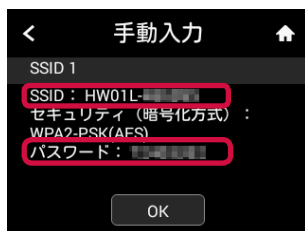
Wi-Fi機能がオンになり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

2 本端末のホーム画面で「接続ガイド」をタップ



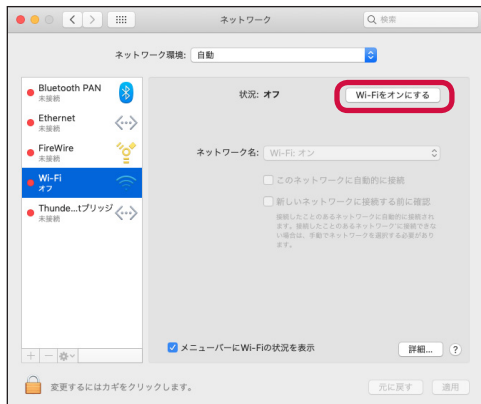
3 「次へ」→「手動入力」をタップ

本端末のSSIDとパスワード（セキュリティキー）が表示されます。



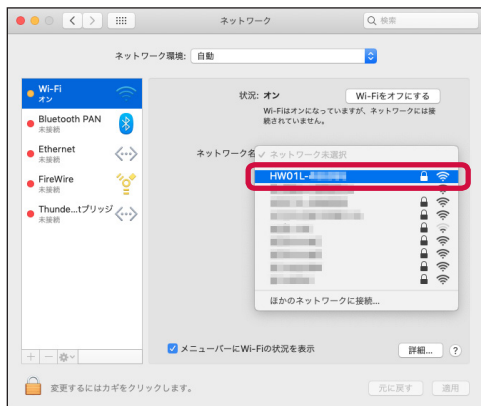
4 アップルメニューから「システム環境設定...」をクリックし、「ネットワーク」をクリック

5 「Wi-Fi」をクリックし、「Wi-Fiをオンにする」をクリックしてWi-Fi機能をオンにする

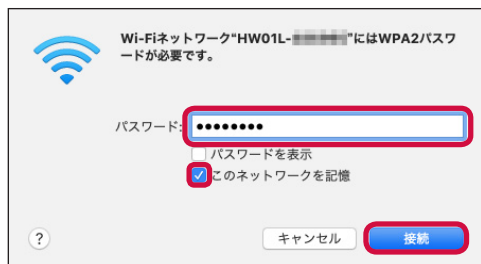


- ・「新しいネットワークに接続する前に確認」にチェックが入っていると、Wi-Fiをオンにしたとき、「使ったことのあるネットワークが見つかりません。」というメッセージが表示されることがあります。その場合は、「キャンセル」をクリックして「ネットワーク」の画面に戻ってください。

6 「ネットワーク名」のプルダウンリストから本端末のSSIDを選択する



7 パスワード（セキュリティキー）を「パスワード」欄に入力し、「このネットワークを記憶」にチェックマークを付け、「接続」をクリック



Wi-Fiネットワーク“HW01L-”にはWPA2パスワードが必要です。

パスワード:

☐ パスワードを表示

☒ このネットワークを記憶

A screenshot of a Wi-Fi connection dialog box. At the top, a blue Wi-Fi icon is next to the text "Wi-Fiネットワーク“HW01L-”にはWPA2パスワードが必要です。". Below this, the label "パスワード:" is followed by a password input field containing seven dots. The input field is highlighted with a red and blue border. Below the input field are two checkboxes: "パスワードを表示" (unchecked) and "このネットワークを記憶" (checked with a blue checkmark). At the bottom, there are two buttons: "キャンセル" (Cancel) and "接続" (Connect), with the latter also highlighted with a red and blue border.

Android™搭載端末を接続する

お使いのAndroid搭載端末、Androidのバージョンによって操作および画面が異なります。詳しくは、お使いのAndroid搭載端末の取扱説明書をご覧ください。

■ WPS機能を利用して接続する場合（自動接続）

WPS機能のプッシュボタン方式に対応しているAndroid搭載端末であれば、接続するために必要なSSIDやセキュリティ方式などを、簡単な操作で設定できます。お使いのAndroid搭載端末がWPS機能のプッシュボタン方式に対応しているかどうかは、お使いのAndroid搭載端末の取扱説明書をご覧ください。

- WPS機能を利用するには、本端末のセキュリティ方式（暗号化方式）を「WPA2-PSK(AES)」または「WPA/WPA2-PSK(AES+TKIP)」に設定する必要があります。また、SSIDブロードキャストが「有効」になっている必要があります。→P.107

1 本端末の電源キーを約2秒間押し続けて電源を入れる

Wi-Fi機能がオンになり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

2 Android搭載端末のアプリケーション一覧画面で「設定」→「無線とネットワーク」→「Wi-Fi」をタップ

3 「Wi-Fi」をオンにする

4 [その他] → [詳細なWi-Fi設定] → 「WPS接続」をタップ

5 本端末のホーム画面で「接続ガイド」→「次へ」→「WPS」をタップ



6 本端末の「WPS接続開始」をタップ



- セットアップの完了まで約2分かかることがあります。
本端末のタッチパネルに「成功しました」と表示されたら設定完了です。

お知らせ

- WPS設定を利用した機器の接続中は、他のWi-Fi対応機器の通信が切断される場合があります。
- MACアドレスフィルタリングが設定されたWi-Fi対応機器は、WPS設定に失敗する場合があります。

■ アクセスポイントを検索して接続する場合（手動接続）

お使いのAndroid搭載端末がWPS機能に対応していない場合や、WPS接続ができない場合などに手動で接続します。

- 手順で使用している画面例は、すべてAndroidスマートフォン（Android 9）のもので。

1 本端末の電源キーを約2秒間押し続けて電源を入れる

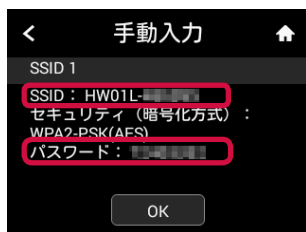
Wi-Fi機能がオンになり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

2 本端末のホーム画面で「接続ガイド」をタップ



3 「次へ」→「手動入力」をタップ

本端末のSSIDとパスワード（セキュリティキー）が表示されます。



4 Android搭載端末のアプリケーション一覧画面で「設定」→「ネットワークとインターネット」→「Wi-Fi」をタップ

5 「Wi-Fiの使用」をオンにする

6 一覧画面から本端末のSSIDが表示されている項目をタップ



7 パスワード（セキュリティキー）を正しく入力し、「接続」をタップ



画面右上にWi-Fiの電波アイコンが表示され、SSIDに「接続済み」が表示されたら設定完了です。

■ 本端末のQRコード表示機能を使って接続する場合

Android搭載端末に「HUAWEI HiLink」アプリをインストールすることで、本端末のQRコード表示機能を使って表示したQRコードをアプリでスキャンして、自動的に本端末と接続できます。

- 本端末のQRコード表示機能を使ってAndroid搭載端末を接続するには、Android搭載端末にあらかじめ「HUAWEI HiLink」アプリをインストールしておく必要があります。
- 「HUAWEI HiLink」アプリは以下のどちらの方法でもインストールできます。
 - Google Play™で「HUAWEI HiLink」アプリを検索してインストールする
 - 本端末のホーム画面で「設定」→「QRコード表示」→「アプリのダウンロード」をタップしてQRコードを表示させ、Android搭載端末のカメラで読み取る→表示されたURLをタップしてインストールする
- 手順で使用している画面例は、すべてAndroidスマートフォン（Android 9）のもので。

1 本端末の電源キーを約2秒間押し続けて電源を入れる

Wi-Fi機能がオンになり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

2 本端末のホーム画面で「接続ガイド」→「次へ」→「QRコード表示」をタップ



本端末のタッチパネルにQRコードが表示されます。

3 Android搭載端末のアプリケーション一覧画面で「HUAWEI HiLink」をタップ

- ・ 初回起動時はアプリの紹介画面が表示されます。画面を左にスライドして、「開始」をタップしてください。
- ・ 「デバイスを選択」画面が表示された場合は「3G/4G無線ルーター」→「後で」をタップしてください。

4 「ツール」→「QRコードのスキャン」をタップ



QRコードのスキャン画面が表示されます。

5 Android搭載端末のカメラで、本端末のタッチパネルに表示されているQRコードを読み取る

- ・ 確認画面などが表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

自動的にAndroid搭載端末が本端末と接続されます。

画面中央にデータ通信量が表示されたら設定完了です。

- ・ 各種設定をするためには、ログインが必要です。画面下の「ログイン」をタップして、パスワードを入力してください。お買い上げ時のパスワードは「admin」に設定されています。

以降、各種設定をご利用になるには新しいパスワードを設定する必要があります。画面の指示に従って操作してください。

お知らせ

- ・ 「HUAWEI HiLink」以外のアプリで本端末のQRコードを読み取っても、自動で接続できません。必ず「HUAWEI HiLink」アプリをお使いください。
- ・ QRコードを読み取っても自動で本端末と接続できないときは、「Android™搭載端末を接続する」の「アクセスポイントを検索して接続する場合（手動接続）」（→P.61）をご覧ください。

iPhone/iPod touch/iPadを接続する

ここでは、iPhone/iPod touch/iPad (iOS 12.0) を使用した場合を例にして説明します。

- 一度設定を完了すると、周囲に接続可能なアクセスポイントが存在するときは、設定済みのアクセスポイントへ自動的に接続されます。
- 登録済みのアクセスポイントが複数存在する場合は、最後に設定したアクセスポイントへ自動的に接続されます。
- 手順で使用している画面例は、すべてiPhoneのもです。

1 本端末の電源キーを約2秒間押し続けて電源を入れる

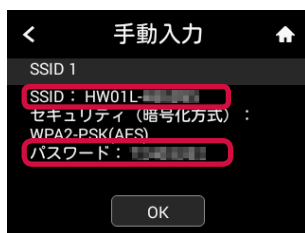
Wi-Fi機能がオンになり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

2 本端末のホーム画面で「接続ガイド」をタップ



3 「次へ」→「手動入力」をタップ

本端末のSSIDとパスワード（セキュリティキー）が表示されます。



4 iPhone/iPod touch/iPadのホーム画面から「設定」→「Wi-Fi」をタップ

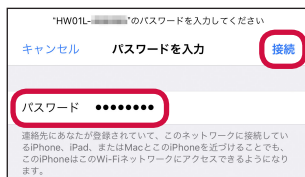
5 「Wi-Fi」をオンにする



6 一覧画面から本端末のSSIDが表示されている項目をタップ



7 パスワード（セキュリティキー）を正しく入力し、「接続」をタップ



ステータスバーにWi-Fiの電波アイコンが表示され、SSIDにチェックアイコンが表示されたら設定完了です。

Nintendo Switchを接続する

1 本端末の電源キーを約2秒間押し続けて電源を入れる

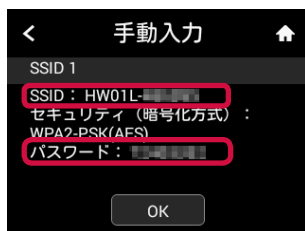
Wi-Fi機能がオンになり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

2 本端末のホーム画面で「接続ガイド」をタップ



3 「次へ」→「手動入力」をタップ

本端末のSSIDとパスワード（セキュリティキー）が表示されます。



4 Nintendo SwitchのHOMEメニューから「設定」→「インターネット」→「インターネット設定」をタップ

5 一覧画面から本端末のSSIDが表示されている項目をタップ

6 パスワード（セキュリティキー）を正しく入力し、「OK」をタップ

設定が保存されます。Nintendo Switchの画面で「接続しました。」が表示されたら設定完了です。

ニンテンドー3DSを接続する

ここでは、ニンテンドー3DS／3DS LLの場合を例にして説明します。

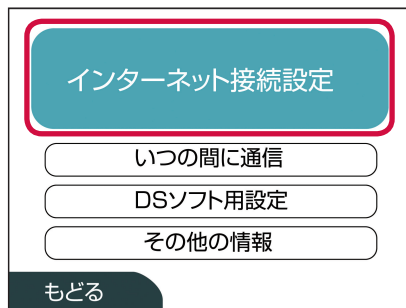
- 手順で使用している画面例は、すべてニンテンドー3DSのもです。

1 本端末の電源キーを約2秒間押し続けて電源を入れる

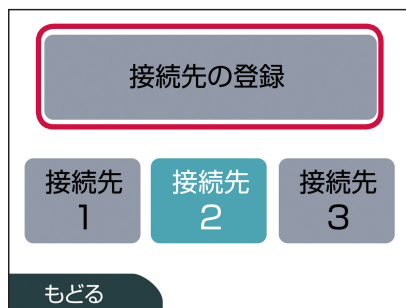
Wi-Fi機能がオンになり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

2 ニンテンドー3DSのHOMEメニューから「本体設定」→「はじめる」→「インターネット設定」をタッチ

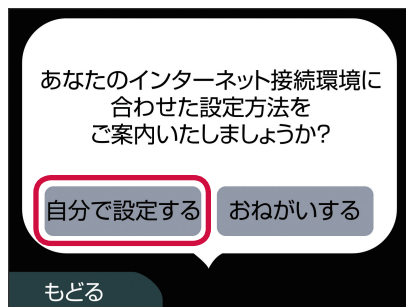
3 「インターネット接続設定」をタッチ



4 「接続先の登録」をタッチ



5 「自分で設定する」をタッチ

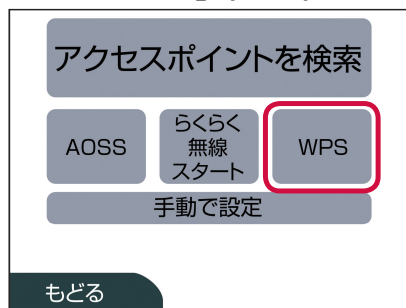


■ WPS機能を利用して接続する場合（自動接続）

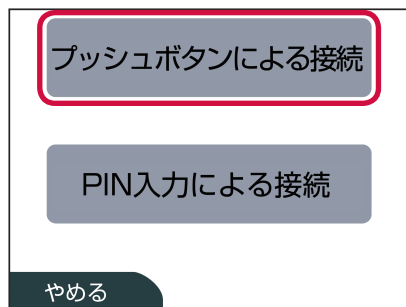
WPS機能を利用して、接続するために必要なSSIDやセキュリティ方式などを、簡単な操作で設定できます。

- WPS機能を利用するには、本端末のセキュリティ方式（暗号化方式）を「WPA2-PSK (AES)」または「WPA/WPA2-PSK (AES+TKIP)」に設定する必要があります。また、SSIDブロードキャストが「有効」になっている必要があります。→P.107

1 「Wi-Fi PROTECTED SETUP」(WPS) をタッチ



2 「プッシュボタンによる接続」をタッチ



3 本端末のホーム画面で「接続ガイド」→「次へ」→「WPS」をタップ



4 本端末の「WPS接続開始」をタップ



- ・ セットアップの完了まで約2分かかることがあります。

5 ニンテンドー3DSの画面で「OK」をタッチ

接続テストが始まります。接続が成功したメッセージが表示されたら設定完了です。

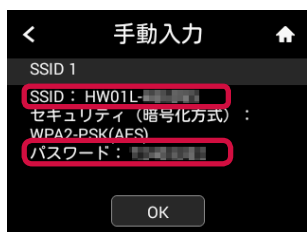
■ アクセスポイントを検索して接続する場合（手動接続）

1 本端末のホーム画面で「接続ガイド」をタップ

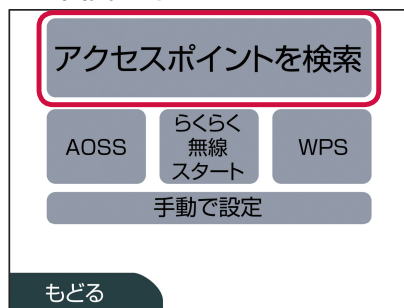


2 「次へ」→「手動入力」をタップ

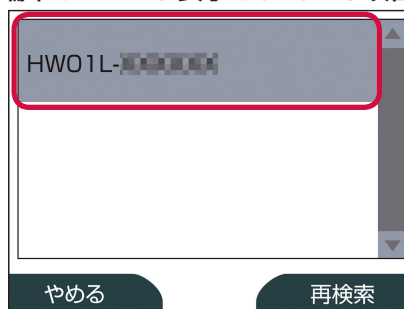
本端末のSSIDとパスワード（セキュリティキー）が表示されます。



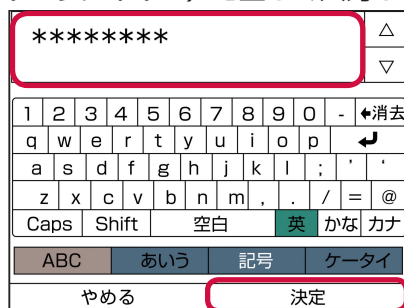
3 ニンテンドー3DSの画面で「アクセスポイントを検索」をタッチ



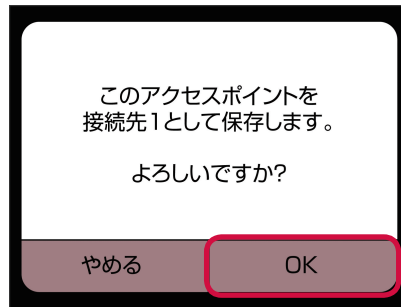
4 一覧画面から本端末のSSIDが表示されている項目をタッチ



5 パスワード（セキュリティキー）を正しく入力し、「決定」をタッチ



6 「OK」 をタッチ



7 「OK」 をタッチ

接続テストが始まります。接続が成功したメッセージが表示されたら設定完了です。

PlayStation®Vitaを接続する

- WPS機能を利用するには、本端末のセキュリティ方式（暗号化方式）を「WPA2-PSK(AES)」または「WPA/WPA2-PSK(AES+TKIP)」に設定する必要があります。また、SSIDブロードキャストが「有効」になっている必要があります。→P.107
- 手順で使用している画面例は、すべてWi-Fiモデルのものです。

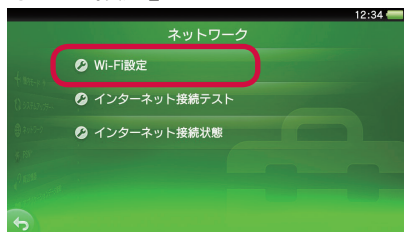
1 本端末の電源キーを約2秒間押し続けて電源を入れる

Wi-Fi機能がオンになり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

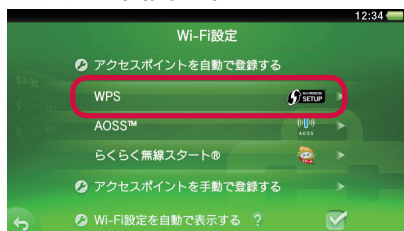
2 PS Vitaのホーム画面から「設定」→「はじめる」をタップ



3 「ネットワーク」→「Wi-Fi設定」をタップ



4 「Wi-Fi」にチェックを入れ、画面を下にスライドして「WPS」をタップ



5 本端末のホーム画面で「接続ガイド」→「次へ」→「WPS」をタップ



6 本端末の「WPS接続開始」をタップ



- セットアップの完了まで約2分かかることがあります。
本端末のタッチパネルに「成功しました」と表示されたら設定完了です。

USB接続ケーブルで接続／通信する

本端末は、付属のUSB接続ケーブル HW05で直接パソコンに接続し、データの送受信ができます。

■ パソコンに本端末を取り付ける

1 本端末の電源キーを約2秒間押し続けて電源を入れる

Wi-Fi機能がオンになり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

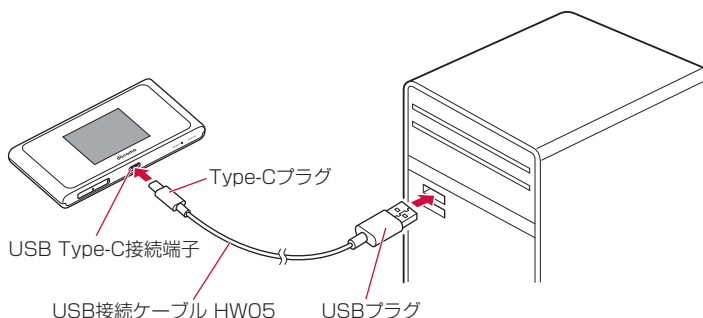
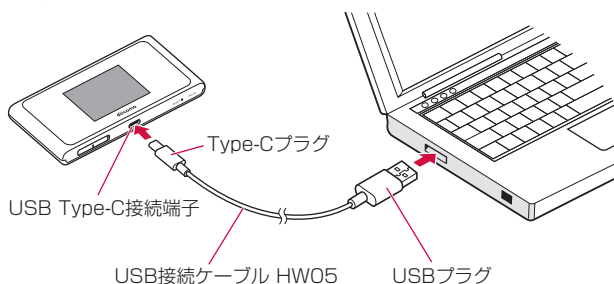
2 ドコモnanoUIMカードを取り付けた本端末のUSB Type-C接続端子に、USB接続ケーブルのType-Cプラグを水平に差し込む

・ 無理に奥まで差し込まないでください。

3 USB接続ケーブルのUSBプラグを、パソコンのUSB端子に接続する

パソコンが本端末を認識します。本端末を認識するまで時間がかかることがあります。

・ 本端末を初めてUSB接続ケーブルで接続したときは、HW-01L設定ツールのインストールを行います。→P.76、P.82



■ パソコンから本端末を取り外す

データの送受信が終了していることを確認し、本端末を取り外してください。

1 USB接続ケーブルを本端末とパソコンから水平に抜く

お知らせ

- データ通信中にUSB接続ケーブルをパソコンから取り外すと、データ通信が切断され誤動作やデータ消失の原因となります。ご注意ください。
 - 本端末をパソコンに取り付けた状態でスタンバイ（サスペンド／レジューム／スリープ）、または休止（ハイバネーション）を行うと、正常に動作しない場合があります。必ず本端末を取り外してスタンバイ、休止を行ってください。
 - 本端末を取り付けた状態で再起動したり、電源を入れたりすると、正常に動作しない場合があります。パソコンを起動する前に本端末を取り外してください。
-

Windowsパソコンを接続する

■ HW-01L設定ツールをインストールする

HW-01L設定ツールのインストールは、使用するパソコンに初めて接続するときのみ行います。画面表示や手順は、Windows 10でマウスを使用して操作した場合を例としています。タッチパネルなどで操作する場合は、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

- ・ お使いのパソコンによって操作が異なる場合があります。
- ・ インストールを行うときは、OSが起動してからパソコンのUSB端子に本端末を取り付けてください。
- ・ インストール中は、本端末を取り外さないでください。
- ・ お使いのパソコンによっては、インストールに多少時間がかかることがあります。
- ・ インストールにはハードディスクの空き容量が100MB以上必要です（システム環境によっては異なる場合があります）。
- ・ データの送受信中には、インストールおよびアンインストールを行わないでください。
- ・ インストールを始める前に、起動しているアプリケーションをすべて終了させてください。ウイルスチェックソフトを含む、常駐しているプログラムも終了させてください。
- ・ インストールを行う場合、必ずパソコン管理者権限を持つユーザーアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストールすると、エラーになります。
- ・ パソコン管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカー、マイクロソフト社にお問い合わせください。

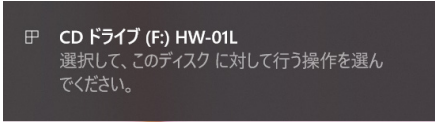
1 パソコンの電源を入れ、OSを起動する

2 本端末をパソコンに接続する

- ・ 「パソコンに本端末を取り付ける」（→P.74）をご覧ください、接続してください。

3 デスクトップ画面に以下の通知が表示された場合は、「CD ドライブ (X:) HW-01L」をクリック

- ・ CDドライブの種類 (X) はお使いのパソコンの環境によって異なります。



CD ドライブ (F:) HW-01L
選択して、このディスク に対して行う操作を選んでください。

■ 通知が表示されない場合

パソコンのキーボードの「Windows」キーを押しながら「E」キーを押してエクスプローラー画面を表示させ、「CD ドライブ (X:) HW-01L」をダブルクリックしてください。その後、「AutoRun.exe」をダブルクリックして手順5に進んでください。

4 「AutoRun.exeの実行」をクリック



5 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら「はい」をクリック

デスクトップにHW-01L設定ツールのショートカットアイコンが表示されたら、インストールは完了です。

■ 接続状況を確認する

本端末とパソコンが正しく接続されているかを確認します。

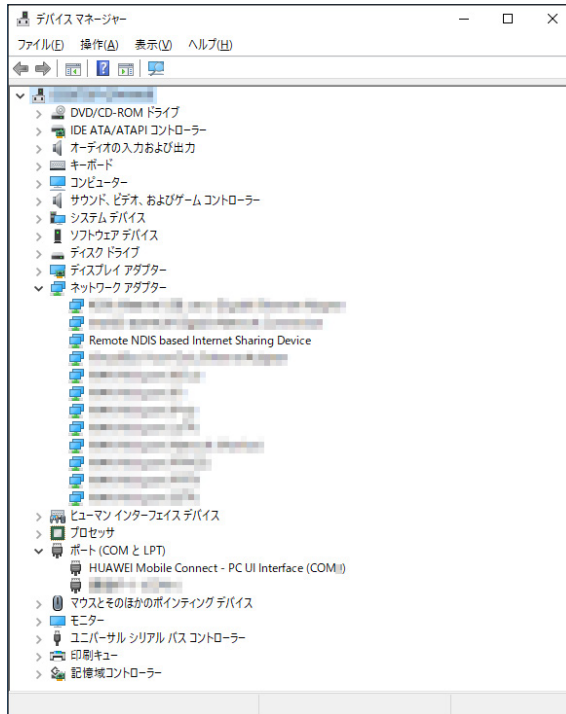
■ Windows 10をお使いの場合

1 デスクトップ画面左下の **田** マークを右クリックし、「デバイス マネージャー」をクリック

2 以下のデバイスが表示されることを確認する

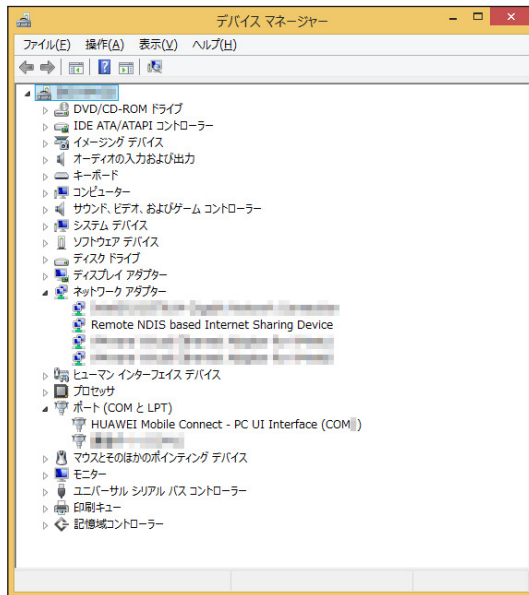
- ・ ネットワーク アダプター：Remote NDIS based Internet Sharing Device
- ・ ポート (COMとLPT)：HUAWEI Mobile Connect - PC UI Interface (COMXX※)

※ COMポートの番号 (XX) はお使いのパソコンの環境によって異なります。



■ Windows 8.1をお使いの場合

- 1 デスクトップ画面右上をマウスでポイントし、チャームで （設定）をクリック
 - 2 「コントロールパネル」をクリックして「コントロールパネル」画面を表示する
 - 3 「システムとセキュリティ」→システムの「デバイス マネージャー」をクリック
 - 4 以下のデバイスが表示されることを確認する
 - ・ ネットワーク アダプター：Remote NDIS based Internet Sharing Device
 - ・ ポート（COM と LPT）：HUAWEI Mobile Connect - PC UI Interface (COMXX*)
- ※ COMポートの番号（XX）はお使いのパソコンの環境によって異なります。



■ Windows 7をお使いの場合

1 「スタート」メニューから「コンピューター」を右クリックし、「プロパティ」をクリック

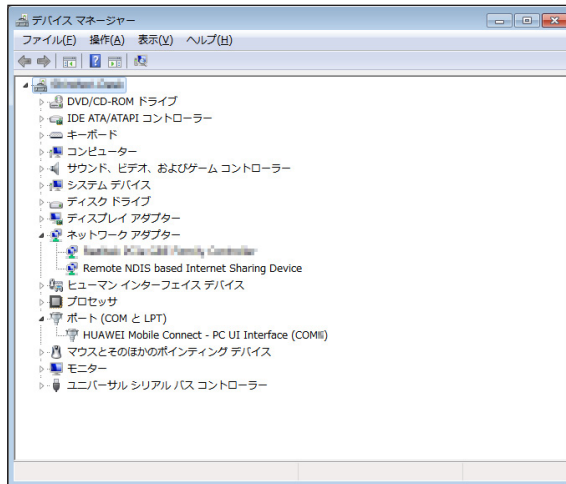
2 「デバイス マネージャー」をクリック

- ・ 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら「はい」をクリックします。

3 以下のデバイスが表示されることを確認する

- ・ ネットワーク アダプター：Remote NDIS based Internet Sharing Device
- ・ ポート (COM と LPT)：HUAWEI Mobile Connect - PC UI Interface (COMXX*)

※ COMポートの番号 (XX) はお使いのパソコンの環境によって異なります。



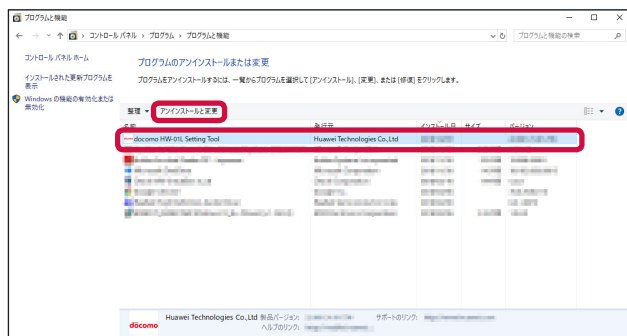
■ HW-O1L設定ツールをアンインストールする

HW-O1L設定ツールを削除する場合、本端末を取り外したあと、以下の手順で操作を行ってください。以降の画面と手順は、Windows 10でマウスを使用して操作した場合を例としています。タッチパネルなどで操作する場合は、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

- ・ アンインストール作業は、必ず管理者権限を持つユーザーアカウントで行ってください。

1 デスクトップ画面左下の **田** マークを右クリックし、「アプリと機能」→「プログラムと機能」をクリック

2 「docomo HW-O1L Setting Tool」を選択して、「アンインストールと変更」をクリック



3 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら「はい」をクリック
プログラム一覧から「docomo HW-O1L Setting Tool」が消えたら、アンインストールは完了です。

Macを接続する

■ HW-01L設定ツールをインストールする

HW-01L設定ツールのインストールは、使用するパソコンに初めて接続するときのみ行います。画面表示や手順は、macOS Mojave 10.14を例としています。→P. 40

- ・ インストールを行うときは、OSが起動してからパソコンのUSB端子に本端末を取り付けてください。
- ・ インストール中は、本端末を取り外さないでください。
- ・ お使いのパソコンによっては、インストールに多少時間がかかることがあります。
- ・ インストールにはハードディスクの空き容量が100MB以上必要です（システム環境によって異なることがあります）。
- ・ データの送受信中には、インストールおよびアンインストールを行わないでください。
- ・ インストールを始める前に、起動しているアプリケーションをすべて終了させてください。ウィルスチェックソフトを含む、常駐しているプログラムも終了させてください。
- ・ インストールを行う場合、必ずパソコン管理者権限を持つユーザーアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストールすると、エラーになります。
- ・ パソコン管理者権限の設定操作については、アップル社にお問い合わせください。

1 パソコンの電源を入れ、OSを起動する

2 本端末をパソコンに接続する

- ・ 「パソコンに本端末を取り付ける」（→P.74）をご覧ください、接続してください。HW-01Lフォルダが自動的に開きます。

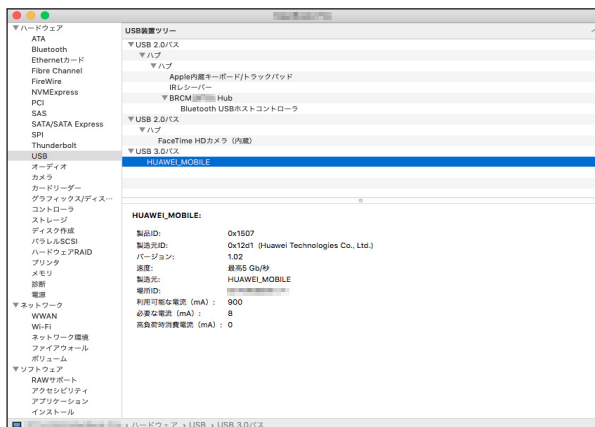
3 「docomo HW-01L Setting Tool」アイコンをダブルクリック

4 「インストールが完了しました」と表示されたら「閉じる」をクリック

■ 接続状況を確認する

本端末とパソコンが正しく接続されているかを確認します。

- 1 アップルメニューから「このMacについて」→「概要」タブをクリック
- 2 「システムレポート…」をクリック
- 3 「USB」の項目をクリックし、「HUAWEI MOBILE」が表示されていることを確認する



■ パソコンから本端末を取り外す

データの送受信が終了していることを確認し、本端末を取り外してください。

■ HW-01L設定ツールをアンインストールする

HW-01L設定ツールを削除する場合、本端末を取り外したあと、以下の手順で操作を行ってください。

- 1  をクリックして、Finderの画面を表示する
- 2 「アプリケーション」をクリック
- 3 「Uninstall docomo HW-01L Setting Tool」をダブルクリック
 - ・ 確認のメッセージが表示された場合は、「OK」をクリックしてください。
- 4 パソコン管理者権限を持つユーザー名とパスワードを入力して「OK」をクリック

クレードルを使用して接続／通信する

本端末をクレードルに接続することで、ルータまたはアクセスポイントとして使用できます。

ルータとして使用する

LANケーブルでクレードルと接続しているパソコンを、本端末のLTE回線を利用してインターネットに接続できます。

- ・クレードルは、必ず別売のACアダプタを使って、コンセントに接続してお使いください。
- ・クレードル使用時は、Wi-Fi対応機器を同時に接続できます。

1 ACアダプタのType-Cプラグを、クレードルの電源用USB Type-C接続端子に水平に差し込む

2 ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む

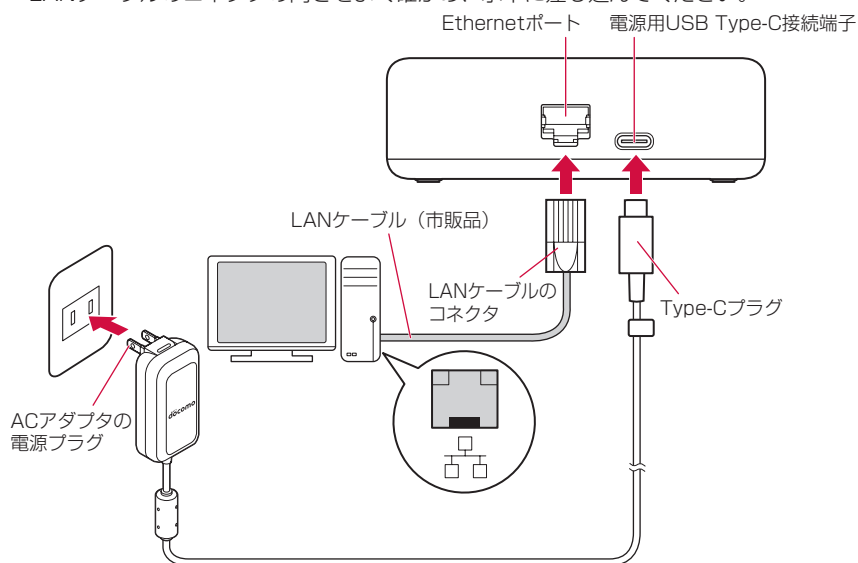
クレードルの電源ランプが点灯します。

3 LANケーブルの片方のコネクタを、クレードルのEthernetポートに差し込む

- ・LANケーブルのコネクタの向きをよく確かめ、水平に差し込んでください。

4 LANケーブルのもう一方のコネクタを、パソコンのEthernetポートに差し込む

- ・LANケーブルのコネクタの向きをよく確かめ、水平に差し込んでください。



5 本端末の電源キーを約2秒間押し続けて電源を入れる

Wi-Fi機能がオンになり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

6 本端末のホーム画面で「設定」→「クレードル設定」→「インターネット接続設定」をタップ

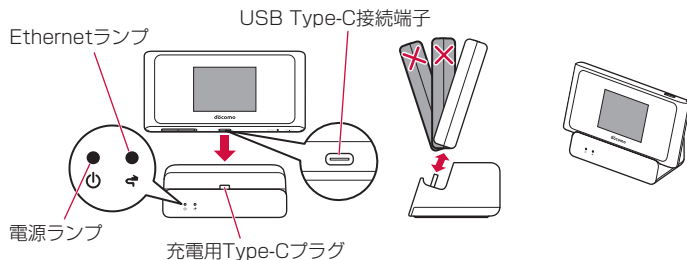


7 接続モードを選択してをタップ

- 接続モードは「自動」または「有線LANテザリング」を選択してください。「自動」を選択したときは、確認画面で「いいえ」をタップしてください。

8 本端末のUSB Type-C接続端子を下にして、クレードルの充電用Type-Cプラグに対し真っ直ぐ取り付ける

クレードルのEthernetランプが点滅／点灯します。



お知らせ

- クレードルから本端末を取り外すときも、クレードルの充電用Type-Cプラグに対し真っ直ぐ取り外してください。誤った向きで抜き差しすると、破損の原因になります。
- SSID2を「5GHz」に設定している場合は、本端末をクレードルに取り付け／取り外しするとWi-Fi接続が一時的に切断され、自動で再接続されます。

アクセスポイントとして使用する

ブロードバンドルータなどとクレードルをLANケーブルで接続した場合、固定ブロードバンド回線を利用して、本端末とWi-Fi接続している機器をインターネットに接続できます。

- ・ クレードルは、必ず別売のACアダプタを使って、コンセントに接続してお使いください。

1 ACアダプタのType-Cプラグを、クレードルの電源用USB Type-C接続端子に水平に差し込む

2 ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む

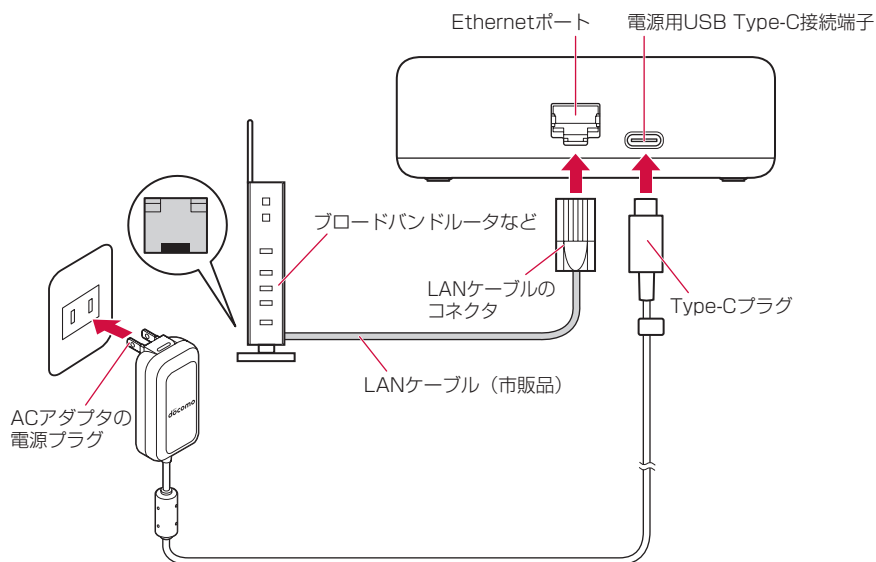
クレードルの電源ランプが点灯します。

3 LANケーブルの片方のコネクタを、クレードルのEthernetポートに差し込む

- ・ LANケーブルのコネクタの向きをよく確かめ、水平に差し込んでください。

4 LANケーブルのもう一方のコネクタを、ブロードバンドルータのEthernetポートに差し込む

- ・ LANケーブルのコネクタの向きをよく確かめ、水平に差し込んでください。



5 本端末の電源キーを約2秒間押し続けて電源を入れる

Wi-Fi機能がオンになり、が表示されます。

6 本端末のホーム画面で「設定」→「クレードル設定」→「インターネット接続設定」をタップ



7 接続モードを選択してをタップ

- ・ 接続モードは、ネットワークに合わせて以下のいずれかを選択してください。「自動」に設定すると、本端末がネットワークに合わせて「DHCP接続」、または「PPPoE接続」から最適な接続モードを判断して接続します。

- 自動^{※1※2}
- DHCP接続
- PPPoE接続^{※3}
- 手動設定（固定IPアドレス接続）^{※3}

※1 選択すると確認画面が表示されます。「いいえ」をタップしてください。

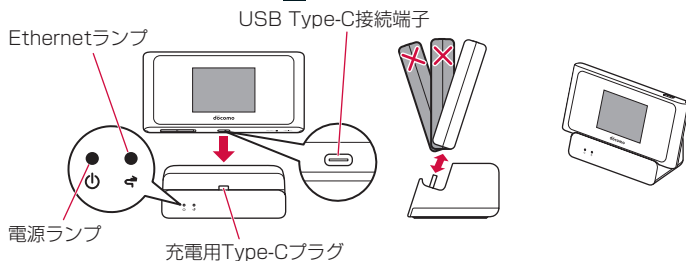
※2 ご利用のネットワーク機器により、目的の接続モードにならない場合があります。この場合は、「自動」以外の接続モードを選択してください。

※3 必要に応じて、接続するための情報を入力してください。→P.140

8 本端末のUSB Type-C接続端子を下にして、クレードルの充電用Type-Cプラグに対し真っ直ぐ取り付ける

クレードルのEthernetランプが点滅／点灯します。

インターネットへの接続に成功するとが表示されます。



お知らせ

- ・ クレードルから本端末を取り外すときも、クレードルの充電用Type-Cプラグに対し真っ直ぐ取り外してください。誤った向きで抜き差しすると、破損の原因になります。
- ・ SSID2を「5GHz」に設定している場合は、本端末をクレードルに取り付け／取り外しするとWi-Fi接続が一時的に切断され、自動で再接続されます。

各種設定（Webブラウザ）

HW-01L設定ツールについて.....	90
HW-01Lの状態を確認する	95
各種機能の詳細設定をする.....	97
ソフトウェアの更新をする.....	132

HW-01L設定ツールについて

本端末にUSB接続ケーブルまたはWi-Fiで接続したパソコンおよび携帯端末から、Webブラウザを利用して本端末の各種機能を設定できます。手順はWi-Fi接続した場合を例にしています。お使いのOSやWebブラウザによって画面が異なる場合があります。

- Wi-Fiで接続したパソコンおよび携帯端末から、HW-01L設定ツールで「Wi-Fi設定」の設定内容を変更すると、Wi-Fiの接続が切れることがあります。再接続するにはパソコンおよび携帯端末の設定変更が必要になる場合がありますのでご注意ください。
- HW-01L設定ツールを同時に複数のパソコンおよび携帯端末で表示／設定できません。
- 本端末でも一部の機能を設定できます。→P.133
- 本端末でロック画面以外を表示中はHW-01L設定ツールで設定できません。また、HW-01L設定ツールで設定中に本端末のタッチパネルを操作すると、HW-01L設定ツールでの設定が中断される場合があります。
- 本端末をマルチSSID設定（SSID1のWi-Fiモードを2.4GHz、SSID2のWi-Fiモードを2.4GHz）に設定している場合、SSID2でWi-Fi接続しているパソコンや携帯端末から、HW-01L設定ツールのページを表示することはできません。→P.107

対応するWebブラウザ

本端末は以下のWebブラウザに対応しています。

■ Windowsの場合

- Windows 7 SP1／32ビット・64ビット：Microsoft Internet Explorer 11 以上
- Windows 8.1／32ビット・64ビット：Microsoft Internet Explorer 11 以上
- Windows 10／32ビット・64ビット：Microsoft Edge、Microsoft Internet Explorer 11以上
- Mozilla Firefox[※]
- Google Chrome^{TM※}

■ Macの場合

- Safari 7以上
- Mozilla Firefox[※]
- Google Chrome^{TM※}

■ Android搭載端末の場合

- ブラウザ 4以上
- Google ChromeTM

■ iPhone／iPod touch／iPadの場合

- Safari 8以上

※ 発売開始時点での最新バージョンのみに対応しています。

HW-01L設定ツールを起動する

■ Windowsの場合

1 パソコンを起動し、本端末とWi-Fiで接続する

2 Webブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://（本端末のプライベートIPアドレス）/」または「http://hw-01l.home」と入力

- ・ 本端末のお買い上げ時のプライベートIPアドレスは、「192.168.8.1」に設定されています。
- ・ 本端末に設定されているIPアドレスは、タッチパネルに表示して確認できます。→P.152 ホーム画面が表示されます。

3 「ログイン」をクリック→パスワードを入力→「ログイン」をクリック

- ・ 大文字と小文字は正確に入力してください。
- ・ お買い上げ時のパスワードは「admin」に設定されています。
- ・ 初回起動時は、パスワードの変更画面が表示されます。変更方法については、「パスワードの変更」(→P.126)をご覧ください。パスワードを変更するとホーム画面に戻りますので、新しいパスワードでログインしてください。

■ 終了するには

HW-01L設定ツール画面で、「ログアウト」→「OK」をクリックします。

■ Macの場合

1 パソコンを起動し、本端末とWi-Fiで接続する

2 Webブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://（本端末のプライベートIPアドレス）/」または「http://hw-01l.home」と入力

- ・ 本端末のお買い上げ時のプライベートIPアドレスは、「192.168.8.1」に設定されています。
- ・ 本端末に設定されているIPアドレスは、タッチパネルに表示して確認できます。→P.152 ホーム画面が表示されます。

3 「ログイン」をクリック→パスワードを入力→「ログイン」をクリック

- ・ 大文字と小文字は正確に入力してください。
- ・ お買い上げ時のパスワードは「admin」に設定されています。
- ・ 初回起動時は、パスワードの変更画面が表示されます。変更方法については、「パスワードの変更」(→P.126)をご覧ください。パスワードを変更するとホーム画面に戻りますので、新しいパスワードでログインしてください。

■ 終了するには

HW-01L設定ツール画面で、「ログアウト」→「OK」をクリックします。

■ Android搭載端末／iPhone／iPod touch／iPadの場合

- 1 本端末とAndroid搭載端末／iPhone／iPod touch／iPadをWi-Fiで接続する
- 2 Webブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://hw-01l.home/」と入力
- 3 「ログイン」をタップ→パスワードを入力→「ログイン」をタップ
 - ・ 大文字と小文字は正確に入力してください。
 - ・ お買い上げ時のパスワードは「admin」に設定されています。
 - ・ 初回起動時は、パスワードの変更画面が表示されます。変更方法については、「パスワードの変更」(→P.126)をご覧ください。パスワードを変更するとホーム画面に戻りますので、新しいパスワードでログインしてください。

■ 終了するには

HW-01L設定ツール画面で、「ログアウト」→「OK」をタップします。

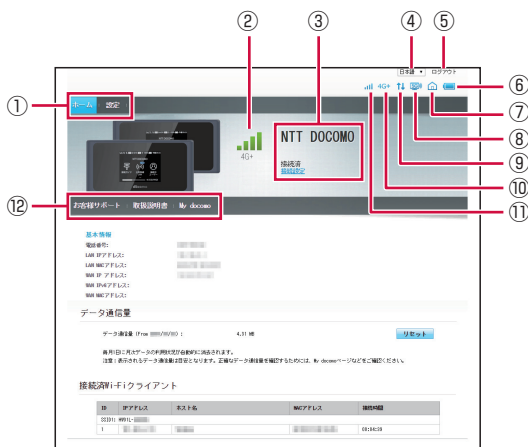
お知らせ

- ・ SIM PIN認証が有効になっている状態で、本端末でPINコードを入力する前にHW-01L設定ツールを起動すると、PINコード認証画面が表示されます。正しいPINコードを入力し「適用」をクリックしてください。
 - ・ SIM PIN認証を無効にするには「SIMカードロック設定」(→P.103)をご覧ください、設定を変更してください。
 - ・ HW-01L設定ツールのページ移動が5分間ない場合、自動的にログアウトします。入力中の項目は削除されますので、ご注意ください。
 - ・ パソコンにHW-01L設定ツールがインストールされている場合は、以下の方法でもHW-01L設定ツールを起動できます。
 - Windowsの場合
デスクトップ上にある「docomo HW-01L Setting Tool」アイコンをダブルクリック
 - Macの場合
Dockにある「docomo HW-01L Setting Tool」アイコンをクリック
-

HW-01L設定ツール画面の見かた

HW-01L設定ツールのホーム画面には、各機能の設定／情報画面やアイコンメニューが表示されます。

手順はパソコンでの操作を例としています。



ホーム画面

① メニューリスト

メニュー項目をクリックして、ページを切り替えます。

② 受信レベル表示

■インターネット接続の場合

- ・ ⇔ : 受信レベル「強」⇔「弱」

■公衆無線LAN接続の場合

- ・ : 公衆無線LANに接続中
- ・ ⇔ : 受信レベル「強」⇔「弱」

■有線インターネット接続の場合

- ・ : 有線インターネットに接続中

③ インターネット接続状態

接続中の通信事業者などの情報が表示されます。

「接続済」：インターネット接続中表示されます。

「接続設定」：クリックすると、ネットワーク設定ができます。

④ English／日本語

表示言語を切り替えることができます。

⑤ ログイン／ログアウト

クリックしてHW-01L設定ツールにログイン／ログアウトします。

⑥ 電池残量アイコン

電池残量が表示されます。

- ・ ⇔ : 電池残量「多い」⇔「少ない」
- ・ : 電池残量がほとんどありません。直ちに充電してください。
- ・ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ : 充電中

⑦ 屋内使用アイコン

Wi-Fi 5GHz帯で接続中に表示されることがあります。

このアイコンが表示されているときは、屋内でご使用ください。

⑧ Wi-Fi機能アイコン

-  : オン (Wi-Fi 2.4GHz帯を利用中)
-  : オン (Wi-Fi 5GHz帯を利用中)
-  : オフ

⑨ インターネット接続アイコン

インターネットに接続されデータ通信が可能になったことを示します。

インターネットに接続できない場合には表示されません。→P.171

-  : インターネット接続中 (送信中)
-  : インターネット接続中 (受信)
-  : インターネット接続中 (送受信)
-  : インターネット接続中で通信が行われていない場合

⑩ ネットワークアイコン

接続中のネットワークの種類 (「4G+」* / 「3G」) が表示されます。

※本端末は、LTE接続時は常に「4G+」が表示されます。

公衆無線LANに接続中は、ネットワークの種類の右側に  が表示されます。

-  ⇄  : 受信レベル「強」⇄「弱」

クレードルを使用してアクセスポイントとして接続中は、 が表示されます。

ドコモnanoUIMカードが取り付けられていない、または無効になっている場合は、UIMカードアイコン () が表示されます。

⑪ 受信アイコン

現在の受信レベルが表示されます。

-  ⇄  : 受信レベル「強」⇄「弱」

⑫ お客様サポート／取扱説明書／My docomo

ドコモのホームページにアクセスして、以下のページを閲覧できます。

- お客様サポート
- 取扱説明書ダウンロードページ
- My docomoのページ

HW-01Lの状態を確認する

インターネットへの接続状態、基本情報、データ通信量、接続済Wi-Fiクライアントの情報を確認できます。手順はパソコンでの操作を例としています。

・事前にHW-01L設定ツール画面を起動しておいてください。→P.91

1 メニューリストの「ホーム」をクリック



項 目	表示内容	説 明
データ通信量	データ通信量 (From XXXX/ XX/XX)	XXXX/XX/XXに表示されている年月日からの、データ通信量の目安を表示します。正確なデータ通信量を確認するには、My docomoページ、もしくは、ドコモインフォメーションセンターへお問い合わせください。
接続済Wi-Fiクライアント	ID	接続順に番号が表示されます。
	IPアドレス	Wi-Fi対応機器で使用されているIPアドレスを表示します。
	ホスト名	Wi-Fi対応機器に付けられている名前を表示します。名前が無い場合には空欄となります。
	MACアドレス	Wi-Fi対応機器のMACアドレスを表示します。
	接続時間	Wi-Fi対応機器が接続されてからの経過時間を表示します。

■ データ通信量の情報をリセットするには

「リセット」をクリックすると、データ通信量がリセットされます。

1 「リセット」をクリック

2 「OK」をクリック

お知らせ

- 以下のとき、データ通信量はカウントされません。
 - 海外でのご使用时
 - 公衆無線LANに接続しているとき
 - ブロードバンドルータなどとクレードルをLANケーブルで接続し、固定ブロードバンド回線を利用して、本端末とWi-Fi接続している機器をインターネットに接続している場合
 - 以下のとき、データ通信量はクリアされます。
 - ドコモnanoUIMカードを、別のドコモnanoUIMカードに差し替えたとき
 - 本端末をリセットしたとき
 - HW-01L設定ツールまたは本端末のタッチパネルから、データ通信量をリセットしたとき
 - 毎月1日の0時
-



各種機能の詳細設定をする

インターネット接続、Wi-Fi機能など各種の詳細設定をHW-01L設定ツール画面から操作できます。手順はパソコンでの操作を例としています。

- ・ 事前にHW-01L設定ツール画面を起動しておいてください。→P.91

1 メニューリストの「設定」をクリック

設定画面が表示されます。



- ・ プロバイダ設定
プロファイル（接続設定）に関する設定をします。→P.98
- ・ 公衆無線LAN
公衆無線LAN機能の設定をします。→P.100
- ・ モバイルネットワーク
PINコードの管理やネットワークに関する設定をします。→P.102
- ・ Wi-Fi設定
Wi-Fi機能に関する設定をします。→P.106
- ・ クレドール設定
クレドールの使用方法に関する設定をします。→P.113
- ・ ルータ設定
セキュリティに関する設定をします。→P.115
- ・ システム
システムに関する設定をします。本端末の再起動も可能です。→P.125
- ・ オープンソース情報
本端末に含まれるソフトウェアのライセンス情報を確認できます。→P.131

2 設定する機能名をクリック

プロバイダ設定

プロファイル（接続設定）を新規作成、編集、削除できます。

あらかじめ設定されているプロファイル（mopera U）以外に、最大99件までプロファイルを追加できます。

ここでは例として、プロファイルを新規作成する操作を説明します。

1 設定画面で「プロバイダ設定」をクリック



2 「新規プロファイル」をクリック

3 以下の項目を設定する

設定項目	説 明	設定範囲	初期値
プロファイル名	任意のプロファイル名を入力します。	最大32文字までの半角英数字と半角記号（「.」、「 」、「:」、「;」、「¥」、「\」、「&」、「%」、「+」、「 」、「<」、「>」、「?」は除く）	—
APN名	APN（アクセスポイント名）を設定します。	最大32文字までの半角英数字、「.」、「-」（ただし、「.」と「-」を連続して使用したり、先頭／末尾に使用したりすることはできません。）	—
ユーザー名	ユーザー名を設定します。	最大32文字までの半角英数字と半角記号（「.」、「 」、「:」、「;」、「¥」、「\」、「&」、「%」、「+」、「 」、「<」、「>」、「?」は除く）	—
パスワード	パスワードを設定します。	最大32文字までの半角英数字と半角記号（「.」、「 」、「:」、「;」、「¥」、「\」、「&」、「%」、「+」、「 」、「<」、「>」、「?」は除く）	—
認証方式	認証方式を設定します。	自動、PAP、CHAP	自動
IPタイプ	IPタイプを設定します。	IPv4、IPv4&IPv6	IPv4

4「保存」をクリック

- 登録したプロファイルの設定で通信が開始されます。設定したプロファイルの内容により、パケット通信（課金対象）が発生しますのでご注意ください。

■ 利用するプロファイルを変更するには

「プロファイル名」から、利用したいプロファイルを選択します。APN名、ユーザー名、パスワード、認証方式、IPタイプが表示されます。

- 現在設定されているプロファイルには、プロファイル名の後ろに「(デフォルト)」が表示されます。

■ 既存のプロファイルを編集するには

「プロファイル名」から、編集するプロファイルを選択して、「編集」をクリックし、手順3以降を行います。

■ 削除するには

「プロファイル名」から、削除するプロファイルを選択し、「削除」→「OK」をクリックします。

公衆無線LAN

公衆無線LAN機能の設定をします。

1 設定画面で「公衆無線LAN」をクリック

「公衆無線LAN」のメニューが表示されます。



2 設定する機能をクリック

機能	説明	参照先
設定	外出先で接続できるWi-Fiホットスポットや、自宅や会社の無線LANルータなどを使用して、Wi-Fiでインターネットに接続できます。	P.101
優先度	登録済みのアクセスポイントの優先度を設定します。	P.101

お知らせ

- 公衆無線LAN接続時に、本端末のIPアドレスと公衆無線LANのIPアドレスが競合した場合、本端末は自動的にIPアドレスを変更します。必要に応じてIPアドレスの再設定を行ってください。→P.111
- 本端末に設定されているIPアドレスは、タッチパネルに表示して確認できます。→P.152
- マルチSSID機能を利用しているときは、「公衆無線LAN」を利用できません。→P.107

モバイルネットワーク

PINコード管理やデータ通信量表示などの設定を変更できます。

1 設定画面で「モバイルネットワーク」をクリック

「モバイルネットワーク」のメニューが表示されます。



2 設定する機能をクリック

機能	説明	参照先
SIMカードロック設定	SIM PIN認証の有効／無効の設定、PINコードの変更ができます。	P.103
ネットワーク設定	データローミングの有効／無効の設定や、接続するネットワークの優先度と検索方法を設定します。	P.104
データ通信量表示	データ通信量の合計の目安を本端末のホーム画面に表示します。表示されるデータ通信量は目安となります。正確なデータ通信量はMy docomoからご確認ください。	P.104
目標データ通信量	目標データ通信量の目安を設定し、本端末のホーム画面に表示します。	P.104
通知設定	データ通信量の通知設定をします。	P.105

■ SIMカードロック設定

SIM PIN認証の有効／無効の設定、PINコードの変更ができます。

■ PINコードを有効／無効に設定するには

1 「SIM PIN認証」で「有効」／「無効」を選択する

2 「SIM PIN入力」に正しいPINコードを入力し、「適用」をクリック

■ PINコードを変更するには

1 「SIM PIN認証」から「変更」を選択し、以下の項目を設定する

- ・ PINコードの変更は、SIM PIN認証が「有効」に設定されているときのみ行えます。

設定項目	説 明	設定範囲	初期値
SIM PIN入力	現在設定されているPINコードを入力します。	4～8桁の数字	—
新PINコード入力	新しいPINコードを入力します。	4～8桁の数字	—
PINコードの確認	確認のため、新しいPINコードを再入力します。	4～8桁の数字	—

2 「適用」をクリック

お知らせ

- ・ SIM PIN認証を有効に設定すると、本端末の電源を入れたときに、PINコードを入力する必要があります。
- ・ SIM PIN認証が有効になっている状態で、本端末でPINコードを入力する前にHW-01L設定ツールを起動すると、PINコード認証画面が表示されます。PINコードを入力し「適用」をクリックしてください。
- ・ PINコードの入力を3回連続して間違えると、ロックされて使えなくなります。この場合は「PINロック解除コード（PUK）」でロックを解除してください。
PINコードがロックされている状態でHW-01L設定ツールを起動すると、PINロック解除コード（PUK）の認証画面が表示されます。PINロック解除コード（PUK）と新しいPINコードを入力し、「適用」をクリックしてください。→P.26

■ ネットワーク設定

データローミングの有効／無効の設定や、接続するネットワークの優先度と検索方法を設定します。

- ・ 優先ネットワークタイプを変更した場合や、ネットワークの検索中は、ネットワークから切断される（圏外になる）ことがあります。設定を変更するときには、ご注意ください。

1 以下の項目を設定する

設定項目	説 明	設定範囲	初期値
ローミング設定	データローミングの有効／無効を設定します。	有効、無効	無効
優先ネットワークタイプ	優先で接続するネットワークの種類を選択します。	4G/3G（自動）、4G、3G	4G/3G（自動）
通信事業者設定	検索方法を選択します。	自動、手動	自動

2 「適用」をクリック

- ・ 「通信事業者設定」で「手動」を選択した場合には、ネットワークリストが表示されます。利用可能なネットワークを選択し、「OK」をクリックします。

■ データ通信量表示

データ通信量の合計の目安を本端末のホーム画面に表示します。

- ・ 表示されるデータ通信量は目安となります。正確なデータ通信量はMy docomoからご確認ください。

1 「オン」／「オフ」を選択する

- ・ 初期値は「オン」です。

2 「適用」をクリック

■ 目標データ通信量

目標データ通信量の目安を設定し、本端末のホーム画面に表示します。

1 以下の項目を設定する

設定項目	説 明	設定範囲	初期値
目標データ通信量を表示	目標データ通信量を本端末のホーム画面に表示します。	オン、オフ	オフ
目標データ通信量 (GB)	本端末のホーム画面に表示する目標データ通信量の値を設定します。	1～999	0

2 「適用」をクリック

■ 通知設定

データ通信量の通知設定をします。

1 以下の項目を設定する

設定項目	説 明	設定範囲	初期値
データ通信量が設定値になったときに通知する	データ通信量が設定値になったときに通知するかどうかを設定します。	有効、無効	有効
通知するデータ通信量	通知する場合のデータ通信量を、「目標データ通信量」で設定した値に対するパーセントで設定します。	1%～100%	90%

2 「適用」をクリック

Wi-Fi設定

Wi-Fi機能に関する詳細な設定ができます。

1 設定画面で「Wi-Fi設定」をクリック

「Wi-Fi設定」のメニューが表示されます。



2 設定する機能をクリック

機 能	説 明	参照先
基本設定	Wi-Fiの基本的な機能を設定できます。	P.107
詳細設定	Wi-Fiの詳細機能を設定できます。	P.110
MACアドレスフィルタ	Wi-Fi対応機器のMACアドレスを登録してWi-Fi接続の許可／禁止を設定し、セキュリティ機能を強化できます。	P.111
DHCP	LAN内の端末にIPアドレスを割り当てる機能を設定します。	P.111

■ 基本設定

Wi-Fiの基本的な機能を設定できます。

- これらの設定を変更すると、すでに接続設定済みのWi-Fi対応機器で接続できなくなることがあります。その場合はWi-Fi対応機器の接続設定を変更してください。
- 本端末はWi-Fi対応機器を同時に16台まで（マルチSSID利用時はSSID1に8台、SSID2に8台まで）接続できます。

1 以下の項目を設定する

設定項目		説 明	設定範囲	初期値
Wi-Fi設定		本端末のWi-Fi機能を使用するかどうかを設定します。	オン、オフ ^{*1}	オン
SSID1	Wi-Fiモード	利用する周波数帯を設定します。	2.4GHz、5GHz ^{*2}	2.4GHz
	Wi-Fi帯域幅	Wi-Fiの通信帯域幅を選択します。	2.4GHz：20MHz、 20/40MHz 5GHz：20MHz、 20/40/80MHz	20MHz
	SSID	ネットワーク名（SSID）を設定します。	最大32文字までの半角英数字、「.」「-」「_」（半角スペース）	^{*3}
	セキュリティ（暗号化方式）	セキュリティを選択します。「WEP」を選択するとWEP暗号化方式として設定されます。	オープン、WEP、WPA2-PSK (AES)、WPA/WPA2-PSK (AES+TKIP)	WPA2-PSK (AES)
	パスワード	使用するパスワードを指定します。「セキュリティ（暗号化方式）」で「WPA2-PSK (AES)」または「WPA/WPA2-PSK (AES+TKIP)」を選択しているときに表示されます。	最大64文字までの半角英数字と半角記号（「.」、「-」、「_」、「¥」、「\」、「&」、「%」、「+」、「!」、「<」、「>」、「?」は除く）	^{*3}
	ネットワークキー1～4	WEPキーを指定します。「セキュリティ（暗号化方式）」で「WEP」を選択しているときに表示されます。	—	—
	現在のネットワークキー	規定値のWEPキーを設定します。「セキュリティ（暗号化方式）」で「WEP」を選択しているときに表示されます。	ネットワークキー1～4	ネットワークキー1
	APアイソレーション ^{*4}	オンにすると、同一のSSIDのWi-Fi対応機器間での通信を遮断します。	オン、オフ	オフ
	SSIDブロードキャスト	SSIDブロードキャストの設定をします。	有効、無効 ^{*5}	有効

設定項目	説 明	設定範囲	初期値
SSID2 ^{※6}	オンにすると、マルチSSID機能を利用できるようになります。設定できる項目はSSID1と同様です。	オン、オフ	オフ
パスワードの表示	チェックを入れると、パスワードおよびネットワークキーが表示されます。	オン、オフ	オフ

※1 本端末のWi-Fi機能を「オフ」にすると、USBテザリングまたはクレードル経由の通信のみ可能となります。

※2 SSID1のWi-Fiモードを「5GHz」にすると、マルチSSID機能が利用できなくなります。Wi-Fi 2.4GHz帯と5GHz帯を同時に利用するときは、SSID1を「2.4GHz」、SSID2を「5GHz」に設定し、クレードルを使用して接続／通信してください。

※3 お買い上げ時の設定については、付属の無線LAN初期設定シールをご覧ください。

※4 本端末のSSID1とSSID2の間での通信は以下の通りとなります（APアイソレーションの設定には影響されません）。

SSID1：2.4GHz ⇄ SSID2：2.4GHz……SSID間の通信は不可

SSID1：2.4GHz ⇄ SSID2：5GHz……SSID間の通信は可能

※5 SSIDブロードキャストを「無効」にして、使用しているパソコンおよび携帯端末から本端末のネットワークを切断すると、お使いの機器によってはそのままでは再接続できません。本端末のネットワークに再接続する場合は、アクセスポイントに手動設定で接続するか、USB接続ケーブルで本端末をパソコンに直接つないで、ネットワークに接続してください。

※6 マルチSSID機能の利用時は、公衆無線LAN機能の利用はできません。

また、Wi-Fi 5GHz帯はクレードル取り付け時のみW52チャンネルの利用ができます。クレードルから取り外すとSSID1（2.4GHz）のみ利用できます。

2 「適用」をクリック

設定内容が適用され、ページの再読み込みが自動的に行われます。

お知らせ

- Wi-Fiモードを「5GHz」に設定した場合は確認メッセージが表示されますので、メッセージを確認して「OK」をクリックしてください。
「OK」をクリックすると本端末のタッチパネルにDFSチェック実行中のメッセージが表示され、メッセージ下部に以下のボタンが表示されます。
 - 「続ける」：メッセージを閉じてそのままDFSチェックを続行します。
 - 「2.4GHzに変更する」：DFSチェックを中止してWi-Fi 2.4GHz帯で接続します。必要に応じてどちらかのボタンをタップしてください。「続ける」をタップするか、ボタンをタップせずに約1分間*経過するとDFSチェックが終了し、Wi-Fi 5GHz帯が利用可能になります。
 - ※ DFSチェックの結果によっては、さらに時間がかかることがあります。
 - ご使用のWi-Fi対応機器がWi-Fi 5GHz帯に対応しているかご確認ください。ご使用のWi-Fi対応機器に5GHz帯に対応していないものがある場合は、本端末の設定を2.4GHz帯にしてご使用ください。またはSSID1を「2.4GHz」、SSID2を「5GHz」に設定し、クレードルを使用して接続／通信していただくことも可能です。
 - ドコモnanoUIMカードが未挿入、または国際ローミング中の場合は、Wi-Fi 5GHz帯は選択できません。
-

■ 詳細設定

Wi-Fiの詳細な設定ができます。

- これらの設定を変更すると、すでに接続設定済みのWi-Fi対応機器で接続できなくなることがあります。その場合はWi-Fi対応機器の接続設定を変更してください。

1 以下の項目を設定する

設定項目	説 明	設定範囲	初期値
チャンネル	利用チャンネルを選択します。	2.4GHz：自動、1～13* 5GHz：自動	自動
ネットワークスリープ	Wi-Fi対応機器が接続されていない状態で一定時間操作がなかった場合、Wi-Fi機能を自動的にオフにするかどうかを設定します。	有効、無効	有効
スリープまでの時間（分）	ネットワークスリープが「有効」の場合に、Wi-Fi機能を自動的にオフにするまでの時間を設定します。	10、20、30	10
Wi-Fi暗号化強化（PMF）	無線LAN管理フレームの一部を保護する機能（PMF）を有効にします。本機能の使用を要求してきた子機に対してのみ、保護機能が発動します。	オン、オフ	オン

※ 国際ローミング中は1～11となります。

2 「適用」をクリック

お知らせ

- ネットワークスリープを「有効」に設定しているときは以下の動作になります。
 - ACアダプタで充電中／パソコンなどに接続して充電中はWi-Fi機能はオフになりません。
 - Wi-Fi機能がオフになると、モバイルネットワークと公衆無線LANの接続もオフになります。
 - Wi-Fi機能がオフになったときは、電源キーを押したり、ACアダプタやパソコンなどに接続して充電を開始したりすると、Wi-Fi機能がオンになります。その後、必要に応じてWi-Fi対応機器側で再接続の操作をしてください。
 - 以下の場合は確認メッセージが表示されますので、メッセージを確認してください。
 - Wi-Fi 5GHz帯を利用中に、ネットワークスリープを「有効」または「無効」に変更したとき。
 - Wi-Fi 5GHz帯を利用中に、ネットワークスリープの時間設定を変更したとき。
- 設定を変更すると本端末のタッチパネルにDFSチェック実行中のメッセージが表示され、メッセージ下部に以下のボタンが表示されます。
- 「続ける」：メッセージを閉じてそのままDFSチェックを続行します。
 - 「2.4GHzに変更する」：DFSチェックを中止してWi-Fi 2.4GHz帯で接続します。
- 必要に応じてどちらかのボタンをタップしてください。「続ける」をタップするか、ボタンをタップせずに約1分間*経過するとDFSチェックが終了し、Wi-Fi 5GHz帯が利用可能になります。
- ※ DFSチェックの結果によっては、さらに時間がかかることがあります。

■ MACアドレスフィルタ

Wi-Fi対応機器のMACアドレスを登録してWi-Fi接続の許可／禁止を設定することで、セキュリティ機能を強化できます。

- これらの設定を変更すると、すでに接続設定済みのWi-Fi対応機器で接続できなくなることがあります。その場合はWi-Fi対応機器の接続設定を変更してください。

1 以下の項目を設定する

設定項目	説 明	設定範囲	初期値
MACアドレスフィルタ	MACアドレスフィルタ機能の動作モードを選択します。	無効、許可、拒否	無効
MACアドレス	接続を許可、または禁止するWi-Fi対応機器のMACアドレスを16個まで設定できます。	00～FFの6組の番号	(なし)

2 「適用」をクリック

確認画面が表示されます。

3 「OK」をクリック

■ DHCP

LAN内の端末にIPアドレスを割り当てる機能を設定します。

- 「IPアドレス」と「開始IPアドレス」、「終了IPアドレス」には、同じサブネットワーク内のIPアドレスを指定してください。
- 「終了IPアドレス」は「開始IPアドレス」と同じIPアドレスとするか、または大きいIPアドレスを指定してください。
- これらの設定を変更すると、HW-01L設定ツールが動作しなくなったり表示されなくなったりすることがあります。その場合には、正しいIPアドレスを指定してHW-01L設定ツールを起動し直してください。
- 「IPアドレス」または「サブネットマスク」を変更すると、「LAN IPフィルタ」「ポートマッピング」「DMZ設定」の設定変更が必要になる場合があります。
- システム側で予約されているため、「IPアドレス」「開始IPアドレス」「終了IPアドレス」に以下のIPアドレスは設定できません。
 - 「10.XXX.XXX.XXX」で始まるIPアドレス（「サブネットマスク」が「255.0.0.0」の場合）
 - 「172.31.XXX.XXX」で始まるIPアドレス

1 以下の項目を設定する

設定項目	説 明	設定範囲	初期値
IPアドレス	本端末のプライベートIPアドレスを設定します。	クラスA：1.0.0.1～126.255.255.255 クラスB：128.0.0.1～191.255.255.255 クラスC：192.0.0.1～223.255.255.255	192.168.8.1
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。	0.0.0.0～255.255.255.255	255.255.255.0
DHCPサーバ	DHCP機能を利用するかどうかを設定します。	有効、無効	有効
開始IPアドレス	Wi-Fi対応機器に割り当てる最小のIPアドレスを設定します。	クラスA：1.0.0.1～126.255.255.255 クラスB：128.0.0.1～191.255.255.255 クラスC：192.0.0.1～223.255.255.255	192.168.8.100
終了IPアドレス	Wi-Fi対応機器に割り当てる最大のIPアドレスを設定します。	クラスA：1.0.0.1～126.255.255.255 クラスB：128.0.0.1～191.255.255.255 クラスC：192.0.0.1～223.255.255.255	192.168.8.200
DHCPリース時間 (秒)	IPアドレスのリースタイムを設定します。	86400～604800	86400

2 「適用」をクリック

クレードル設定

クレードルを使用したときのネットワークへの接続に関する設定ができます。

1 設定画面で「クレードル設定」をクリック

「クレードル設定」のメニューが表示されます。



2 設定する機能をクリック

機 能	説 明	参照先
インターネット接続設定	クレードルを使用したときのネットワークへの接続に関する設定をします。	P.113
接続状態	クレードルを使用した接続の状態を表示します。	P.114

インターネット接続設定

クレードルを使用したときのネットワークへの接続に関する設定をします。

1 以下の項目を設定する

設定項目	説 明	設定範囲	初期値
接続モード	ネットワークへの接続モードを設定します。	自動、PPPoE接続、DHCP接続、手動設定（固定IPアドレス接続）、有線LANテザリング	自動
ユーザー名*	ユーザー名を設定します。「接続モード」で「自動」または「PPPoE接続」を選択しているときに表示されます。	最大32文字までの半角英数字と半角記号（「,」、「.」、「/」、「_」、「\$」、「%」、「+」、「<」、「>」、「?」は除く）	（なし）

設定項目	説 明	設定範囲	初期値
パスワード*	パスワードを設定します。「接続モード」で「自動」または「PPPoE接続」を選択しているときに表示されます。	最大32文字までの半角英数字と半角記号（「,」、「.」、「:」、「;」、「¥」、「\」、「&」、「%」、「+」、「-」、「<」、「>」、「?」は除く）	(なし)
IPアドレス	固定IPアドレスを設定します。「接続モード」で「手動設定（固定IPアドレス接続）」を選択しているときに表示されます。	0～255の4組の番号	(なし)
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。「接続モード」で「手動設定（固定IPアドレス接続）」を選択しているときに表示されます。	0～255の4組の番号	(なし)
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを設定します。「接続モード」で「手動設定（固定IPアドレス接続）」を選択しているときに表示されます。	0～255の4組の番号	(なし)
プライマリDNSサーバ	プライマリDNSサーバを設定します。「接続モード」で「手動設定（固定IPアドレス接続）」を選択しているときに表示されます。	0～255の4組の番号	(なし)
セカンダリDNSサーバ	セカンダリDNSサーバを設定します（任意）。「接続モード」で「手動設定（固定IPアドレス接続）」を選択しているときに表示されます。	0～255の4組の番号	(なし)

※「ユーザー名」と「パスワード」には、接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されたユーザー名とパスワードを入力します。

2 「適用」をクリック

■ 接続状態

クレードルを使用した接続の状態を表示します。

- ・「接続ステータス」欄には、有線インターネット（固定ブロードバンド回線）との接続状態が表示されます。
 - クレードルを使用してルーターとして接続している場合（→P.84）は、「切断」と表示されます。本端末のLTE回線または公衆無線LANを利用して通信します。
 - クレードルを使用してアクセスポイントとして接続している場合（→P.86）は、「接続済」と表示されます。接続した固定ブロードバンド回線を利用して通信します。

ルータ設定

セキュリティに関する機能の設定ができます。

1 設定画面で「ルータ設定」をクリック

「ルータ設定」のメニューが表示されます。



2 設定する機能をクリック

機 能	説 明	参照先
ファイアウォール スイッチ	ファイアウォール機能などを設定し、インターネットからの不正な侵入を防ぐことができます。	P.116
LAN IPフィルタ	フィルタを行うIPアドレスのリストを設定します。	P.116
ポートマッピング	インターネットからLAN内の特定の端末にアクセスできるよう設定します。	P.119
特殊な アプリケーション	オンラインゲームやテレビ会議など、特殊なアプリケーションを利用できるように設定します。	P.121
DMZ設定	LAN内の特定の端末を、他の端末から隔離されたDMZホストとして設定できます。	P.123
SIP ALG設定	SIPアプリケーションを利用したインターネット電話などのサービスを利用するときに設定します。	P.123
UPnP設定	UPnP対応のアプリケーションや周辺機器などを使用するときに設定します。	P.124
NAT設定	LAN内で利用しているプライベートIPアドレスをグローバルIPアドレスに変換して、インターネット接続できます。	P.124

■ ファイアウォール スイッチ

ファイアウォール機能の有効／無効などを設定します。

ファイアウォールを有効にすると、インターネットとLANの間を出入りする通信を監視し、インターネットからの不正な侵入を防ぐことができます。

- ・ファイアウォールを有効に設定すると、外部からのLAN側に対するアクセスが遮断されるため、安全性が向上します。
- ・ファイアウォールを有効にすることで、一部のアプリケーションが使えなくなったり、機能が制限されたりする場合がありますが、以降の各機能を適切に設定することにより、これらの制限を回避できます。

1 以下の項目を設定する

設定項目	説 明	設定範囲	初期値
ファイアウォールを有効にする	ファイアウォール機能を利用するかどうかを設定します。	オン、オフ	オン
IPアドレス フィルタを有効にする	IPアドレスフィルタ機能を利用するかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ
WANポートpingを無効にする	WAN側からのpingに対応するかどうかを設定します。	オン、オフ	オン

2 「適用」をクリック

■ LAN IPフィルタ

インターネットとの通信について、設定したルールに従い、LAN側（送信側）とWAN側（送信先）の各アドレスからファイアウォールを通過させるかどうかを判断します。最大16件まで登録できます。

- ・この機能を利用するには、「ファイアウォール スイッチ」の「IPアドレス フィルタを有効にする」をオンに設定しておく必要があります。→P.116

■ ルールを登録する場合

1 「追加」をクリック

2 以下の項目を設定する

設定項目	説 明	設定範囲	初期値
LAN IP アドレス	ルールを適用するLAN側（送信側）端末のIPアドレスを設定します。	<IPv4の場合> クラスA：1.0.0.0～126.255.255.255 クラスB：128.0.0.0～191.255.255.255 クラスC：192.0.0.0～223.255.255.255 およびワイルドカードとして[*] [※] <IPv6の場合> 0000～FFFFの8組の番号+「/」+プレフィックス値（3～128）	（なし）
LAN ポート	ルールを適用するLAN側（送信側）ポート番号、またはポート番号の範囲を設定します。	1～65535 範囲指定する場合は[-]で連結	（なし）
WAN IP アドレス	ルールを適用するWAN側（送信先）端末のIPアドレスを設定します。	<IPv4の場合> クラスA：1.0.0.0～126.255.255.255 クラスB：128.0.0.0～191.255.255.255 クラスC：192.0.0.0～223.255.255.255 およびワイルドカードとして[*] [※] <IPv6の場合> 0000～FFFFの8組の番号+「/」+プレフィックス値（3～128）	（なし）
WANポート	ルールを適用するWAN側（送信先）ポート番号、またはポート番号の範囲を設定します。	1～65535 範囲指定する場合は[-]で連結	（なし）
プロトコル	ルールを適用するプロトコルを選択します。	TCP/UDP、TCP、UDP、ICMP	TCP/UDP
IPタイプ	フィルタリングを設定するIPのタイプを選択します。	IPv4、IPv6	IPv4
ステータス	ルールを適用するかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ

※「*」を任意の文字列として以下のように使うことができます。

- 1：****
- 2：10.***
- 3：10.10.**
- 4：10.10.10.*

LAN IPアドレスの場合は、同じサブネット内のIPアドレス範囲内でワイルドカードが適用されます。

<例>

本端末をお買い上げ時の状態でお使いの場合、LAN IPアドレスは「192.168.8.*」となります。DHCPのIPアドレスを「192.168.8.1」、サブネットマスクを「255.255.0.0」に設定した場合は、LAN IPアドレスは「192.168.*.*」となります。

3 「オプション」欄にある「OK」をクリック

- ・ 続けて別のルールを登録する場合は、手順1～3を繰り返します。
- ・ 「キャンセル」をクリックすると、入力した内容が削除されます。

4 「適用」をクリック

確認画面が表示されます。

5 「OK」をクリック

設定が完了し、登録されます。

■ 登録したルールを変更する場合

1 設定一覧から、設定を変更したいルールの「オプション」欄にある「編集」をクリック

設定内容が設定画面に読み込まれます。

2 設定を変更し、「オプション」欄にある「OK」をクリック

- ・ 必要に応じて手順1～2を繰り返し、複数のルールを変更できます。

3 「適用」をクリック

確認画面が表示されます。

4 「OK」をクリック

設定が完了し、登録されます。

■ 登録したルールを削除する場合

1 設定一覧から、削除したいルールの「オプション」欄にある「削除」をクリック

確認画面が表示されます。

2 「OK」をクリック

ルールが削除されます。

- ・ 必要に応じて手順1～2を繰り返し、複数のルールを削除できます。

3 「適用」をクリック

確認画面が表示されます。

4 「OK」をクリック

設定が完了し、登録されます。

■ ポートマッピング

インターネットからLAN内にある特定の端末にアクセスできるようにします。サーバやFTPを公開する場合や、一部のオンラインゲームやメッセージングソフトなどを利用する場合に設定します。最大16件まで登録できます。

- この機能ではLAN側端末をIPアドレスで指定するため、公開するサーバには、DHCPにて割り当てられない、同一サブネット内の静的なIPアドレスを、手動で設定する必要があります。
→P.111
- セキュリティ対策などでポート番号の変換を行いたいときのみ、異なる番号を設定してください。サーバ公開やオンラインゲームを利用する場合、通常はポート番号を変換する必要はありません。

■ ルールを登録する場合

1 「追加」をクリック

2 以下の項目を設定する

設定項目	説 明	設定範囲	初期値
名前	ルールに任意の名前を付けます。	最大30文字までの半角英数字と半角記号（「,」、「.」、「:」、「;」、「¥」、「\」、「&」、「%」、「+」、「「」、「>」、「?」は除く）	(なし)
WANポート	ルールを適用するWAN側（送信元）ポート番号を設定します。	1～65535	(なし)
LAN IPアドレス	サーバとして公開するLAN側端末のIPアドレスを設定します。	クラスA：1.0.0.1～126.255.255.255 クラスB：128.0.0.1～191.255.255.255 クラスC：192.0.0.1～223.255.255.255	(なし)
LANポート	サーバとして公開するLAN側の特定の端末に、パケットを転送するときの送信先ポート番号を設定します。ポート番号を変換する必要がない場合は、「WANポート」と同じ値を設定します。	1～65535	(なし)
プロトコル	ルールを適用するプロトコルを選択します。	TCP/UDP、TCP、UDP	TCP/UDP
ステータス	ルールを適用するかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ

3 「オプション」欄にある「OK」をクリック

- 続けて別のルールを登録する場合は、手順1～3を繰り返します。
- 「キャンセル」をクリックすると、入力した内容が削除されます。

4 「適用」をクリック

確認画面が表示されます。

5 「OK」をクリック

設定が完了し、登録されます。

■ 登録したルールを変更する場合

1 設定一覧から、設定を変更したいルールの「オプション」欄にある「編集」をクリック

設定内容が設定画面に読み込まれます。

2 設定を変更し、「オプション」欄にある「OK」をクリック

・ 必要に応じて手順1～2を繰り返し、複数のルールを変更できます。

3 「適用」をクリック

確認画面が表示されます。

4 「OK」をクリック

設定が完了し、登録されます。

■ 登録したルールを削除する場合

1 設定一覧から、削除したいルールの「オプション」欄にある「削除」をクリック

確認画面が表示されます。

2 「OK」をクリック

ルールが削除されます。

・ 必要に応じて手順1～2を繰り返し、複数のルールを削除できます。

3 「適用」をクリック

確認画面が表示されます。

4 「OK」をクリック

設定が完了し、登録されます。

■ 特殊なアプリケーション

オンラインゲームやテレビ電話システムなど、特殊なアプリケーションを利用できるようにします。最大16件まで登録できます。

- ・アプリケーションが利用するポート番号とプロトコルについては、お使いのアプリケーションの取扱説明書などをご覧ください。

■ ルールを登録する場合

1 「追加」をクリック

2 以下の項目を設定する

設定項目	説 明	設定範囲	初期値
名前	ルールに任意の名前を付けます。	最大30文字までの半角英数字と半角記号（「,」、「*」、「:」、「,」、「¥」、「\」、「&」、「%」、「+」、「,」、「<」、「>」、「?」は除く）	(なし)
ステータス	ルールを適用するかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ
起動ポート	制御データ用のポート番号を設定します。	1～65535	(なし)
起動プロトコル	制御データに利用するプロトコルを設定します。	TCP/UDP、TCP、UDP	TCP/UDP
オープン プロトコル	データ転送用のプロトコルを選択します。	TCP/UDP、TCP、UDP	TCP/UDP
オープン ポート	データ転送用のポート番号、またはポート番号の範囲を設定できます。	1～65535 範囲指定する場合は「-」で連結*	(なし)

※ 範囲指定する場合、開始ポート番号と終了ポート番号の差は200以下にしてください。

3 「オプション」 欄にある「OK」をクリック

- ・ 続けて別のルールを登録する場合は、手順1～3を繰り返します。
- ・ 「キャンセル」をクリックすると、入力した内容が削除されます。

4 「適用」をクリック

確認画面が表示されます。

5 「OK」をクリック

設定が完了し、登録されます。

■ 登録したルールを変更する場合

1 設定一覧から、設定を変更したいルールの「オプション」欄にある「編集」をクリック

設定内容が設定画面に読み込まれます。

2 設定を変更し「オプション」欄にある「OK」をクリック

・ 必要に応じて手順1～2を繰り返し、複数のルールを変更できます。

3 「適用」をクリック

確認画面が表示されます。

4 「OK」をクリック

設定が完了し、登録されます。

■ 登録したルールを削除する場合

1 設定一覧から、削除したいルールの「オプション」欄にある「削除」をクリック

確認画面が表示されます。

2 「OK」をクリック

ルールが削除されます。

・ 必要に応じて手順1～2を繰り返し、複数のルールを削除できます。

3 「適用」をクリック

確認画面が表示されます。

4 「OK」をクリック

設定が完了し、登録されます。

■ DMZ設定

LAN内にある特定の端末を、他の端末から隔離されたDMZホストとして設定できます。ポート番号の設定をしなくても、Webサーバを公開したり、オンラインゲームなどを利用したりできるようになります。

- DMZホストに設定した端末は、外部に対してすべてのポートをオープンしていることになるため、端末のパーソナルファイアウォール機能などを設定して、安全性を確保することをおすすめします。
- LAN側端末をIPアドレスで指定するため、DMZホストになる端末にはDHCPで割り当てられていない、同一サブネット内の静的なIPアドレスを、手動で設定する必要があります。
→P.111

1 以下の項目を設定する

設定項目	説 明	設定範囲	初期値
DMZステータス	DMZ機能を設定するかどうかを設定します。	有効、無効	無効
DMZ IPアドレス	DMZホストのIPアドレスを設定します。	クラスA：1.0.0.1～126.255.255.255 クラスB：128.0.0.1～191.255.255.255 クラスC：192.0.0.1～223.255.255.255	192.168.8.100

2 「適用」 をクリック

■ SIP ALG設定

SIPアプリケーションを利用してインターネット電話などのサービスを利用するときに設定します。

1 以下の項目を設定する

設定項目	説 明	設定範囲	初期値
SIP ALGを有効にする	SIP ALG機能を有効にするかどうかを設定します。	有効、無効	有効
SIPポート	SIPサービスプロバイダから指定されたポート番号を入力します。	1～65535	5060

2 「適用」 をクリック

■ UPnP設定

UPnP対応の周辺機器、AV機器、電化製品、またはメッセージソフトなどのUPnP対応アプリケーションを利用するときに設定します。

1 UPnP機能の有効／無効を選択する

設定項目	説 明	設定範囲	初期値
UPnPステータス	UPnP機能を利用するかどうかを設定します。	有効、無効	無効

2 「適用」をクリック

■ NAT設定

Symmetric NAT、Cone NATを利用できます。ゲーム機器などでグローバルなIPアドレスを共有して利用するときに設定します。

1 「Cone」／「Symmetric」を選択する

- ・ 初期値は「Symmetric」です。

2 「適用」をクリック

システム

HW-01L設定ツール全体の設定や操作を行います。

1 設定画面で「システム」をクリック

「システム」のメニューが表示されます。



2 設定する機能をクリック

機 能	説 明	参照先
デバイス情報	本端末に関する情報を表示します。	P.126
バックアップとリストア	HW-01L設定ツールの設定内容をパソコンに保存したり、保存した設定内容を読み込んだりできます。	P.126
パスワードの変更	HW-01L設定ツールのログイン時に入力するパスワードを変更できます。	P.126
リセット	設定内容をお買い上げ時の状態に戻すことができます。	P.127
USBテザリング	USBテザリング機能を利用するかどうかを設定します。	P.127
クイック起動	本端末の起動時間を短縮できます。	P.128
ソフトウェア更新	一定間隔で新しいバージョンのソフトがないか確認するかどうかを設定します。	P.128
スリープモード遠隔解除	本端末のネットワークスリープ状態を、「HUAWEI HiLink」アプリを利用して解除できるようにするか、またはAndroid搭載端末のBluetooth機能を利用して解除できるようにするかを設定します。	P.129
自動再起動	間隔（日）経過後の設定時刻に本端末を自動的に再起動します。	P.130
再起動	本端末を再起動できます。	P.130

■ デバイス情報

本端末に関する情報を表示します。

■ バックアップとリストア

HW-01L設定ツールの設定情報をパソコンに保存したり、保存した設定情報を読み込んだりできます。

- ・ ブラウザの設定によっては、保存先フォルダとファイル名を指定できない場合があります。

■ バックアップする場合

1 「バックアップ」をクリック

2 画面の指示に従ってファイルを保存する

- ・ 「hw01l」を含むファイル名で保存してください。

■ 復元する場合

1 「ファイルを選択」をクリックし、読み込むファイルを指定する

- ・ 「ファイルを選択」のボタン名はOSの言語に依存して表示されます。

2 「リストア」をクリック

3 「OK」をクリック

設定内容が読み込まれ、本端末が自動的に再起動します。

- ・ 設定を続ける場合は、本端末の起動後もう一度ログインしてください。

■ パスワードの変更

HW-01L設定ツールのログイン時に入力するパスワードを変更できます。

- ・ お買い上げ時のパスワードは「admin」に設定されています。

1 「現在のパスワード」、「新しいパスワード」、「パスワードの確認」を入力

- ・ パスワードは最大15文字までの半角英数字と半角記号（「,」、「!」、「:」、「;」、「¥」、「\」、「&」、「%」、「+」、「<」、「>」、「?」は除く）で設定します。6文字以上で、数字／英字／記号のうち2種類以上の文字を組み合わせで設定してください。
- ・ 「パスワードの確認」には確認のために、新しいパスワードを再入力してください。

2 「適用」をクリック

パスワードが変更され、ホーム画面に戻ります。

- ・ 設定を続ける場合は、新しいパスワードでログインしてください。

■ リセット

設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

- ・ 本端末をお買い上げ時の設定に戻すと、ご購入後に設定した内容はすべて削除されるので十分にご注意ください。また万が一のトラブルに備えるため、設定した内容を保存しておくこともできます。「バックアップとリストア」(→P.126)をご覧ください。
- ・ お買い上げ時の設定に戻しても、ドコモnanoUIMカードに登録されたPINコードなどの登録内容はお買い上げ時の状態には戻りません。

1 「リセット」をクリック

確認画面が表示されます。

2 「OK」をクリック

設定内容が読み込まれ、本端末が自動的に再起動します。

- ・ 設定を続ける場合は、本端末の起動後もう一度ログインしてください。

お知らせ

- ・ RESETボタンを5秒以上押し続けても、お買い上げ時の設定に戻ります。→P.20「リセット」の実行時と同様に、設定内容が読み込まれ、本端末が自動的に再起動します。

■ USBテザリング

USBテザリング機能を利用するかどうかを設定します。USBテザリング機能を利用すると、パソコンと本端末をUSB接続ケーブルで接続して、データの送受信ができます。

- ・ 初期値は「オン」です。
- ・ USB接続ケーブルで接続したパソコンからUSBテザリング機能をオフにすると、そのままではHW-01L設定ツールを利用できなくなります。その場合は、本体メニューでUSBテザリング機能をオンにして(→P.141)からHW-01L設定ツールを起動するか、または本端末とパソコンをWi-Fiで接続して、HW-01L設定ツールを起動してください。

1 「オン」／「オフ」を選択する

2 「適用」をクリック

■ クイック起動

本端末の起動時間を短縮するかどうかを設定します。

1 「オン」／「オフ」を選択する

- ・ 初期値は「オン」です。

2 「適用」をクリック

お知らせ

- ・ 以下の場合は、クイック起動をオンにしても通常起動となります。
 - 内蔵電池の電圧が規定電圧より低いとき
 - 本端末が高温になり電源がオフになったあと最初に起動するとき
 - ドコモnanoUIMカードが以下の状態のとき
 - ・ ドコモnanoUIMカードが無効
 - ・ 取り付けられていない
 - ・ 抜き差しをした
 - ・ SIM PIN認証が有効の状態、PINコードが未入力の場合
 - クイック起動で11回目に本端末を起動したとき（以降、クイック起動で10回起動するごとに1回通常起動となります）
 - 電源を入れてから、5分以内に再度電源を入れたとき

■ ソフトウェア更新

新しいバージョンのソフトウェアがないか自動的に確認したり、自動的に更新する時刻を設定したりします。→P.181

1 以下の項目を設定する

設定項目	説 明	設定範囲	初期値
自動更新設定	一定間隔で新しいバージョンのソフトウェアがないか自動的に確認するかどうかを設定します。	オン、オフ	オン
自動更新時刻	新しいバージョンのソフトウェアが見つかった場合に、自動的に更新する時刻を設定します。	0～22	3～5

2 「適用」をクリック

■ スリープモード遠隔解除

本端末のネットワークスリープ状態を、「HUAWEI HiLink」アプリを利用して解除できるようにするか、またはAndroid搭載端末のBluetooth機能を利用して解除できるようにするかどうかを設定します。

1 「オン」／「オフ」を選択する

- ・ 初期値は「オン」です。

2 「適用」をクリック

■ ネットワークスリープ状態を遠隔解除するには（「HUAWEI HiLink」アプリを利用する場合）

AndroidまたはiOS搭載端末にインストールした「HUAWEI HiLink」アプリから、本端末のネットワークスリープ状態を解除できます。

- ・ AndroidまたはiOS搭載端末と本端末がいったんWi-Fi接続され、「HUAWEI HiLink」アプリが起動された状態から本端末がネットワークスリープ状態に入った場合に操作できます。
- ・ 「HUAWEI HiLink」アプリは以下のどちらの方法でもインストールできます。
 - Google Play™（Android）またはApp Store（iOS）で「HUAWEI HiLink」アプリを検索してインストールする
 - 本端末のホーム画面で「設定」→「詳細設定」→「スリープモード遠隔解除」→「アプリのダウンロード」をタップしてQRコードを表示させ、AndroidまたはiOS搭載端末のカメラで読み取る→表示されたURLをタップしてインストールする

1 「HUAWEI HiLink」アプリのデバイス画面で「リモートウェイクアップ」をタップ

AndroidまたはiOS搭載端末のBluetooth機能がオンになり、本端末のネットワークスリープ状態が解除されます。

■ ネットワークスリープ状態を遠隔解除するには（Android搭載端末のBluetooth機能を利用する場合）

お使いのAndroid搭載端末、Androidのバージョンによって操作が異なります。詳しくは、お使いのAndroid搭載端末の取扱説明書をご覧ください。

1 Android搭載端末のアプリケーション一覧画面で「設定」→「接続済みの端末」→「接続の設定」→「Bluetooth」をタップ

2 Bluetooth機能をオンにする

3 「新しいデバイスとペア設定する」をタップ

4 一覧画面から本端末のBluetoothデバイス名をタップ

- ・ Bluetoothデバイス名は、本端末のホーム画面で「端末情報」→「端末情報」をタップして確認できます。
- ・ Bluetooth対応機器を選択してペアリング（接続設定）することはできません。
- ・ ペア設定に失敗した旨のメッセージが表示されたときは、「OK」をタップしてください。本端末のネットワークスリープ状態が解除されます。

■ 自動再起動

指定した日数間隔で本端末を自動的に再起動させるかどうかを設定します。

1 以下の項目を設定する

設定項目	説 明	設定範囲	初期値
自動再起動	自動再起動するかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ
間隔（日）	何日ごとに再起動するか設定します。	1～30	30
時刻	何時に再起動するか設定します。	0～23	2

2 「適用」をクリック

お知らせ

- ・ 自動再起動が有効の場合、間隔（日）経過後の設定時刻に自動的に再起動します。当日の午前0時から自動再起動の設定時刻までに本端末の電源オフや再起動を行うと、自動再起動は動作しません。
- ・ 本端末がネットワークスリープ状態に入ると本体内部のタイマーに遅れが生じ、再起動の時刻が設定よりも遅れる場合があります。
再起動など電源を入れ直すことで遅れが修正されます。

■ 再起動

本端末を再起動します。

1 「再起動」をクリック

確認画面が表示されます。

2 「OK」をクリック

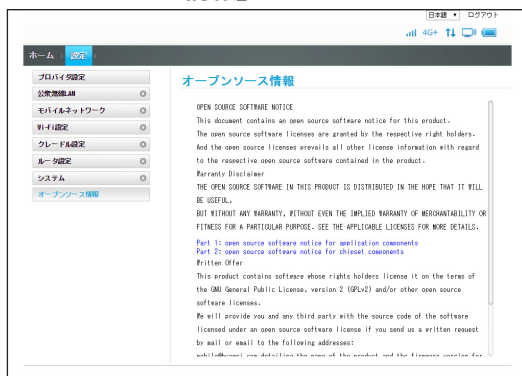
本端末が自動的に再起動します。

- ・ 設定を続ける場合は、本端末の起動後もう一度ログインしてください。

オープンソース情報

本端末に含まれるソフトウェアのライセンス情報を確認できます。

1 設定画面で「オープンソース情報」をクリック





ソフトウェアの更新をする

HW-01L設定ツール画面から、ソフトウェアの更新があるかを確認できます。

- 手順については「HW-01L設定ツールからソフトウェア更新を確認する」(→P.181)をご覧ください。

各種設定（本体メニュー）

本端末の本体メニューについて	134
各種機能の詳細設定をする	136

本端末の本体メニューについて

本端末は、タッチパネルを操作してメニューからさまざまな設定の変更や設定内容の確認ができます。

- 本端末では一部の機能を設定できません。HW-01L設定ツールを利用するとすべての機能を設定できます。→P.89
- 本端末でタッチパネルを表示中はHW-01L設定ツールで設定できません。また、HW-01L設定ツールで設定中に本端末のタッチパネルを操作すると、HW-01L設定ツールでの設定が中断される場合があります。

メニュー操作はホーム画面から行います。



ホーム画面

機 能	説 明	参照先
接続ガイド	画面の指示に従って操作すると、本端末とWi-Fi対応機器を接続できます。	P.148
公衆無線LAN	公衆無線LAN機能の設定をします。	P.148
接続中ユーザー	Wi-Fi接続中のユーザーの確認やブロックの設定／解除ができます。 USB接続ケーブルで接続中のユーザーは表示されません。	P.150
省電力設定	Wi-Fi対応機器が接続されていない状態で一定時間操作がなかった場合、Wi-Fi機能を自動的にオフ（ネットワークスリープ状態）にするかどうかを設定したり、画面の明るさや点灯時間を設定したりできます。	P.150
端末情報	本端末の情報を確認できます。	P.152
設定	各種機能の詳細設定をします。	P.136

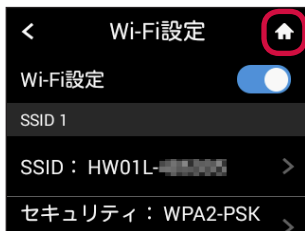
■ 前の画面に戻る場合

- 画面左上のをタップします。



■ ホーム画面に戻る場合

- 画面右上のをタップします。





各種機能の詳細設定をする



Wi-Fi設定

Wi-Fi機能に関する設定ができます。

1 ホーム画面で「設定」→「Wi-Fi設定」をタップ

Wi-Fi設定画面が表示されます。

■ Wi-Fi設定

本端末のWi-Fi機能を使用するかどうかを設定します。

1 Wi-Fi設定画面で「Wi-Fi設定」のをタップ

- ・  → 「OK」をタップすると、Wi-Fi機能を「オフ」にできます。

お知らせ

- ・ 本端末のWi-Fi機能を「オフ」にすると、USBテザリングまたはクレードル経由の通信のみ可能となります。

■ SSID

ネットワーク名（SSID）を設定します。

1 Wi-Fi設定画面で「SSID」をタップ

2 SSIDを入力

- ・ SSIDは最大32文字までの半角英数字と「.」「-」「_」、「(半角スペース)」で設定します。

3 をタップ

■ セキュリティ（暗号化方式）

セキュリティを選択します。「WEP」を選択するとWEP暗号化方式として設定されます。

1 Wi-Fi設定画面で「セキュリティ（暗号化方式）」をタップ

2 利用するセキュリティ（暗号化方式）を選択する

- オープン
- WEP
- WPA2-PSK (AES)
- WPA/WPA2-PSK (AES+TKIP)

3 をタップ

「WPA2-PSK (AES)」を選択した場合は、操作は終了です。

- それ以外を選択した場合は、手順4に進んでください。

4 メッセージを確認して「OK」をタップ

- メッセージ画面で「キャンセル」をタップすると、設定を中止します。

■ パスワード

使用するパスワードを指定します。「セキュリティ（暗号化方式）」で「オープン」以外を選択しているときに表示されます。

1 Wi-Fi設定画面で「パスワード」をタップ

2 パスワードを入力

- パスワードは最大64文字までの半角英数字と半角記号（「,」、「!」、「:」、「;」、「¥」、「\」、「&」、「%」、「+」、「,」、「<」、「>」、「?」は除く）で設定します。

3 をタップ

■ Wi-Fiモード

利用する周波数帯を設定します。

1 Wi-Fi設定画面で「Wi-Fiモード」をタップ

2 利用する周波数帯を選択する

- 2.4GHz（初期値）
- 5GHz

3 をタップ

「2.4GHz」を選択した場合は、操作は終了です。

- 「5GHz」を選択した場合は、手順4に進んでください。

4 メッセージを確認して「はい」をタップ

DFSチェックが開始され、電波干渉がないことを確認後にネットワークに接続されます。

- メッセージ画面で「いいえ」をタップすると、設定を中止します。

お知らせ

- SSID1のWi-Fiモードを「5GHz」にすると、マルチSSID機能が利用できなくなります。
- Wi-Fi 5GHz帯を利用するときは、気象レーダーなどとの電波干渉を避けるため、以下の条件でDFSチェックを行います。
 - Wi-Fiモードを「5GHz」に設定したとき。
 - Wi-Fi 5GHzを利用中にネットワークスリープの設定を「オン」または「オフ」に変更したとき。
 - ネットワークスリープの時間設定を変更したとき。
 - ネットワークスリープ機能が作動してWi-Fi接続がオフになった後、再度オンになったとき。
 - Wi-Fi接続が切断された状態から再接続したとき。
- DFSチェックには約1分間かかります。DFSチェックを実行中は一時的にネットワークが切断され、電波干渉が起きないことが確認された後、自動的に再接続されます。本端末に接続しているWi-Fi対応機器との接続も切断されますので、ネットワークに再接続された後、必要に応じてWi-Fi対応機器側で再接続の操作を行ってください。
- DFSチェックが開始されると、本端末のタッチパネルにメッセージが表示されます。メッセージ下部には以下のボタンが表示されます。
 - 「続ける」：メッセージを閉じてそのままDFSチェックを続行します。
 - 「2.4GHzに変更する」：DFSチェックを中止してWi-Fi 2.4GHz帯で接続します。必要に応じてどちらかのボタンをタップしてください。「続ける」をタップするか、ボタンをタップせずに約1分間*経過するとDFSチェックが終了し、Wi-Fi 5GHz帯が利用可能になります。
※ DFSチェックの結果によっては、さらに時間がかかることがあります。
- ご使用のWi-Fi対応機器がWi-Fi 5GHz帯に対応しているかご確認ください。ご使用のWi-Fi対応機器に5GHz帯に対応していないものがある場合は、本端末の設定を2.4GHz帯にしてご使用ください。またはSSID1を「2.4GHz」、SSID2を「5GHz」に設定し、クレードルを使用して接続／通信していただくことも可能です。
- ドコモnanoUIMカードが未挿入、または国際ローミング中の場合は、Wi-Fi 5GHz帯は選択できません。

■ Wi-Fi帯域幅

Wi-Fiの周波数帯域幅を設定します。

1 Wi-Fi設定画面で「Wi-Fi帯域幅」をタップ

2 利用する周波数帯域幅を選択する

■2.4GHzのとき

- 20MHz（初期値）
- 20MHz/40MHz

■5GHzのとき

- 20MHz（初期値）
- 20MHz/40MHz/80MHz

3 をタップ

■ SSID2設定

オンにすると、マルチSSID機能を利用できるようになります。設定できる項目はSSID1と同様です。

1 Wi-Fi設定画面で「SSID2設定」のをタップ

- をタップすると、SSID2設定を「オフ」にできます。

お知らせ

- マルチSSID機能の利用時は、公衆無線LAN機能の利用はできません。
また、Wi-Fi 5GHz帯はクレードル取り付け時のみW52チャンネルの利用ができます。クレードルから取り外すとSSID1（2.4GHz）のみ利用できます。

■ WPS

WPS機能のプッシュボタン方式を利用して、Wi-Fi対応機器を本端末に接続できます。

1 ホーム画面で「設定」→「WPS」をタップ

WPS画面が表示されます。

2 「WPS接続開始」をタップ

- 120秒以内にWi-Fi対応機器側でWPS接続の操作をしてください。

■ QRコード表示

「HUAWEI HiLink」アプリを使って、Android搭載端末と簡単に接続するためのQRコードを表示します。詳しくは「本端末のQRコード表示機能を使って接続する場合」（→P. 62）をご覧ください。

1 ホーム画面で「設定」→「QRコード表示」をタップ

- QRコードを上フリックして「アプリのダウンロード」をタップすると、「HUAWEI HiLink」アプリをダウンロードするためのQRコードが表示されます。

■ APN設定

接続先APNの設定が複数ある場合、接続先APNを変更できます。

- 接続先APNを新規に追加する場合、および編集する場合は、HW-01L設定ツール画面から設定してください。→P.98

1 ホーム画面で「設定」→「APN設定」をタップ

APN設定画面が表示されます。

2 アクセスポイントを選択する

3 をタップ

クレードル設定

クレードルを使用したネットワークへの接続に関する設定ができます。

- 1 ホーム画面で「設定」→「クレードル設定」をタップ
クレードル設定画面が表示されます。

■ インターネット接続設定

クレードルを使用したネットワークへの接続モードを設定します。

- 1 クレードル設定画面で「インターネット接続設定」をタップ

■「自動」に設定する場合

- 1 「自動」をタップ

- 2 ☒ をタップ

- 3 確認画面で「いいえ」をタップ

■「PPPoE接続」に設定する場合

- 1 「PPPoE接続」をタップ

- 2 ☒ をタップ

・ 確認画面が表示されたときは、「はい」をタップしてください。

- 3 ユーザー名[※]を入力

- 4 ☒ をタップ

- 5 パスワード[※]を入力

- 6 ☒ をタップ

- 7 設定内容を確認して☒ をタップ

※「ユーザー名」と「パスワード」には、接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されたユーザー名とパスワードを入力します。

■「DHCP接続」／「有線LANテザリング」に設定する場合

- 1 「DHCP接続」／「有線LANテザリング」をタップ

- 2 ☒ をタップ

■「手動設定（固定IPアドレス接続）」に設定する場合

1 「手動設定（固定IPアドレス接続）」をタップ

2 をタップ

- ・ 確認画面が表示されたときは、「はい」をタップしてください。

3 IPアドレスを入力→ をタップ

4 サブネットマスクを入力→ をタップ

5 デフォルトゲートウェイを入力→ をタップ

6 プライマリDNSサーバを入力→ をタップ

7 セカンダリDNSサーバを入力→ をタップ

8 設定内容を確認して をタップ

■ 接続状態

クレードルを使用した接続の状態を表示します。

- ・ 「接続ステータス」欄には、有線インターネット（固定ブロードバンド回線）との接続状態が表示されます。
 - クレードルを使用してルーターとして接続している場合（→P.84）は、「切断」と表示されます。本端末のLTE回線または公衆無線LANを利用して通信します。
 - クレードルを使用してアクセスポイントとして接続している場合（→P.86）は、「接続済」と表示されます。接続した固定ブロードバンド回線を利用して通信します。

1 クレードル設定画面で「接続状態」をタップ

■ USBテザリング

USBテザリング機能を利用するかどうかを設定します。USBテザリング機能を利用すると、パソコンと本端末をUSB接続ケーブルで接続して、データの送受信ができます。

1 ホーム画面で「設定」→「USBテザリング」をタップ

USBテザリング画面が表示されます。

2 「充電のみ」／「充電とUSBテザリング利用」をタップ

- 充電のみ
- 充電とUSBテザリング利用（初期値）

3 をタップ

データ通信量

データ通信量を確認できます。

1 ホーム画面で「設定」→「データ通信量」をタップ

データ通信量画面が表示されます。

■ リセット

1 データ通信量画面で「リセット」をタップ

2 「OK」をタップ

データ通信量画面には前回のリセット日時が表示されます。

■ 設定

1 データ通信量画面で「設定」をタップ

■ ホーム画面にデータ通信量を表示／非表示に設定する場合

1 「ホーム画面にデータ通信量を表示」の / をタップ

■ 目標データ通信量を設定する場合

1 「目標データ通信量を表示」の をタップ

- ・  をタップすると、目標データ通信量を「無効」にできます。

2 数字キーをタップして目標データ通信量を入力

- ・ 目標データ通信量は1～999の間で設定してください。
- ・  をタップすると入力した数字を削除できます。

3 をタップ

■ 設定値になったときに通知するかどうかを設定する場合

1 「設定値になったときに通知する」の / をタップ

2 を左右にドラッグして通知するデータ通信量を調節

詳細設定

本端末のさまざまな設定の変更や設定内容の確認ができます。

1 ホーム画面で「設定」→「詳細設定」をタップ

詳細設定画面が表示されます。

ディスプレイ画面設定

本端末のタッチパネルの明るさや、スリープの設定ができます。

1 詳細設定画面で「ディスプレイ画面設定」をタップ

画面の明るさを設定する場合

本端末の画面の明るさを調整します。

1 「画面の明るさ」のを左右にドラッグ

- ・ 画面が明るくなったり、暗くなったりするのでお好みの明るさに調整してください。

画面の点灯時間を設定する場合

本端末の画面から手を離してから、消灯するまでの時間を設定します。

1 「画面点灯時間」をタップ

2 画面を点灯させる時間を選択する

- 15秒
- 30秒
- 60秒（初期値）
- 120秒
- 10分

3 をタップ

パスコード設定

画面ロックを解除するときに、あらかじめ設定したロック番号の入力を行わないと本端末を使用できないように設定します。

画面ロックから5秒以上経過すると、パスコード入力画面が表示されます。

1 詳細設定画面で「パスコード設定」をタップ

パスコードをオン／オフにする場合

1 「パスコード設定」の／をタップ

2 4桁の数字を順番にタップ

- ・ をタップすると入力した数字を削除できます。

3 確認のため4桁の数字を再入力

- ・ オフにする場合は、数字の再入力は不要です。

■ パスコードを変更する場合

1 「変更」をタップ

2 現在のパスコードを入力→新しいパスコードを入力→確認のため、新しいパスコードを再入力

■ ネットワーク設定

接続できるネットワークの優先度と検索する方法を設定します。

- ・ 優先ネットワークタイプを変更した場合や、ネットワークの検索中は、ネットワークから切断される（圏外になる）ことがあります。設定を変更するときには、ご注意ください。

1 詳細設定画面で「ネットワーク設定」をタップ

■ ローミングを設定する場合

海外でパケット通信を行うためには、「ローミング設定」をオンに設定する必要があります。

1 「ローミング設定」の をタップ

- ・  をタップすると、ローミング設定を「オフ」にできます。

2 メッセージを確認して「OK」をタップ

■ 優先ネットワークタイプを設定する場合

1 「優先ネットワークタイプ」→「4G/3G（自動）」／「4G」／「3G」をタップ

2 →「OK」をタップ

■ 通信事業者設定を自動／手動に設定する場合

1 「通信事業者設定」→「自動」／「手動」をタップ

2 →「OK」をタップ

- ・ 「手動」を選択した場合には、ネットワークリストが表示されます。利用可能なネットワークを選択し、 →「OK」をタップします。

■ SIMカードロック設定

SIM PIN認証の有効／無効の設定ができます。

1 詳細設定画面で「SIMカードロック設定」をタップ

2 「SIM PIN認証」の / をタップ

3 数字キーをタップしてPINコードを入力

- ・  をタップすると入力した数字を削除できます。

4 をタップ

お知らせ

- PINコードの変更はHW-01L設定ツールの「モバイルネットワーク」から行います。
→P.102
- SIM PIN認証を有効に設定すると、本端末の電源を入れたときにPINコード認証画面が表示されます。「PIN1コードの入力」をタップし、正しいPINコードを入力して ☒ をタップしてください。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、ロックされて使えなくなります。この場合は「PINロック解除コード (PUK)」でロックを解除してください。PINコードがロックされている状態で本端末の電源を入れると、PINロック解除コード (PUK) の認証画面が表示されます。正しいPINロック解除コード (PUK) と新しいPINコードを入力し、☒ をタップしてください。
→P.26
- ドコモnanoUIMカードが取り付けられていない場合は設定できません。

■ 言語

本端末の表示言語を切り替えることができます。

1 詳細設定画面で「言語」をタップ

2 「English」／「日本語」をタップ

3 ☒ をタップ

■ 時間設定

本端末の時間表示とタイムゾーンを設定できます。

1 詳細設定画面で「時間設定」をタップ

■ 24時間表示をオン／オフにする場合

1 「24時間表示」の ☐／☒ をタップ

■ タイムゾーンを設定する場合

1 「タイムゾーン」をタップ

2 タイムゾーンを選択する

3 ☒ をタップ

お知らせ

- 国際ローミング中や圏外のときは、時間を正確に取得できない場合があります。

■ 自動再起動

指定した日数間隔で本端末を自動的に再起動させるかどうかを設定します。

1 詳細設定画面で「自動再起動」をタップ

2 「自動再起動」の をタップ

- ・  をタップすると、自動再起動を「無効」にできます。

3 「間隔（日）」の日数表示をタップ

4 間隔日数を入力→ をタップ

- ・ 間隔は、1～30の間で設定してください。

5 「時刻」の時刻表示をタップ

6 時刻を入力→ をタップ

- ・ 時刻は、0～23の間で設定してください。

お知らせ

- ・ 自動再起動が有効の場合、間隔（日）経過後の設定時刻に自動的に再起動します。当日の午前0時から自動再起動の設定時刻までに本端末の電源オフや再起動を行うと、自動再起動は動作しません。
- ・ 本端末がネットワークスリープ状態に入ると本体内部のタイマーに遅れが生じ、再起動の時刻が設定よりも遅れる場合があります。
再起動など電源を入れ直すことで遅れが修正されます。
- ・ 自動再起動設定時刻にデータ通信を行っている場合、再起動しない場合があります。

■ スリープモード遠隔解除

本端末のネットワークスリープ状態を、「HUAWEI HiLink」アプリを利用して解除できるようにするか、またはAndroid搭載端末のBluetooth機能を利用して解除できるようにするかどうかを設定します。

1 詳細設定画面で「スリープモード遠隔解除」をタップ

2 「スリープモード遠隔解除」の をタップ

お知らせ

- ネットワークスリープ状態を遠隔解除する手順については、「各種設定（Webブラウザ）」の「スリープモード遠隔解除」（→P. 129）をご覧ください。
- スリープモード遠隔解除画面の「アプリのダウンロード」をタップして、「HUAWEI HiLink」アプリをAndroidまたはiOS搭載端末にインストールすることができます。詳しくは「ネットワークスリープ状態を遠隔解除するには（「HUAWEI HiLink」アプリを利用する場合）」（→P.129）をご覧ください。

■ ソフトウェア更新

本体でソフトウェア更新をします。

- 手順については「本体でソフトウェア更新をする」（→P. 182）をご覧ください。

接続ガイド

画面の指示に従って操作すると、本端末とWi-Fi対応機器を接続できます。

1 ホーム画面で「設定」→「接続ガイド」をタップ

接続ガイド画面が表示されます。

- ・ ホーム画面で「接続ガイド」をタップしても接続ガイド画面が表示されます。

2 「次へ」をタップ

3 接続方法を選択する

- 手動入力→P.44
- WPS→P.43
- QRコード表示→P.62
- Wi-Fiお引越し機能→P.41
- ・ 画面の説明に従って、手順を完了させてください。

公衆無線LAN設定

公衆無線LAN機能の設定をします。

1 ホーム画面で「設定」→「公衆無線LAN設定」をタップ

公衆無線LAN設定画面が表示されます。

2 「公衆無線LAN設定」のをタップ

接続履歴のあるアクセスポイントが通信可能範囲に見つかった場合は、そのアクセスポイントに自動的に接続されます。

- ・  をタップすると、公衆無線LANを「オフ」にできます。

3 「利用可能なネットワーク」をタップ

自動的にWi-Fiネットワークのスキャンが開始され、利用可能なアクセスポイント名が一覧で表示されます。

■ オープンなアクセスポイントに接続する場合

1 接続するアクセスポイントを選択する

- ・ アクセスポイントをタップすると自動的に接続されます。

■ セキュリティで保護されているアクセスポイントに接続する場合

1 接続するアクセスポイントを選択する

2 パスワードを入力

3 をタップ

■ アクセスポイントに手動設定で接続する場合

非公開に設定されているアクセスポイントに接続する場合は、設定を手動入力する必要があります。

1  をタップ

2 SSIDを入力

3  をタップ

4 セキュリティ方法を選択する

- ・ セキュリティ方法は「オープン」「WEP」「WPA2-PSK」「WPA/WPA2-PSK」「EAP-SIM」「EAP-AKA」「EAP-AKA'」から選択できます。

5  をタップ

6 パスワードを入力

- ・ 手順4でセキュリティ方法に「オープン」を選択した場合は、パスワードの入力は不要です。

7  をタップ

お知らせ

- ・ 公衆無線LANのオン／オフは、ホーム画面で「公衆無線LAN」をタップしても切り替えられます。
 - ・ マルチSSID機能の利用時は、公衆無線LAN機能の利用はできません。
-

接続中ユーザー

Wi-Fi接続中のユーザーの確認やブロックの設定／解除ができます。
USB接続ケーブルで接続中のユーザーは表示されません。

1 ホーム画面で「設定」→「接続中ユーザー」をタップ

接続中ユーザーが表示されます。

- ・ ホーム画面で「接続中ユーザー」をタップしても接続中ユーザーが表示されます。

■ ブロックリストにユーザーを追加する場合

1 ブロックしたいユーザーの右側にあるをタップ

2 「OK」をタップ

■ ブロックリストからユーザーを削除する場合

1 をタップ

2 ブロックリストから削除するユーザーのをタップ

3 「OK」をタップ

省電力設定

Wi-Fi対応機器が接続されていない状態で一定時間操作がなかった場合、Wi-Fi機能を自動的にオフ（ネットワークスリープ状態）にするかどうかを設定したり、画面の明るさや点灯時間を設定したりできます。

1 ホーム画面で「設定」→「省電力設定」をタップ

省電力設定画面が表示されます。

- ・ ホーム画面で「省電力設定」をタップしても省電力設定画面が表示されます。

■ ネットワークスリープ

Wi-Fi対応機器が接続されていない状態で一定時間操作がなかった場合、Wi-Fi機能を自動的にオフにするかどうかを設定します。

1 省電力設定画面で「ネットワークスリープ」のをタップ

- ・ をタップすると、ネットワークスリープを「オフ」にできます。

2 「スリープまでの時間」をタップ

3 Wi-Fi機能を自動的にオフにするまでの時間を選択する

- 10分（初期値）
- 20分
- 30分

4 をタップ

お知らせ

- 以下の条件のとき、Wi-Fi機能が自動的にオフになります。
 - Wi-Fi対応機器が接続されていない
 - 充電中でない
 - 画面が消灯している
-

■ 画面の明るさ

本端末の画面の明るさを調整します。

1 省電力設定画面で「画面の明るさ」のを左右にドラッグ

- 画面が明るくなったり、暗くなったりするので好みの明るさに調整してください。

■ 画面点灯時間

本端末の画面から手を離してから、消灯するまでの時間を設定します。

1 省電力設定画面で「画面点灯時間」をタップ

2 画面を点灯させる時間を選択する

- 15秒
- 30秒
- 60秒（初期値）
- 120秒
- 10分

3 をタップ

端末情報

本端末の情報を確認できます。

1 ホーム画面で「設定」→「端末情報」をタップ

端末情報画面が表示されます。

- ・ ホーム画面で「端末情報」をタップしても端末情報画面が表示されます。

SSID&パスワード

SSIDとパスワードを表示します。

1 端末情報画面で「SSID&パスワード」をタップ

端末情報

本端末に関する情報を表示します。

1 端末情報画面で「端末情報」をタップ

Wi-Fi 5GHz帯利用時のご注意

Wi-Fi 5GHz帯利用時のご注意を表示します。

1 端末情報画面で「Wi-Fi 5GHz帯利用時のご注意」をタップ

認証情報

電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合していることを示す技適マークなどの情報が表示されます。

1 端末情報画面で「認証情報」をタップ

電池容量

内蔵電池の充電能力が表示されます。

1 端末情報画面で「電池容量」をタップ

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要.....	154
海外で利用可能なサービス.....	154
海外でご利用になる前に.....	155

国際ローミング (WORLD WING) の概要

国際ローミング (WORLD WING) とは、日本国内で使用している本端末をドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用になれるサービスです。

国際ローミング (WORLD WING) の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/service/world/roaming/>

- 対応ネットワークについて

本端末は、LTEネットワーク、3Gネットワークのサービスエリアでご利用になります。また、3G850MHzに対応した国・地域でもご利用になります。

お知らせ

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国・地域および海外通信事業者は、ドコモのホームページをご確認ください。

海外で利用可能なサービス

通信サービス	LTE	3G	3G850	GSM (GPRS)
パケット通信*	○	○	○	×

※ ローミング時にパケット通信を利用するには、「ローミング設定」をオンにしてください。

→P.155

お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークによりご利用にならないサービスがあります。
- 接続している通信事業者名は、ホーム画面で確認できます (→P.32)。

海外でご利用になる前に

■ 出発前の確認

海外でご利用になる際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ ご契約について

- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 充電について

- 充電についてはドコモのホームページをご確認ください。

■ 料金について

- 海外でのご利用料金（パケット通信料）は日本国内とは異なります。詳細はドコモのホームページをご確認ください。

■ 滞在国での確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

■ 接続について

- 「ネットワーク設定」(→P.144) の設定で「通信事業者設定」を「自動」に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

■ 海外で利用するための設定

■ ローミングの設定

海外でパケット通信を行うためには、「ローミング設定」をオンにする必要があります。

1 ホーム画面で「設定」→「詳細設定」→「ネットワーク設定」をタップ

2 「ローミング設定」の  をタップ→メッセージを確認して「OK」をタップ

■ 通信事業者の設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

1 ホーム画面で「設定」→「詳細設定」→「ネットワーク設定」→「通信事業者設定」をタップ

2 「手動」を選択→ をタップ
利用可能なネットワークを検索して表示します。

3 通信事業者のネットワークを選択して→「OK」をタップ

- ・ 自動でネットワークを切り替える場合は、ホーム画面で「設定」→「詳細設定」→「ネットワーク設定」→「通信事業者設定」→「自動」を選択→→「OK」をタップしてください。

■ ネットワークモードの設定

1 ホーム画面で「設定」→「詳細設定」→「ネットワーク設定」→「優先ネットワークタイプ」をタップ

2 「4G/3G（自動）」／「4G」／「3G」を選択→→「OK」をタップ

■ 日付と時刻について

「タイムゾーン」を「自動」に設定している場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- ・ 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手でタイムゾーンを設定してください。
- ・ 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- ・ 時間設定（→P.145）

■ お問い合わせについて

- ・ 本端末やドコモnanoUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。My docomoからも利用中断の手続きは可能です。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- ・ 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている『国際電話アクセス番号』または『ユニバーサルナンバー用国際識別番号』が必要です。

■ 帰国後の確認

日本に帰国後は渡航前の設定に戻してください。

■ 海外でパケット通信を利用した場合

- ・ 「ローミング設定」（→P.155）をオフに設定してください。

■ 帰国後に自動的にドコモのネットワークに接続できない場合

- ・ 「ネットワーク設定」（→P.144）の「優先ネットワークタイプ」を「4G/3G（自動）」に、「通信事業者設定」を「自動」に設定してください。

付録／索引

メニュー一覧.....	158
故障かな？と思ったら.....	169
保証とアフターサービス.....	178
ソフトウェア更新.....	180
主な仕様.....	183
データ通信端末の比吸収率（SAR）について.....	187
Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Terminals.....	188
FCC Regulatory Compliance.....	190
Disposal and Recycling Information.....	191
Reduction of Hazardous Substances.....	191
EU Regulatory Conformance.....	191
輸出管理規制.....	193
知的財産権.....	193
SIMロック解除.....	194
索引.....	195

メニュー一覧

メニュー一覧 (Webブラウザ)

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値	設定値の保存	
			電源オフ	バックアップ／リストア
ホーム				
URL	－	192.168.8.1	－	－
言語	English、日本語	日本語	○	○
接続設定	－	http://192.168.8.1/html/mobilenetworksettings.html	－	－
ログイン				
パスワード	半角15文字まで	admin	○	○
お客様サポート	－	https://www.nttdocomo.co.jp/support/	－	－
取扱説明書	－	https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html	－	－
My docomo	－	https://www.nttdocomo.co.jp/mydocomo/	－	－
データ通信量	－	－	○	－
接続済Wi-Fiクライアント	－	－	－	－
設定				
プロバイダ設定				
プロファイル名	半角32文字まで	mopera U	○	○
APN名	半角32文字まで	mopera.net	○	○
ユーザー名	半角32文字まで	－	○	○
パスワード	半角32文字まで	－	○	○
認証方式	自動、PAP、CHAP	CHAP	○	○
IPタイプ	IPv4、IPv4&IPv6	IPv4	○	○
公衆無線LAN				
設定	オン、オフ	オフ	○	○
優先度	－	－	－	－
モバイルネットワーク				
SIMカードロック設定				
現在のPIN1コード 認証の状態	－	－	－	－

メニュー項目／設定項目			設定範囲	初期値	設定値の保存	
					電源オフ	バックアップ／リストア
		SIM PIN認証	有効、無効、変更	—	—	—
		SIM PIN入力	4～8桁の数字	—	—	—
		新PIN1コード入力 ^{*1}	4～8桁の数字	—	—	—
		PIN1コードの確認 ^{*1}	4～8桁の数字	—	—	—
		残り入力回数	—	—	—	—
		ネットワーク設定				
		ローミング設定	有効、無効	無効	○	○
		優先ネットワークタイプ	4G/3G（自動）、4G、3G	4G/3G（自動）	○	○
		通信事業者設定	自動、手動	自動	○	—
		データ通信量表示	オン、オフ	オン	○	○
		目標データ通信量				
		目標データ通信量を表示	オン、オフ	オフ	○	○
		目標データ通信量	1～999	0	○	○
		通知設定				
		データ通信量が設定値になったときに通知する	有効、無効	有効	○	○
		通知するデータ通信量	1%～100%	90%	○	○
		Wi-Fi設定				
		基本設定				
		Wi-Fi設定	オン、オフ	オン	○	○
		Wi-Fiモード	2.4GHz、5GHz	2.4GHz	○	○
		Wi-Fi帯域幅	2.4GHz：20MHz、 20/40MHz 5GHz：20MHz、 20/40/80MHz	20MHz	○	○
		SSID	半角32文字まで	—	○	○
		セキュリティ（暗号化方式）	オープン、WEP、WPA2-PSK（AES）、WPA/WPA2-PSK（AES+TKIP）	WPA2-PSK（AES）	○	○

メニュー項目／設定項目			設定範囲	初期値	設定値の保存	
					電源オフ	バックアップ／リストア
		パスワード*2	8桁から63桁までのASCII文字または64桁の16進数	—	○	○
		ネットワークキー1～4*3	5桁または13桁のASCII文字または10桁または26桁の16進数	—	○	○
		現在のネットワークキー*3	ネットワークキー1～4	ネットワークキー1	○	○
		APアイソレーション	オン、オフ	オフ	○	○
		SSIDブロードキャスト	有効、無効	有効	○	○
		パスワードの表示	オン、オフ	オフ	—	—
		詳細設定				
		チャンネル	2.4GHz：自動、1～13*4 5GHz：自動	自動	○	○
		ネットワークスリープ	有効、無効	有効	○	○
		スリープまでの時間(分)	10、20、30	10	○	○
		Wi-Fi暗号化強化(PMF)	オン、オフ	オン	○	○
		MACアドレスフィルタ				
		MACアドレスフィルタ	無効、許可、拒否	無効	○	○
		MACアドレス	00～FFの6組の番号	—	○	○
		DHCP				
		IPアドレス	クラスA：1.0.0.1～126.255.255.255 クラスB：128.0.0.1～191.255.255.255 クラスC：192.0.0.1～223.255.255.255	192.168.8.1	○	○
		サブネットマスク	0.0.0.0～255.255.255.255	255.255.255.0	○	○

メニュー項目／設定項目			設定範囲	初期値	設定値の保存	
					電源オフ	バックアップ／リストア
		DHCPサーバ	有効、無効	有効	○	○
		開始IPアドレス	クラスA：1.0.0.1～126.255.255.255 クラスB：128.0.0.1～191.255.255.255 クラスC：192.0.0.1～223.255.255.255	192.168.8.100	○	○
		終了IPアドレス	クラスA：1.0.0.1～126.255.255.255 クラスB：128.0.0.1～191.255.255.255 クラスC：192.0.0.1～223.255.255.255	192.168.8.200	○	○
		DHCPリース時間(秒)	86400～604800	86400	○	○
クレードル設定						
インターネット接続設定						
		接続モード	自動、PPPoE接続、DHCP接続、手動設定（固定IPアドレス接続）、有線LANテザリング	自動	○	○
		ユーザー名 ^{*5}	半角32文字まで	—	○	○
		パスワード ^{*5}	半角32文字まで	—	○	○
		IPアドレス ^{*6}	0～255の4組の番号	—	○	○
		サブネットマスク ^{*6}	0～255の4組の番号	—	○	○
		デフォルトゲートウェイ ^{*6}	0～255の4組の番号	—	○	○
		プライマリDNSサーバ ^{*6}	0～255の4組の番号	—	○	○
		セカンダリDNSサーバ ^{*6}	0～255の4組の番号	—	○	○
		接続状態	—	—	—	—
ルータ設定						
ファイアウォール スイッチ						
		ファイアウォールを有効にする	オン、オフ	オン	○	○
		IPアドレス フィルタを有効にする	オン、オフ	オフ	○	○

メニュー項目／設定項目			設定範囲	初期値	設定値の保存	
					電源オフ	バックアップ／リストア
		WANポートpingを無効にする	オン、オフ	オン	○	○
		LAN IPフィルタ				
		LAN IPアドレス	〈IPv4の場合〉 クラスA：1.0.0.0～126.255.255.255 クラスB：128.0.0.0～191.255.255.255 クラスC：192.0.0.0～223.255.255.255 およびワイルドカードとして[*] 〈IPv6の場合〉 0000～FFFFの8組の番号＋「/」＋プレフィックス値（3～128）	—	○	○
		LANポート	1～65535	—	○	○
		WAN IPアドレス	〈IPv4の場合〉 クラスA：1.0.0.0～126.255.255.255 クラスB：128.0.0.0～191.255.255.255 クラスC：192.0.0.0～223.255.255.255 およびワイルドカードとして[*] 〈IPv6の場合〉 0000～FFFFの8組の番号＋「/」＋プレフィックス値（3～128）	—	○	○
		WANポート	1～65535	—	○	○
		プロトコル	TCP/UDP、TCP、UDP、ICMP	TCP/UDP	○	○
		IPタイプ	IPv4、IPv6	IPv4	○	○
		ステータス	オン、オフ	オフ	○	○
		ポートマッピング				
		名前	半角30文字まで	—	○	○
		WANポート	1～65535	—	○	○

メニュー項目／設定項目			設定範囲	初期値	設定値の保存	
					電源オフ	バックアップ／リストア
		LAN IPアドレス	クラスA：1.0.0.1～126.255.255.255 クラスB：128.0.0.1～191.255.255.255 クラスC：192.0.0.1～223.255.255.255	－	○	○
		LANポート	1～65535	－	○	○
		プロトコル	TCP/UDP、TCP、UDP	TCP/UDP	○	○
		ステータス	オン、オフ	オフ	○	○
		特殊なアプリケーション				
		名前	半角30文字まで	－	○	○
		ステータス	オン、オフ	オフ	○	○
		起動ポート	1～65535	－	○	○
		起動プロトコル	TCP/UDP、TCP、UDP	TCP/UDP	○	○
		オープン プロトコル	TCP/UDP、TCP、UDP	TCP/UDP	○	○
		オープン ポート	1～65535	－	○	○
		DMZ設定				
		DMZステータス	有効、無効	無効	○	○
		DMZ IPアドレス	クラスA：1.0.0.1～126.255.255.255 クラスB：128.0.0.1～191.255.255.255 クラスC：192.0.0.1～223.255.255.255	192.168.8.100	○	○
		SIP ALG設定				
		SIP ALGを有効にする	有効、無効	有効	○	○
		SIPポート	1～65535	5060	○	○
		UPnP設定				
		UPnPステータス	有効、無効	無効	○	○
		NAT設定	Cone、Symmetric	Symmetric	○	○
	システム					
		デバイス情報	－	－	－	－
		バックアップとリストア	－	－	－	－
	パスワードの変更					
		現在のパスワード	半角15文字まで	－	○	○
		新しいパスワード	半角15文字まで	－	－	－
		パスワードの確認	半角15文字まで	－	－	－

メニュー項目／設定項目		設定範囲	初期値	設定値の保存	
				電源オフ	バックアップ／リストア
	リセット	—	—	—	—
	USBテザリング	オン、オフ	オン	○	—
	クイック起動	オン、オフ	オン	○	○
	ソフトウェア更新				
	自動更新設定	オン、オフ	オン	○	○
	自動更新時刻	0～22	3～5	○	○
	スリープモード遠隔解除	オン、オフ	オン	○	○
	自動再起動				
	自動再起動	オン、オフ	オフ	○	○
	間隔（日）	1～30	30	○	○
	時刻	0～23	2	○	○
	再起動	—	—	—	—
	オープンソース情報	—	—	—	—

※1 「SIM PIN認証」で「変更」を選択しているときに表示されます。

※2 「セキュリティ（暗号化方式）」で「WPA2-PSK（AES）」または「WPA/WPA2-PSK（AES+TKIP）」を選択しているときに表示されます。

※3 「セキュリティ（暗号化方式）」で「WEP」を選択しているときに表示されます。

※4 国際ローミング中は1～11となります。

※5 「接続モード」で「自動」または「PPPoE接続」を選択しているときに表示されます。

※6 「接続モード」で「手動設定（固定IPアドレス接続）」を選択しているときに表示されます。

メニュー一覧（本体メニュー）

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値	設定値の保存	
			電源オフ	バックアップ／リストア
設定				
Wi-Fi設定				
Wi-Fi設定	オン、オフ	オン	○	○
SSID	半角32文字まで	－	○	○
セキュリティ（暗号化方式）	オープン、WEP、WPA2-PSK（AES）、WPA/WPA2-PSK（AES+TKIP）	WPA2-PSK（AES）	○	○
パスワード	「WPA2-PSK（AES）」または「WPA/WPA2-PSK（AES+TKIP）」選択時：8桁から63桁までのASCII文字または64桁の16進数 「WEP」選択時：5桁または13桁のASCII文字または10桁または26桁の16進数	－	○	○
Wi-Fiモード	2.4GHz、5GHz	2.4GHz	○	○
Wi-Fi帯域幅	2.4GHz：20MHz、20MHz/40MHz 5GHz：20MHz、20MHz/40MHz/80MHz	20MHz	○	○
WPS	－	－	－	－
QRコード表示				
アプリのダウンロード	－	－	－	－
APN設定	－	mopera U	○	○
クレードル設定				
インターネット接続設定				
接続モード	自動、DHCP接続、PPPoE接続、手動設定（固定IPアドレス接続）、有線LANテザリング	自動	○	○
ユーザー名 ^{*1}	半角32文字まで	－	○	○
パスワード ^{*1}	半角32文字まで	－	○	○
IPアドレス ^{*2}	0～255の4組の番号	－	○	○
サブネットマスク ^{*2}	0～255の4組の番号	－	○	○
デフォルトゲートウェイ ^{*2}	0～255の4組の番号	－	○	○

メニュー項目／設定項目			設定範囲	初期値	設定値の保存	
					電源オフ	バックアップ／リストア
		プライマリDNSサーバ ^{*2}	0～255の4組の番号	－	○	○
		セカンダリDNSサーバ ^{*2}	0～255の4組の番号	－	○	○
		接続状態	－	－	－	－
		USBテザリング	充電のみ、充電とUSBテザリング利用	充電とUSBテザリング利用	○	－
		データ通信量				
		リセット	－	－	－	－
		設定				
		ホーム画面にデータ通信量を表示	オン、オフ	オン	○	○
		目標データ通信量を表示	オン、オフ	オフ	○	○
		目標データ通信量	1～999	－	○	○
		設定値になったときに通知する	オン、オフ	オン	○	○
		通知するデータ通信量	1%～100%	90%	○	○
		詳細設定				
		ディスプレイ画面設定				
		画面の明るさ	最小（0%）～最大（100%） （スライダーの可動範囲）	50%	○	－
		画面点灯時間	15秒、30秒、60秒、120秒、10分	60秒	○	－
		パスコード設定				
		パスコード設定	オン、オフ	オフ	○	－
		ネットワーク設定				
		ローミング設定	オン、オフ	オフ	○	－
		優先ネットワークタイプ	4G/3G（自動）、4G、3G	4G/3G（自動）	○	－
		通信事業者設定	自動、手動	自動	○	－
		SIMカードロック設定				
		SIM PIN認証	オン、オフ	－	－	－
		言語	English、日本語	日本語	○	○

メニュー項目／設定項目		設定範囲	初期値	設定値の保存	
				電源オフ	バックアップ／リストア
	時間設定				
	24時間表示	オン、オフ	オン	○	－
	タイムゾーン	自動、各国のタイムゾーン	自動	○	○
	自動再起動				
	自動再起動	オン、オフ	オフ	○	○
	間隔（日）	1～30	30	○	○
	時刻	0～23	2	○	○
	スリープモード遠隔解除				
	スリープモード遠隔解除	オン、オフ	オン	○	○
	アプリのダウンロード*	－	－	－	－
	ソフトウェア更新				
	自動更新設定	オン、オフ	オン	○	○
	自動更新時刻	0～22	3～5	○	○
	最新ソフトウェア確認	－	－	－	－
接続ガイド					
手動入力	－	－	－	－	
WPS	－	－	－	－	
QRコード表示	－	－	－	－	
Wi-Fiお引越し機能	－	－	－	－	
公衆無線LAN設定					
公衆無線LAN設定	オン、オフ	オフ	○	○	
利用可能なネットワーク	－	－	－	－	
接続中ユーザー					
ブロックリスト表示 ^{*3}	－	－	○	○	
省電力設定					
ネットワークスリープ	オン、オフ	オン	○	○	
スリープまでの時間	10分、20分、30分	10分	○	○	
画面の明るさ	最小（0%）～最大（100%） （スライダーの可動範囲）	50%	○	－	
画面点灯時間	15秒、30秒、60秒、120 秒、 10分	60秒	○	－	

メニュー項目／設定項目		設定範囲	初期値	設定値の保存	
				電源オフ	バックアップ／リストア
	端末情報				
	SSID&パスワード	—	—	—	—
	端末情報	—	—	—	—
	Wi-Fi 5GHz帯利用時の ご注意	—	—	—	—
	認証情報	—	—	—	—
	電池容量	—	—	—	—

- ※1 「接続モード」で「自動」または「PPPoE接続」を選択した後の詳細設定画面で表示されます。
- ※2 「接続モード」で「手動設定（固定IPアドレス接続）」を選択した後の詳細設定画面で表示されます。
- ※3 ホーム画面で「設定」→「接続中ユーザー」をタップし、をタップすると表示されます。



故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったらときに、お客様ご自身で診断することができます。詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。
<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/repair/>
- ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。→P.180
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

症状	チェック項目	参照ページ
本端末の電源が入らない	電池切れになっていませんか。	P.28、 P.29、 P.30
画面が動かない、電源が切れない	画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に本端末を強制的に再起動することができます。 ■再起動方法 電源キーを約8秒間押し続けます。 ※強制的に再起動する操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。	—

■ 充電

症状	チェック項目	参照ページ
充電ができない	- アダプタの電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。 - アダプタと本端末がしっかりと接続されていますか。 - ACアダプタ 07（別売）をご使用の場合、ACアダプタのType-Cプラグが本端末にしっかりと接続されていますか。 - 付属のクレードル HW02をご使用の場合、クレードルの電源用USB Type-C接続端子とACアダプタとがしっかりと接続されていますか。 - 付属のクレードル HW02をご使用の場合、本端末のUSB Type-C接続端子が汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。 - USBケーブル A to C 01（別売）を使用してパソコンから充電を行う場合、パソコンの電源が入っていますか。 - 充電しながら通信、その他機能の操作を長時間行くと、本端末の温度が上昇して充電が中断される場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。	P.28、 P.29、 P.30

■ 端末操作

症状	チェック項目	参照ページ
操作中・充電中に熱くなる	操作中や充電中、本端末やアダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。	—
電池の使用時間が短い	- 圏外状態で長時間放置されるようなことはありませんか。 圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 - 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 - 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電してもお買い上げ時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。	P.27
ドコモnanoUIMカードが認識しない	ドコモnanoUIMカードを正しい向きで挿入していますか。	P.22

■ 本端末が認識されない

症状	チェック項目	参照ページ
USB接続ケーブルで接続したパソコンが本端末を認識しない	- 本端末が、USB接続ケーブルで正しくパソコンに接続されているかどうかを確認してください。 - USB接続ケーブルをパソコンから一度取り外し、パソコンを再起動してから、再度接続してください。 - USBハブを使用していませんか。USBハブを使用すると、正常に動作しない場合があります。 - 本端末がパソコンに正しく取り付けられていることを確認してください。	P.74、 P.78、 P.83

■ 画面

症状	チェック項目	参照ページ
ディスプレイが暗い	画面の明るさを変更していませんか。	P.143
切断したWi-Fi対応機器の表示が残る	本端末に接続中のWi-Fi対応機器が切断されても接続台数表示や接続中ユーザーに表示が残る場合がありますが、数分経過すると正しく表示されます。	—

■ 接続、通信に関する症状

症状	チェック項目	参照ページ
Wi-Fi対応機器を接続できない	本端末とWi-Fi対応機器のWi-Fi機能がオンになっていることを確認してください。また、Wi-Fi対応機器のWi-Fi仕様が本端末と合致しているか、お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書でご確認ください。	P.39
	正しいパスワード（セキュリティキー）を入力しているか、確認してください。パスワード（セキュリティキー）は本端末のホーム画面で「端末情報」→「SSID&パスワード」とタップすると、本端末のタッチパネルに表示されます。また、暗号化方式に「WPA2-PSK(AES)」または「WPA/WPA2-PSK(AES+TKIP)」を設定している場合は、お使いのWi-Fi対応機器がWPAおよびWPA2-PSKの暗号化方式に対応しているか、お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書でご確認ください。	P.39、 P.152
インターネットに接続できない	サービスエリア内で電波が届いていることを確認してください。 また、時間帯によって接続先が混雑している可能性もありますので、時間を置いて再度接続してください。	—
	HW-01L設定ツールを起動し、プロバイダ設定、モバイルネットワークのネットワーク設定が正しく設定されていることを確認してください。 ■（インターネット接続）が表示されていないときは、インターネットに接続することはできません。	P.33、 P.98、 P.104
LTE対応のアクセスポイントを選択しているが、ネットワークの種類が「3G」と表示される	インターネットに接続できないアクセスポイントを選択している場合、「3G」と表示されます。 HW-01L設定ツールを起動し、利用するアクセスポイントのプロファイルが正しく設定されているかどうかを確認してください。 ・正しいアクセスポイントに接続し直した場合でも、接続後約1時間はLTEには接続されません。LTEをすぐにご利用になりたい場合は本端末を再起動してください。	P.98
	ネットワーク設定の「優先ネットワークタイプ」が「4G/3G（自動）」に設定されていることを確認してください。	P.104、 P.144

症状	チェック項目	参照ページ
HW-01L設定ツールを起動できない	ご家庭のLAN内に設置されたルータなどと本端末のプライベートIPアドレスが同じ値になっている可能性があります。本端末のプライベートIPアドレスは、ホーム画面で「端末情報」→「端末情報」をタップし、「LAN側IPアドレス」で確認できます。 ルータなどの電源を切った状態で本端末の電源を入れると、HW-01L設定ツールにログインできます。 また、ご使用のルータなどと本端末を同時に使用したい場合は、本端末のプライベートIPアドレスを手動で変更してください。変更後はブラウザのアドレス入力欄に「http://（本端末のプライベートIPアドレス）/」または「http://hw-01l.home」と入力することで、HW-01L設定ツールを起動できます。	P.111、 P.152
	マルチSSIDをオンにして、SSID2に接続していませんか。 本端末をマルチSSID設定（SSID1のWi-Fiモードを2.4GHz、SSID2のWi-Fiモードを2.4GHz）に設定している場合、SSID2でWi-Fi接続しているパソコンや携帯端末から、HW-01L設定ツールのページを表示することはできません。	P.108
通信がすぐに切れる、通信速度が遅く感じる	- 電波状態が良くない場合があります。電波状態が良い場所に移動してください。 - 本端末とパソコンなどが、Wi-FiまたはUSB接続ケーブルによって接続されている場合、以下の手順を実行してください。それでも改善されない場合は、USB接続ケーブルを取り外してパソコンなどを再起動し、もう一度接続してください。 - 本端末とパソコンなどをWi-Fiで接続している場合は、本端末の電源を入れ直してください。 - 本端末とパソコンなどをUSB接続ケーブルで接続している場合は、本端末をパソコンなどから取り外してもう一度接続してください。 - 回線の状態が良くない場合があります。時間を置いて再度試してください。	—
本端末をパソコンに接続しても、インストーラーが自動的に起動しない	システムが新しいハードウェアを認識してから、インストール準備に時間がかかることがあります。 一定時間経過してもインストーラーが自動的に起動しない場合は、手動でインストーラーを起動してください。	P.78
	他のHUAWEI製データ通信端末の通信設定ソフト（ドライバ）をすでにインストールしている場合、アンインストールしてから再度試してください。	P.81、 P.83

■ 海外利用

症状	チェック項目	参照ページ
海外で本端末が使えない (アンテナマークが表示されている場合)	WORLD WING のお申し込みをされていますか。 WORLD WING のお申し込み状況をご確認ください。	P.154
海外で本端末が使えない (圏外が表示されている場合)	国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。 利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、ドコモのホームページをご覧ください。	P.104、 P.154
	ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。 「優先ネットワークタイプ」を「4G/3G (自動)」に設定してください。 「通信事業者設定」を「自動」に設定してください。	P.104、 P.156
	本端末の電源をオフにした後、再びオンにすることで回復することがあります。	P.31
	「ローミング設定」をオンにしてください。	P.155
海外でデータ通信ができない		
海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった	利用停止目安額を超えていませんか。 「国際ローミングサービス (WORLD WING)」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。 利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。	—

■ その他

症状	チェック項目	参照ページ
管理者権限 (Administrator) で ログインしているの か分からない	■ Windows 10をお使いの場合 ① デスクトップ画面左下の  マークを右クリックし、「設定」をクリックして「設定」画面を表示します。 ② 「アカウント」をクリックします。 ③ 画面の右側に表示されている、現在ログインしているユーザー名とアカウントの種類を確認します。 アカウントの種類が「管理者」であれば管理者権限でログインしているので、本端末をセットアップできます。 ■ Windows 8.1をお使いの場合 ① デスクトップ画面右上をマウスでポイントし、チャームで  (設定) をクリックします。 ② 「コントロールパネル」をクリックして「コントロールパネル」画面を表示します。 ③ 「ユーザー アカウントとファミリー セーフティ」→「ユーザー アカウント」をクリックします。 ④ 画面の右側に表示されている、現在ログインしているユーザー名とアカウントの種類を確認します。 アカウントの種類が「Administrator」であれば管理者権限でログインしているので、本端末をセットアップできます。 ■ Windows 7をお使いの場合 ① 「スタート」→「コントロール パネル」をクリックして、「コントロール パネル」画面を表示します。 ② 「ユーザー アカウントと家族のための安全設定」をクリックして、次の画面で「ユーザー アカウント」をクリックします。 「ユーザー アカウントと家族のための安全設定」が表示されていない場合は、「ユーザー アカウント」をクリックします。 ③ 画面の右側に表示されている、現在ログインしているユーザー名とアカウントの種類を確認します。 アカウントの種類が「Administrator」であれば管理者権限でログインしているので、本端末をセットアップできます。	—

エラーメッセージ

■ Webブラウザ（HW-01L設定ツール）に表示されるメッセージ

メッセージ	チェック項目	参照ページ
有効なSIMカードを挿入してから再起動してください。	ドコモnanoUIMカードが取り付けられていません。ドコモnanoUIMカードを取り付けてください。	P.22
PIN1コードの入力を3回失敗しました。 PINロック解除コードを入力し、新しいPIN1コードを設定してください。	PINコードがロックされているときに表示されます。 HW-01L設定ツールまたは本端末のタッチパネルからPINロック解除コード（PUK）と新しいPINコードを入力してください。	P.26、 P.103、 P.144
PINロック解除コードの入力を10回間違えたため、HW-01Lがロックされました。 ドコモnanoUIMカードと本人確認書類（運転免許証など）をお持ちのうえ、お近くのドコモショップまでご来店ください。	PINロック解除コードの入力に10回失敗したため、ドコモnanoUIMカードがロックされました。ドコモショップの窓口にお問い合わせください。	P.25
デバイスの画面のロックはすでに解除されているか、別のユーザーがこのアカウントを使用中です。	本端末のタッチパネルが表示されているときはHW-01L設定ツールにログインできません。電源キーを押して、表示を消してください。	P.20
パスワードが不正です。 ログインに3回失敗したため、HW-01L設定ツールがロックされました。約3分後、再試行してください。	ログインパスワードの入力に3回失敗したため、HW-01L設定ツールがロックされました。約3分待ってから再度ログインしてください。	—
ネットワークが利用できません。	本端末の近くに接続できるアクセスポイントがありません。場所を変更して再度試してください。	—
接続に失敗しました。	PINコードを間違えて入力したか、接続時間を過ぎました。 Wi-Fi対応機器のPINコードを確認して、接続時間内に設定してください。	—

■ 本端末のタッチパネルに表示されるメッセージ

メッセージ	チェック項目	参照ページ
有効なSIMカードを挿入してから再起動してください	ドコモnanoUIMカードが取り付けられていません。ドコモnanoUIMカードを取り付けてください。	P.22
PIN1コードを入力してください。	SIM PIN認証が有効になっており、PINコードの入力待ち状態です。HW-01L設定ツールまたは本体のタッチパネルからPINコードを入力してください。	P.103、 P.144
PIN1コードの入力を3回失敗しました。PINロック解除コードを入力してください。	PINコードがロックされているときに表示されます。HW-01L設定ツールまたは本端末のタッチパネルからPINロック解除コード（PUK）と新しいPINコードを入力してください。	P.26、 P.103、 P.144
PIN完全ロック状態です	PINロック解除コードの入力に10回失敗したため、ドコモnanoUIMカードがロックされました。ドコモショップの窓口にお問い合わせください。	P.25
高温になっています。温度を下げるため、通信速度を抑えます。画面に  が表示されている間は速度制限がかかっています。	本端末が高温になったときに表示され、通信速度が遅くなります。本端末の温度が下がるまでお待ちください。	—
高温になっています。温度を下げるため、ネットワークを切断します。画面に  が表示されている間は通信できません。	本端末が高温になったときに表示され、ネットワークから切断されます。本端末の温度が下がるまでお待ちください。	—
高温になっています。電源をオフにします。	充電中またはパソコンとUSB接続ケーブルで接続中などに本端末が高温になっています。エラーメッセージの表示から数秒後、本端末の電源が自動的に切れます。接続しているケーブルなどを取り外し、本端末の温度が下がるまでお待ちください。	—
電池残量がほとんどありません。今すぐ電源がオフになります。	電池残量が2%になると、エラーメッセージの表示から数秒後、本端末の電源が自動的に切れます。十分に充電して、再度電源を入れてください。	P.28、 P.29、 P.30
Low Battery	電池残量がなくなったため、電源が入りません。充電してください。	—
設定の保存に失敗しました。しばらくしてから再操作してください。	変更した設定内容を保存中に次の設定を行ったときに表示されます。30秒程度待ってから再度設定を行ってください。	—

メッセージ	チェック項目	参照ページ
HW-01Lの外部接続端子が高温になっています。 温度を下げるため外部接続端子を無効にしています。 ドコモ指定の故障取扱窓口までご相談ください。	本端末が高温になったときに表示され、USB Type-C接続端子が無効になっています。本端末の温度が下がるまでお待ちの上、接続しているケーブルなどをいったん取り外した後、再度取り付けてからご使用ください。それでも同じメッセージが表示されてしまう場合は、ドコモショップ窓口までお問い合わせください。	—



保証とアフターサービス



保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- USB接続ケーブル HWO5は無料修理保証の対象外となります。
- 本端末の仕様および外観は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。



アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧ください。それでも調子がよくないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただけます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 保証期間内であっても、お客様のお取り扱い不良（外部接続端子・タッチパネルなどの破損）による故障・損傷、ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・タッチパネルなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）
 - ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合
- ※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。

修理受付対応状況については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/repair/shop/compatible/index.html>

ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱窓口へお問い合わせください。

■ お問い合わせ

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
 - ・ 火災・けが・故障の原因となります。
 - ・ 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
 - タッチパネル部やキー部にシールなどを貼る
 - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
 - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 本端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。
銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意ください。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定を実施いただくようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末にキャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

ソフトウェア更新

ソフトウェア更新とは、ネットワークに接続して更新が必要かを確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードし、インストールする機能です。

ソフトウェア更新が必要な場合には、本端末のホーム画面のメニューアイコン上に表示される  やHW-01L設定ツールに表示される  のアイコン*、ソフトウェアの更新をお知らせする通知、HW-01L設定ツールや本端末のソフトウェア更新メニュー、またはドコモのホームページにてご案内いたします。

ソフトウェア更新には、以下の内容などが含まれます。本端末を安全でより快適にご利用いただくため、必ず最新バージョンへの更新をお願いいたします。

※ ソフトウェア更新の「自動更新設定」(→P.128)を「オフ」に設定して、最新ソフトウェアを検出した場合に表示されます。

- ・ 機能の向上や追加
- ・ 操作性の向上
- ・ 品質改善
- ・ セキュリティパッチの最新化
- ソフトウェア更新は、本端末に保存された各設定値などのデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータは事前にバックアップを取っていただくことをおすすめします。

注意事項

- HW-01Lのソフトウェア更新が必要かを、7日おきにネットワークに接続して確認します。更新可能なソフトウェアがある場合は、本端末のタッチパネルにメッセージが表示されます。
 - ・ HW-01L設定ツール、または本端末でソフトウェアの更新がないかを、すぐに確認することもできます。→P.181、P.182
- ソフトウェア更新を行うと、以前のソフトウェアへ戻すことはできません。
- ソフトウェア更新の際、本端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的に当社のサーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェアの更新を行うときには、パケット通信（課金対象）が発生します。
- パケット通信を利用したソフトウェア更新にはドコモ契約のドコモnanoUIMカードが必要です。なお、ソフトウェア更新の内容によってはパケット通信を利用した場合、mopera Uの契約が必要になる場合があります。
- インストール中は、各種通信機能、およびその他の機能を利用できません。
- インストール中は、すべてのキー操作が無効となり、途中で中止することはできません。
- ソフトウェア更新が完了すると再起動がかかります。
- ソフトウェア更新を行うと、一部の設定が初期化されることがありますので、再度設定を行ってください。
- PINコードが設定されているときは、書換え処理後の再起動の途中で、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェア更新に失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までご相談ください。
- ソフトウェア更新には時間がかかることがあります。

- 以下の場合はソフトウェア更新ができません。
 - ・ 通信中
 - ・ 圏外が表示されているとき
 - ・ 日付・時刻を正しく設定していないとき
 - ・ 必要な電池残量がないとき
 - ・ 基本ソフトウェアを不正に変更しているとき
 - ・ 国際ローミング中
- 本端末の電池残量がフル充電の状態で行ってください。
- ソフトウェア更新中は電源を切ったりしないでください。
- ダウンロード中は電波状態の良い所で、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、ソフトウェア更新を中断することがあります。
- ソフトウェア更新が不要な場合は、現在のバージョンが最新である旨のメッセージが表示されます。

HW-01L設定ツールからソフトウェア更新を確認する

HW-01L設定ツールからソフトウェアの更新ができます。手順はパソコンでの操作を例としています。

- ・ 事前にHW-01L設定ツール画面を起動しておいてください。→P.91

- 1 メニューリストの「設定」→「システム」→「ソフトウェア更新」をクリック
「更新を確認」をクリックすると、最新のソフトウェアがあるかを確認できます。
ソフトウェアの更新がある場合には、バージョン、サイズなどが表示されます。



2 「今すぐ更新」をクリック

更新中は、ブラウザを閉じたり、本端末を取り外したりしないでください。
更新が完了すると、本端末が再起動します。

本体でソフトウェア更新をする

1 ホーム画面で「設定」→「ソフトウェア更新」をタップ

■ ソフトウェア更新を自動確認するかどうかを設定する場合

1 「自動更新設定」の をタップ

- OFFにした場合は「OK」をタップします。
- ONにした場合は、自動更新時刻を設定する→「OK」→「OK」をタップします。

■ すぐにソフトウェア更新をする場合

1 ソフトウェア更新画面で「最新ソフトウェア確認」をタップ

最新のソフトウェアがあるかを確認します。

- ソフトウェア更新の必要がないときには、「現在のバージョンは最新です。」と表示されます。「OK」→  をタップして、ホーム画面に戻ります。

2 「ソフトウェア確認」をタップ

本端末が自動的に再起動し、ソフトウェア更新を続行します。

ソフトウェア更新が成功すると、本端末が再度、再起動します。

主な仕様

■ 本体

品名		HW-01L
サイズ（高さ×幅×厚さ）		約66mm×約130mm×約13.8mm
質量		約150g
タッチパネル（ディスプレイ）		種類：TFT 発色数：262144色 解像度：横320ドット×縦240ドット（QVGA） サイズ：約2.4インチ
内蔵電池	使用電池	リチウムイオン電池
	公称電圧	DC4.25V
	公称容量	3000mAh ^{*1}
連続待受時間 ^{*2}	LTE	約980時間
	3G（W-CDMA／HSDPA／HSUPA）	約980時間
連続通信時間	PREMIUM 4G	約595分（2CA）
		約510分（3CA：2×2 MIMO）
		約550分（3CA：4×4 MIMO）
		約500分（4CA：2×2 MIMO）
		約495分（4CA：4×4 MIMO）
		約460分（5CA：2×2 MIMO）
		約415分（5CA：4×4 MIMO）
	LTE	約715分
	3G（W-CDMA／HSDPA／HSUPA）	約420分
充電時間	ACアダプタ 07	約110分
通信方式		WAN：LTE/W-CDMA/HSDPA 無線LAN：IEEE802.11a/n/ac（5GHz帯 ^{*3} ）、 IEEE802.11b/g/n（2.4GHz帯）
通信速度 ^{*4}	無線LAN	IEEE802.11a：最大54Mbps（5GHz帯 ^{*3} ） IEEE802.11b：最大11Mbps（2.4GHz帯） IEEE802.11g：最大54Mbps（2.4GHz帯） IEEE802.11n ^{*5} ：最大300Mbps（5GHz帯 ^{*3} 、2.4GHz帯） IEEE802.11ac ^{*5} ：最大867Mbps（5GHz帯 ^{*3} ）
	PREMIUM 4G	パケット通信： 受信時最大1288Mbps ^{*6} 送信時最大131.3Mbps ^{*6}

通信速度 ^{*4}	LTE	パケット通信： 受信時最大150Mbps ^{*6} 送信時最大50Mbps ^{*6}
	3G	パケット通信： 受信時最大14Mbps 送信時最大5.7Mbps
対応周波数 (国内)	WLAN	2400MHz～2483.5MHz (全13ch) 5180MHz～5320MHz 5500MHz～5700MHz
	FDD-LTE	- バンド1 (2.0GHz) - バンド3 (1.7GHz) - バンド19 (800MHz) - バンド21 (1.5GHz)
	TD-LTE	バンド42 (3.5GHz)
	PREMIUM 4G (受信時)	256QAM 4×4 MIMO (バンド42) 4×4 MIMO (バンド3) - バンド1 (2.0GHz) + バンド3 (1.7GHz) - バンド1 (2.0GHz) + バンド19 (800MHz) - バンド1 (2.0GHz) + バンド21 (1.5GHz) - バンド3 (1.7GHz) + バンド19 (800MHz) - バンド19 (800MHz) + バンド21 (1.5GHz) - バンド1 (2.0GHz) + バンド3 (1.7GHz) + バンド19 (800MHz) - バンド1 (2.0GHz) + バンド19 (800MHz) + バンド21 (1.5GHz) - バンド1 (2.0GHz) + バンド42 (3.5GHz) + バンド42 (3.5GHz) - バンド3 (1.7GHz) + バンド42 (3.5GHz) + バンド42 (3.5GHz) - バンド19 (800MHz) + バンド42 (3.5GHz) + バンド42 (3.5GHz) - バンド21 (1.5GHz) + バンド42 (3.5GHz) + バンド42 (3.5GHz) - バンド1 (2.0GHz) + バンド19 (800MHz) + バンド42 (3.5GHz) + バンド42 (3.5GHz) - バンド1 (2.0GHz) + バンド21 (1.5GHz) + バンド42 (3.5GHz) + バンド42 (3.5GHz) - バンド3 (1.7GHz) + バンド19 (800MHz) + バンド42 (3.5GHz) + バンド42 (3.5GHz) - バンド19 (800MHz) + バンド21 (1.5GHz) + バンド42 (3.5GHz) + バンド42 (3.5GHz) - バンド1 (2.0GHz) + バンド3 (1.7GHz) + バンド42 (3.5GHz) + バンド42 (3.5GHz) - バンド1 (2.0GHz) + バンド3 (1.7GHz) + バンド19 (800MHz) + バンド42 (3.5GHz) + バンド42 (3.5GHz) - バンド1 (2.0GHz) + バンド19 (800MHz) + バンド21 (1.5GHz) + バンド42 (3.5GHz) + バンド42 (3.5GHz)

対応周波数 (国内)	PREMIUM 4G (送信時)	・ 64QAM ・ バンド1 (2.0GHz) + バンド19 (800MHz) ・ バンド3 (1.7GHz) + バンド19 (800MHz)
	3G (W-CDMA)	・ バンド1 (2GHz) ・ バンド6 (800MHz) ・ バンド19 (800MHz)
対応周波数 (海外)	FDD-LTE	・ バンド1 (2.0GHz) ・ バンド3 (1.7GHz) ・ バンド5 (850MHz) ・ バンド12 (700MHz) ・ バンド17 (700MHz)
	TD-LTE	・ バンド39 (1.9GHz)
	3G (W-CDMA)	・ バンド1 (2GHz) ・ バンド5 (850MHz)
Bluetooth 機能	バージョン	BLE ^{*7}
	出力	power class 3
VPNプロトコル		ALG (IPsec、L2TP、PPTP)、VPNマルチパススルー ^{*8}
接続可能台数		17台 (Wi-Fi : 16台、USB : 1台)
デフォルト制限ポート		なし
インターフェイス		USB 3.0 (Type-C端子)

※1 長時間の充電による電池の劣化を抑制するため、フル充電時のバッテリー容量は2750mAhになります。

※2 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。連続待受時間は、設定状況、使用環境や各種機能のご利用頻度により、大きく変動します。各種機能のご利用頻度が多い場合、実際の時間は半分以下になることがあります。

※3 マルチSSID機能で5GHz帯を利用するには、SSID1を「2.4GHz」、SSID2を「5GHz」に設定し、クレードルを使用して接続／通信してください。

※4 通信速度は、送受信時の技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。ベストエフォート方式による提供となり、実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。対応エリア・機種について、詳しくはドコモのホームページでご確認ください。

※5 MIMOに対応しています。

※6 LTEエリアの一部に限ります。

※7 本端末のスリープモード遠隔解除時に使用します。→P.129

※8 VPNマルチパススルー機能は常時有効です。同時接続台数は最大16台です。

1台のIPsec機器／PPTPサーバに対して、複数台のIPsec機器／PPTPクライアントとの通信が可能です。WAN側のIPsec機器／PPTPクライアントからのアクセスをLAN側のIPsec機器／PPTPサーバで受ける場合は、本端末に接続できるIPsec機器／PPTPサーバは1台のみです。また、本端末へポートマッピングの設定が必要です。

お知らせ

- ・LTEエリア外のFOMAハイスピードエリアにおいては、受信時最大14Mbps／送信時最大5.7Mbpsの通信となります。
- ・LTEエリア内およびFOMAハイスピードエリア内であっても、場所によっては送受信ともに最大384kbpsの通信となる場合があります。
- ・LTEエリア外およびFOMAハイスピードエリア外のFOMAエリアにおいては、送受信ともに最大384kbpsの通信となります。
- ・LTEエリアの帯域幅により規格上の通信速度は、以下のとおりとなります。
 受信速度（帯域幅 [90/60/40/30/20/15/10/5MHz]）：
 1288/986/693/545/400/300/200/100Mbps
 送信速度（帯域幅 [40/20/15/10/5MHz]）：
 131.25/75/56.25/37.5/18.5Mbps
- ・LTE対応エリアの詳細についてはドコモのホームページをご確認ください。

■ USB接続ケーブル

品名	USB接続ケーブル HW05
ケーブルの長さ（コネクタ部分含む）	約1000mm

■ クレードル

品名			クレードル HW02
LAN/WANインタフェース	有線LANインタフェース	Ethernetポート	RJ-45
		インタフェース	1000BASE-T／100BASE-TX
		伝送速度	1000Mbps／100Mbps
		全二重／半二重	全二重／半二重
インタフェース	モバイルルータ接続インタフェース（ルータ本体接続専用）	USBコネクタ（Type-C）	
	ACアダプタ接続インタフェース	USBコネクタ（Type-C）	
入力電圧／電流			DC5V／2A
出力電圧／電流			DC5V／1.8A
サイズ（高さ×幅×厚さ）			約33mm（ゴム足含む）×約100mm×約55mm
質量			約68g



データ通信端末の比吸収率（SAR） について

この機種【HW-01L】は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

このデータ通信端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準^{*1}ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、本データ通信端末に対するSARの許容値は2.0W/kgです。取扱説明書に記述する通常使用の場合、このデータ通信端末のSARの最大値は0.671W/kg^{*2}です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

データ通信端末は、携帯電話等基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、データ通信端末の出力は小さくなります。

通信中は、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本データ通信端末が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、以下のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

ドコモのホームページ

<https://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/>

※ 1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※ 2 LTE/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。

Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Terminals

This model [HW-01L] device complies with Japanese technical regulations and international guidelines regarding exposure to radio waves.

This device was designed in observance of Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves (*1) and limits to exposure to radio waves recommended by a set of equivalent international guidelines. This set of international guidelines was set out by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health condition.

The technical regulations and international guidelines set out limits for radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of tissue over a 6-minute period. The SAR limit for mobile terminals is 2.0 W/kg. The highest SAR value for this device when tested for intended use described in the instruction manual is 0.671 W/kg (*2). There may be slight differences between the SAR levels for each product, but they all satisfy the limit.

The actual SAR of this device while operating can be well below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum required to reach the network. Therefore in general, the closer you are to a base station, the lower the power output of the device.

During communication, please keep the device farther than 1.5 cm away from your body without including any metals. This device satisfies the technical regulations and international guidelines.

The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_english.htm

Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.

Ministry of Internal Affairs and Communications Website:

<http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm>

Association of Radio Industries and Businesses Website:

<https://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html> (in Japanese only)

NTT DOCOMO, INC. Website:

<https://www.nttdocomo.co.jp/english/product/sar/>

[HUAWEI TECHNOLOGIES,JAPAN] Website:

<https://consumer.huawei.com/jp/mobile-broadband/hw-011/information/> (in Japanese only)

*1 Technical regulations are defined by the Ministerial Ordinance Related to Radio Law (Article 14-2 of Radio Equipment Regulations).

*2 Including other radio systems that can be simultaneously used with LTE/FOMA.

FCC Regulatory Compliance

RF exposure requirements

Important safety information regarding radio frequency (RF) radiation exposure: RF exposure guidelines require that the device be used at a minimum of 1 cm from the human body. Failure to observe this guideline may result in RF exposure exceeding limits.

Certification information (SAR)

This device is also designed to meet the requirements for exposure to radio waves established by the Federal Communications Commission (USA).

The SAR limit adopted by the USA is 1.6 W/kg averaged over one gram of tissue. The highest SAR value reported to the FCC for this device type complies with this limit.

The highest SAR value reported to the FCC for this device type when properly worn on the body is 0.96 W/kg.

FCC ID: QISHW-01L

FCC statement

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Caution: Any changes or modifications to this device not expressly approved by Huawei Technologies Co., Ltd. for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Disposal and Recycling Information



This symbol (with or without a solid bar) on the device, batteries (if included), and/or the packaging, indicates that the device and its electrical accessories (for example, a headset, adapter, or cable) and batteries should not be disposed of as household garbage. These items should not be disposed of as unsorted municipal waste and should be taken to a certified collection point for recycling or proper disposal.

For more detailed information about device or battery recycling, contact your local city office, household waste disposal service, or retail store.

Disposal of the device and batteries (if included) is subject to WEEE Directive Recast (Directive 2012/19/EU) and Battery Directive (Directive 2006/66/EC). The purpose of separating WEEE and batteries from other waste is to minimize the potential environmental impacts and human health risk of any hazardous substances that may be present.

Reduction of Hazardous Substances

This device is compliant with the REACH Regulation [Regulation (EC) No 1907/2006] and RoHS Directive Recast (Directive 2011/65/EU). Batteries (if included) are compliant with the Battery Directive (Directive 2006/66/EC). For up-to-date information about REACH and RoHS compliance, please visit the web site <https://consumer.huawei.com/certification>.

EU Regulatory Conformance

RF exposure requirements

Important safety information regarding radio frequency (RF) radiation exposure:

RF exposure guidelines require that the device be used at a minimum of 1.5 cm from the human body. Failure to observe this guideline may result in RF exposure exceeding limits.

Certification information (SAR)

This device meets guidelines for exposure to radio waves.

Your device is a low-power radio transmitter and receiver. As recommended by international guidelines, the device is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves. These guidelines were developed by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), an independent scientific organization, and include safety measures designed to ensure the safety of all users, regardless of age and health.

The Specific Absorption Rate (SAR) is the unit of measurement for the amount of radio frequency energy absorbed by the body when using a device. The SAR value is determined at the highest certified power level in laboratory conditions, but the actual SAR level during operation can be well below the value. This is because the device is designed to use the minimum power required to reach the network.

The SAR limit adopted by Europe is 2.0 W/kg averaged over 10 grams of tissue, and the highest SAR value for this device complies with this limit.

The highest SAR value reported for this device type when tested in portable exposure conditions is 0.92 W/kg.

Statement

Hereby, Huawei Technologies Co., Ltd. declares that this device is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.

For the declaration of conformity, visit the web site <https://consumer.huawei.com/certification>.

The following marking is included in the product:



This device may be operated in all member states of the EU.

Observe national and local regulations where the device is used.

This device may be restricted for use, depending on the local network.

Restrictions in the 2.4 GHz band:

Norway: This subsection does not apply for the geographical area within a radius of 20 km from the centre of Ny-Ålesund.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出又は再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省又は米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権

著作権・肖像権

お客様が本端末を使用して受け取った画像など第三者が著作権を有するコンテンツは、私的利用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。また、お客様が本端末を使用して受け取った他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標

- 「FOMA」「WORLD WING」「mopera U」は（株）NTTドコモの商標または登録商標です。
- Microsoft[®]、Windows[®]は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Mac、macOS、OS X、iPad、iPhone、iPod touch、Safariは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標または登録商標です。
- iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- Wi-Fi[®]、Wi-Fi Alliance[®]、Wi-Fi Certified[®]、WPA[™]、WPA2[™]とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。



- USB Type-C[™]はUSB Implementers Forumの商標です。
- 「PlayStation」は株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントの商標または登録商標です。
- Nintendo Switch、ニンテンドー3DSは任天堂の商標です。
- 「Google」、「Google」ロゴ、「Android」、「Google Chrome」、「Google Play」は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- LTEは欧州電気通信標準協会（ETSI）の登録商標です。
- Bluetooth[®]およびそのロゴはBluetooth SIG, Inc.の登録商標であり、HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.はライセンスを受けて使用しています。
- HUAWEIは、HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.の商標または登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

Windowsの表記について

本書では各OS（日本語版）を以下のように略して表記しています。

- Windows 10は、Microsoft® Windows® 10 Operating System（Pro、Home、Enterprise、Education）の略です。
- Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1 Operating System（Pro、Enterprise）の略です。
- Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除の手続きの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

お知らせ

- 本端末のSIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
 - SIMロック解除には日数がかかりますので、あらかじめご了承ください。
-

索引

ア

アフターサービス.....	178
暗証番号.....	25
PINコード.....	25
PINロック解除コード (PUK).....	26
SIMカードロック設定.....	103
主な仕様.....	183

カ

海外利用	
海外で利用可能なサービス.....	154
海外で利用するための設定.....	155
国際ローミング (WORLD WING).....	154
各部の名称と機能.....	20
クレードル設定.....	113
公衆無線LAN.....	100、148
故障かな?と思ったら.....	169
エラーメッセージ.....	175

サ

再起動.....	130
材質一覧.....	13
充電.....	27
ACアダプタで充電する.....	29
DCアダプタで充電する.....	30
クレードルで充電する.....	28
充電時間/使用時間.....	27
パソコンに接続して充電する.....	30
商標.....	193
セキュリティ.....	115
セットアップ.....	38
セットアップの流れ.....	38
対応機器.....	39
ソフトウェア更新.....	180

タ

タッチパネル.....	20、35
知的財産権.....	193
電源を入れる/切る.....	31
ドコモnanoUIMカード.....	22
PINコード変更.....	103
暗証番号.....	25
取り付けかた/取り外しかた.....	22

ナ

ネットワークスリープ.....	110、150
スリープモード遠隔解除.....	129

ハ

プロバイダ設定	
APN名.....	98
ホーム画面.....	32
保証とアフターサービス.....	178
本体付属品.....	1
本体メニュー	
APN設定.....	139
USBデザリング.....	141
Wi-Fi設定.....	136
WPS.....	139
クレードル設定.....	140
公衆無線LAN設定.....	148
詳細設定.....	143
省電力設定.....	150
接続ガイド.....	148
接続中ユーザー.....	150
ソフトウェア更新.....	147
端末情報.....	152
データ通信量.....	142
本端末の主な機能.....	4

マ

マルチSSID.....	108
--------------	-----

ヤ

輸出管理規制.....	193
-------------	-----

ラ

リセット.....	127
ルータ設定.....	115
DMZ設定.....	123
LAN IPフィルタ.....	116
NAT設定.....	124
SIP ALG設定.....	123
UPnP設定.....	124
特殊なアプリケーション.....	121
ファイアウォール.....	116
ポートマッピング.....	119

英数字

DFS機能.....	5
HW-01L設定ツール.....	90
オープンソース情報.....	131
画面の見かた.....	93
起動.....	91
クレードル設定.....	113

システム.....	125
詳細設定.....	97
対応ブラウザ.....	90
バックアップとリストア.....	126
本端末の状態の確認.....	95
モバイルネットワーク.....	102
ログインパスワード変更.....	126
HW-01L設定ツールのアンインストール	
Macの場合.....	83
Windowsの場合.....	81
HW-01L設定ツールのインストール	
Macの場合.....	82
Windowsの場合.....	76
SSID.....	107、136
USB接続ケーブルで接続／通信する.....	74
Macを接続する.....	82
USBデザリング.....	127、141
Windowsパソコンを接続する.....	76
Wi-Fiお引越し機能.....	41
Wi-Fi設定.....	106、136
DHCP.....	111
MACアドレスフィルタ.....	111
WPS機能を利用して接続する.....	43、46、49、53、60、68、72
Wi-Fiで接続／通信する	
Android™搭載端末を接続する.....	60
iPhone／iPod Touch／iPadを接続する.....	64
Macを接続する.....	57
Nintendo Switchを接続する.....	66
PlayStation®Vitaを接続する.....	72
Windowsパソコンを接続する.....	46
一般的なWi-Fi対応機器を接続する.....	43
ニンテンドー3DSを接続する.....	67

オンラインでのご利用料金・ご利用データ量・ ご契約内容の確認・各種お手続きなど

パソコンから My docomo (<https://www.nttdocomo.co.jp/mydocomo/>)

- システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用になれない場合があります。
- 「My docomo」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「d アカウントの ID / パスワード」が必要です。

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

■ 運転中の場合

運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。



モバイルリサイクルネットワーク
環境省「リサイクル家電」のマークです。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※回収対象:携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合



(局番なしの) **151** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合



0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9:00～午後8:00 (年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモのホームページにてお近くのドコモショップ

などをご確認の上、お問い合わせください。

ドコモのホームページ <https://www.nttdocomo.co.jp/>

故障お問い合わせ・
修理お申込み先

■ドコモの携帯電話からの場合



(局番なしの) **113** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合



0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間 (年中無休)

海外からのお問い合わせ先 (紛失・盗難・つながらない場合など)

■ドコモの携帯電話からの場合

「+」を画面表示

-81-3-6832-6600 (無料)

(「+」は「0」をロングタッチします。)

※「+」発信のかわりに国際電話アクセス番号でも発信できます。

■一般電話などからの場合

滞在国の国際電話
アクセス番号

-81-3-6832-6600 (有料)

※日本向け通話料がかかります。

※国際電話アクセス番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

受付時間 24時間 (年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いないようにおかけください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。



マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。



Li-ion 00



キケン!
水ぬれ充電

販売元 株式会社NTTドコモ
製造元 HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.